



中央環境審議会総合政策部会 第120回

諸外国及び我が国のウェルビーイング指標について

2025年7月14日
環境省



1. OECDの事例	p.3
2. 英国の事例	p.9
3. ドイツの事例	p.19
4. ウェールズの事例	p.29
5. ニュージーランドの事例	p.43
6. オランダの事例	p.59
7. アイスランドの事例	p.72
8. 内閣府の事例	p.80
9. デジタル庁の事例	p.88

1. OECDの事例

OECDのウェルビーイング指標（Better Life Index）①

概要

- ノーベル経済学賞受賞者が5名関与したスティグリッツによる研究に基づき、2011年5月にOECDが開発した指標
- 社会の進歩に関する議論に市民を参加させることを目的として、幸福度に関する対話型総合指数である「Your Better Life Index」を設定

ウェルビーイングを何で測っているか

- OECDが必須項目として特定した11分野、24指標で構成

指標構築の特徴

- 主観的な指標ではなく、生活の質を多元的にとらえた客観的な指標を設定
 - データのほとんどは、OECDや国民経済計算、国連統計、国家統計局等の公的な情報源から得ている他、いくつかの指標は世界140か国以上で定期的に世論調査を実施しているギャラップ*世界世論調査のデータに基づく
- *ギャラップ：アメリカの世論調査及びコンサルティングを行う民間企業

指標の活用方法

- 「How's Life?」という報告書を2011年から概ね2年おきに発行している
- 統計の利用者自身が各要素にウエイトをつけて単一合成指標を容易に作成することができる
- 物質的な生活条件と生活の質の分野で、OECD加盟各国（41か国）の幸福度の比較が可能

ウェルビーイングを測る11分野

所得と富	環境の質
住宅	主観的幸福
仕事と仕事の質	生活の安全
健康	ワーク・ライフ・バランス
知識と技能	社会とのつながり
市民文化	

OECDの「Better Life Index」では上記のウェルビーイング指標の他に、②不平等の指標と③資本ストック及び資源の指標群がセットされている。オンラインで見られるのは左記の指標のみである。

OECDのウェルビーイング指標（Better Life Index）②

OECDではダッシュボード・アプローチとして「より良い暮らしの指標（Better Life Index）」が作成されている。指標群は以下の3群（下記①②③）で構成されている。

①ヘッドライン指標（ウェルビーイング指標）

1. 住宅 ①住宅取得能力（世帯可処分所得に占める住居費割合の平均） ②基本的な衛生設備（世帯専用の屋内水洗トイレをもつ居住者の割合） ③一人当たり部屋数（一人当たり部屋数の平均）
2. 所得 ①家計の純資産（世帯の純資産（金融資産－負債）の平均） ②家計の所得（世帯可処分所得の平均）
3. 仕事 ①仕事の安定性（失業時の減収分の期待値） ②報酬（フルタイム労働者の平均年収） ③長期失業率（労働力人口に占める長期失業者（1年以上）の割合） ④就業率（労働力人口に占める就業者の割合）
4. コミュニティ ①社会的支援の質（困ったときに頼りになる友人・身内がいると回答する人の割合）
5. 教育 ①教育年数（5歳の子どもの39歳までに達成が期待できる正規教育年数） ②生徒の技能（PISAにおける児童の平均点数） ③学歴（25～64歳人口に占める高卒以上の学歴を持つ個人の割合）
6. 環境 ①水質（水質に満足している人の割合） ②大気の質（大気中のPM2.5濃度）
7. 市民参加 ①規制策定の市民参加（法や規制の策定に市民が参画できるレベルを得点化したもの） ②投票率（選挙の投票率）
8. 健康 ①主観的健康（自分の健康を「良い」もしくは「非常に良い」と回答した人の割合） ②平均余命
9. 生活満足度 生活満足度
10. 安全性 ①殺人率（10万人当たりの殺人件数） ②安全感（夜間時の一人での外出に危険を感じない人の割合）
11. 仕事と暮らしのバランス ①余暇・私的ケア（一日に占める余暇と私的ケア（食事、睡眠など）の時間の割合） ②長時間労働（労働時間が週50時間を超える労働者の割合）

②不平等の指標

1. 所得と富 所得の五分位比率（家計可処分所得の上位20%／下位20%）
2. 住宅 過密状態の住居（過密状態の住居に暮らす世帯の割合）
3. 仕事と仕事の質 ①男女間賃金格差（男性の賃金中央値／女性の賃金中央値） ②長時間労働（日常的に週50時間以上働く雇員の割合）
4. 健康 学歴間平均余命格差（25歳時点で大卒以上の平均余命／中卒以上の平均余命）
5. 知識と技能 低技能の生徒（PISAの全科目スコアがレベル2に達していない生徒の割合）
6. 環境の質 大気汚染（濃度10 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えるPM2.5に曝される人口の割合）
7. 主観的幸福 否定的な感情のバランス（典型的な1日において、肯定的な感情よりも否定的な感情の方が多く感じると回答した人の割合）
8. 生活の安全 男女間の夜間の安全感の差（夜間の一人での外出に不安を感じる男女の割合の差）
9. ワーク・ライフ・バランス 男女間の労働時間格差（15～64歳における有償労働と無償労働に費やす労働時間の男女間格差）
10. 社会とのつながり 社会的支援（困ったときに頼りにできる友人・身内がいなくて回答した人の割合）
11. 市民参加 政治的発言力（政府の活動に対する発言権がないと感じる16～65歳の人口の割合）

③資源・資本

1. 経済的資本 ①生産固定資産 ②一般政府の調整済み純金融資産の対GDP比 ③家計の負債（家計の負債／家計の純可処分所得）
2. 自然環境資本 ①温室効果ガスの総排出量 ②マテリアル・フットプリント（最終需要を満たすために採取された天然資源量） ③絶滅危惧種のレッドリスト指数（絶滅リスクの合成指標）
3. 人的資本 ①若年層の学歴（25～34歳人口における高卒以上の学歴をもつ人口の割合） ②未活用の労働力（[失業者+意欲喪失労働者+不完全就業者]／労働力人口） ③損失余命年数（10万人当たりの年齢調整済み損失余命年数）
4. 社会関係資本 ①他者への信頼感（大体の人は信用できるかという調査に対する回答の平均点） ②政府への信頼感（自国政府を信頼すると回答した人の割合） ③国会議員に占める女性の割合

3つの指標群のうち、Web上で公開されているのは①ヘッドライン指標だけであり、②③は非公開である。

OECDのウェルビーイング指標 (Better Life Index) ③

Housing : 住宅

③ Rooms per person
1人当たりの部屋数

2.1 rooms

Rank:

7 / 41

② Dwellings with basic facilities
基本設備のある住居

100%

Rank:

4 / 41

① Housing expenditure
住宅費

17.7%

Rank:

5 / 41

Income : 収入

② Household net adjusted disposable income
家計純調整可処分所得

39144USD

Rank:

4 / 41

① Household net wealth
世帯純資産

268358USD

Rank:

20 / 41

Jobs : 仕事

④ Employment rate
就業率

74.67%

Rank:

9 / 41

③ Long-term unemployment rate
長期失業率

0.93%

Rank:

13 / 41

② Personal earnings
個人所得

55780USD

Rank:

7 / 41

① Job security
雇用の安定

2.85%

Rank:

12 / 41

Community : コミュニティ

① Quality of support network
支援ネットワークの質

96%

Rank:

5 / 41

Education : 教育

③ Educational attainment
教育水準

82%

Rank:

22 / 41

② Student skills
学生のスキル

497 score

Rank:

18 / 41

① Years in education
教育年数

18.4 years

Rank:

11 / 41

Environment : 環境

Air pollution
大気汚染

6.7 micrograms

Rank:

6 / 41

Water quality
水質

98%

Rank:

1 / 41

OECDのウェルビーイング指標 (Better Life Index) ④

Civic engagement : 市民参加

②Voter turnout
有識者投票率

78.2%

Rank:

11 / 41

①Stakeholder engagement for developing regulations
規制策定のためのステークホルダー参画

2.2 index

Rank:

20 / 41

Health : 健康

②Life expectancy
平均寿命

83 years

Rank:

8 / 41

①Self-reported health
主観的健康状態

74.7%

Rank:

13 / 41

Life Satisfaction : 人生の満足度

①Life satisfaction
人生の満足度

7.3 rate

Rank:

9 / 41

Safety : 安全性

②Feeling safe walking alone
at night 夜間の一人歩きの安全性

93.16%

Rank:

1 / 41

①Homicide rate
殺人事件の発生率

0.6 homicides

Rank:

17 / 41

Work-Life Balance : ワークライフバランス

②Employees working very
long hour 長時間労働者

1.4%

Rank:

7 / 41

①Time devoted to leisure and personal
care 余暇や身の回りのことに費やす時間

15.7 hours

Rank:

5 / 41

OECDのウェルビーイング指標（Better Life Index）⑤

no.	分類	指標名	計測方法
1	Housing : 住宅	Rooms per person 1人当たりの部屋数	1人当たりの平均部屋数
2		Dwellings with basic facilities 基本設備のある住居	世帯専用の屋内水洗トイレのない住宅に住む人の割合
3		Housing expenditure 住宅費	家計の調整層可処分所得に占める住宅の取得やさ維持に係る費用の割合
4	Income : 収入	Household net adjusted disposable income 家計純調整可処分所得	名目購買力平価（PPP）による米ドル換算額。1人当たり
5		Household net wealth 世帯純資産	名目購買力平価（PPP）による米ドル換算額。1人当たり
6	Jobs : 仕事	Employment rate 就業率	15～64歳人口に占める就業者の割合
7		Long-term unemployment rate 長期失業率	労働人口に占める1年以上の失業者の割合
8		Personal earnings 個人所得	フルタイム従業者の平均年収
9		Job security 雇用の安定	失業した場合に想定される所得の減少額
10	Community : コミュニティ	Quality of support network 支援ネットワークの質	頼りになる身内や友人がいると回答した人の割合
11	Education : 教育	Educational attainment 教育水準	25-64歳人口のうち、少なくとも高校を卒業した人の割合
12		Student skills 学生のスキル	PISAに基づく学生の平均パフォーマンス
13		Years in education 教育年数	5歳児が39歳までに期待される平均就業年数
14	Environment : 環境	Air pollution 大気汚染	人口加重平均による大気中のPM2.5の濃度、3年移動平均
15		Water quality 水質	人口に対して水質に満足している人の割合
16	Civic engagement : 市民参加	Voter turnout 有権者投票率	選挙人名簿登録者数に占める投票者の割合
17		Stakeholder engagement for developing regulations 規制策定のためのステークホルダー参画	法律および規制の策定過程で組み込まれた市民参加の程度を指標化したもの
18	Health : 健康	Life expectancy 平均寿命	新生児が生きると予想される年数
19		Self-reported health 主観的健康状態	健康状態が「良い」「非常に良い」と回答した成人の割合
20	Life Satisfaction : 人生の満足度	Life satisfaction 人生の満足度	0（全く満足していない）～10（完全に満足している）の11段階尺度の平均値
21	Safety : 安全性	Feeling safe walking alone at night 夜間の一人歩きの安全性	居住地を夜間1人で歩いても安全だと感じられると回答した人の割合
22		Homicide rate 殺人事件の発生率	人口10万人当たりの年齢調整比率
23	Work-Life Balance : ワークライフバランス	Employees working very long hour 長時間労働者	日常的に週50時間を超えて働く雇用者の割合
24		Time devoted to leisure and personal care 余暇や身の回りのことに費やす時間	フルタイム就業者が1日当たりに費やす時間

2. 英国の事例

英国のウェルビーイング指標 (UK Measures of National Well-being Dashboard) ①

概要

- 2010年、キャメロン首相（当時）は、国の進歩について、経済成長や生活水準だけでなく、生活の質による計測を開始し、ウェルビーイングを政策立案の中心に据えることを表明。
- これを受けて、英国国家統計局（Office for National Statistics: ONS）が主体となって“UK Measures of National Well-being Dashboard”を策定した。2018年公表開始。

ウェルビーイングを何で測っているか

- 個人の幸福、人間関係などの10分野、43指標で構成

指標構築の特徴

- 指標は、主観的データと客観的データの両方を含む
- 個人の幸福についてはアンケートにより0～10の11段階の評価を実施。

ウェルビーイングを測る10分野

個人の幸福度

個人の経済状況

人間関係

教育とスキル

健康

経済

仕事、ボランティア、趣味など

ガバナンス

居住

環境

指標の活用方法

- ウェルビーイング指標の策定と併せて、英国財務省が作成する政策評価の指針であるグリーンブックが改訂された。
- これにより、政策評価と歳出見直しに当たって、ウェルビーイングを組み込むことが可能となった。

英国のウェルビーイング指標 (UK Measures of National Well-being Dashboard) ②

指標間の構造（ストーリー、ロジック等の有無）：並列に構成

- 英国のウェルビーイング指標は、幸福の理解と向上に対するバランスの取れたアプローチを強調しており、**各分野は並列に構成**されている
- 全ての分野を総合的にとらえることで幸福の全体像が得られると想定されており、ある分野の欠陥が他の分野に影響を与える可能性はあるが、**特定の分野が他の分野よりも優先されることはない**
- 一部の分野・指標間においては相互関係が認識・検討されているものもある

【分野間の相互関係・例】 経済的な安定感の欠如（個人の経済状況）は、精神衛生（健康）や主観的な幸福感（個人の幸福）に悪影響を及ぼす可能性がある

【指標間の相互関係・例】 財政の安定は、健康や住宅等の他の領域の改善の基盤として機能する可能性がある

指標間の統計的関係：有意性は確保されていない可能性

- 英国のウェルビーイング指標は、指標間の関係で統計的有意性の考慮については明示されていないため、**統計的有意確保されていない可能性が高い**

指標群における環境分野の位置づけ：他分野と並列。指標数も網羅的ではない

- 各分野は並列の関係であり、**環境分野についても基本的には他分野と並列である**と考えられる
- また、環境分野の指標は8指標であり、必ずしも環境分野を網羅しているとは言えない。
- ただし、構造化はされていないものの、「環境の持続可能性は、長期的な幸福の前提条件であるとみなされる」とも記載されており、**環境がウェルビーイングの土台となっているという認識**は存在している

英国のウェルビーイング指標 (UK Measures of National Well-being Dashboard) ③

英国国家統計局 (ONS : Office for National Statistics)

Personal well-being : 個人の幸福度

Life satisfaction
人生への満足度



Feeling things done in life are worthwhile
人生で成し遂げたことに価値があると感じるか



Happiness
幸せであるか



Feeling anxious
不安感があるか



Hope for the future
未来への希望

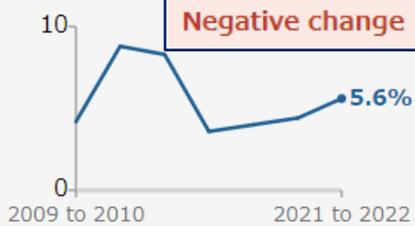


Fair treatment
公正な待遇



Our relationships : 人間関係

Unhappy partner relationships
不幸なパートナー関係



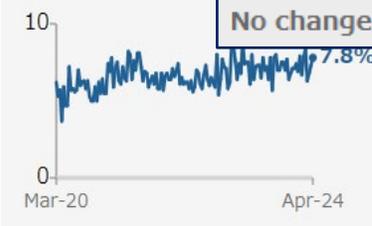
Satisfaction with social relationships
社会的関係に対する満足度



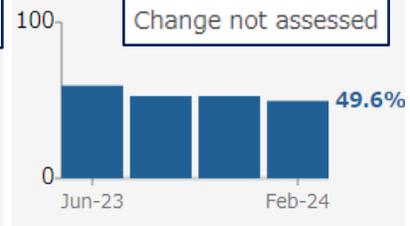
People to rely on
頼れる人々がいるかどうか



Loneliness
孤独感



Local community integration
地域社会への参画

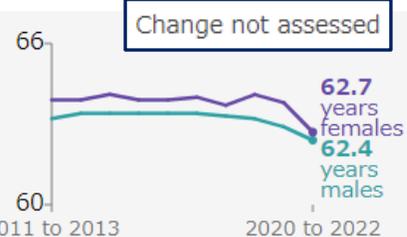


Trust in others
他人への信頼感



Health : 健康

Healthy life expectancy
健康寿命



Satisfaction with health
健康に対する満足度



Physical health conditions
身体の健康状態



Depression or anxiety
うつ病または不安



Satisfaction with healthcare system
医療制度に対する満足度



英国のウェルビーイング指標 (UK Measures of National Well-being Dashboard) ④

英国国家統計局 (ONS : Office for National Statistics)

What we do : 仕事、ボランティア、趣味など

Satisfaction with time use
時間の使い方に対する満足度

Change not assessed

61.8%

Mar 24

Satisfaction with main job
主な仕事に対する満足度

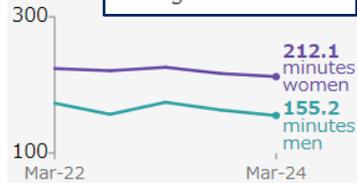
Change not assessed

69.5%

Mar 24

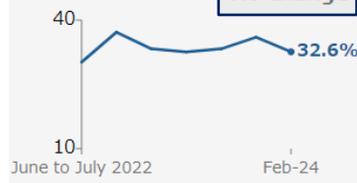
Time spent on unpaid work
無給労働に費やした時間

Change not assessed



Volunteering
ボランティア

No change



Engagement with arts and culture
芸術と文化への関わり

No change



Sports participation
スポーツ参加

No change



Visits to nature
自然への訪問

No change



Where we live : 居住

Satisfaction with accommodation
住居への満足度

Change not assessed

86.9%

Mar 24

Satisfaction with local area
地域に対する満足度

Change not assessed

78.6%

Mar 24

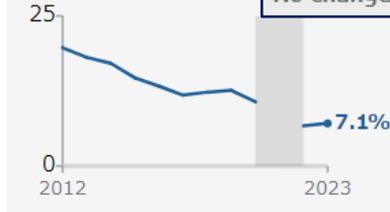
Belonging to neighbourhood
近所への帰属意識

No change



Digital exclusion
デジタル排除*

No change



*デジタルテクノロジーにアクセスできない

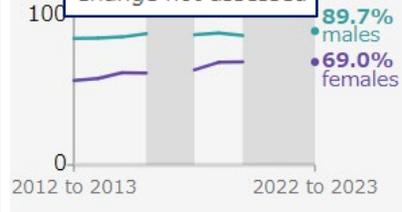
Crime
犯罪

Change not assessed



Feeling safe
安心感

Change not assessed



Personal finance : 個人の経済状況

Median household income
世帯収入の中央値

No change



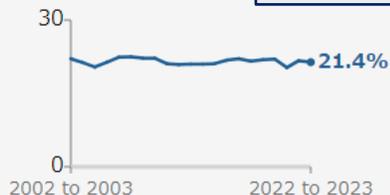
Median household wealth
世帯資産の中央値

Change not assessed



Relative low-income households
相対的に低所得の世帯

No change



Household income inequality
世帯収入の不平等

No change



Gender pay gap
男女賃金格差

Change not assessed



Difficulty managing financially
経済的なやりくりが困難

Change not assessed

21.8%

Mar 24

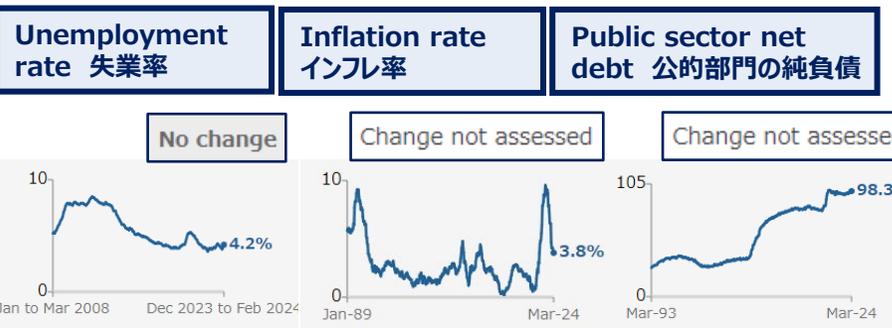
英国のウェルビーイング指標 (UK Measures of National Well-being Dashboard) ⑤

Education and skills : 教育とスキル

※A-Levelは英国ケンブリッジ大学傘下の教育機関Cambridge Internationalが提供する国際資格。高校卒業資格及び大学入学資格試験結果に基づき、科目ごとに、A*(90%以上)、A(80%)、B(70%)、C(60%)、D(50%)、E(40%)の6段階に評価される



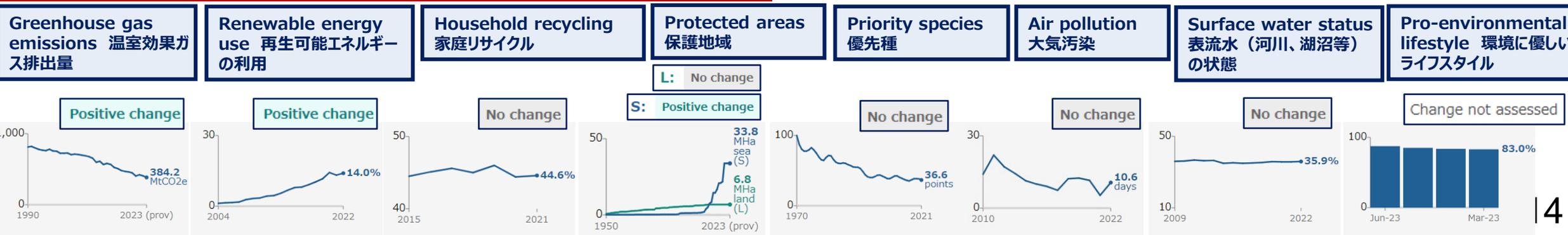
Economy : 経済



Governance : ガバナンス



Environment : 環境



英国のウェルビーイング指標 (UK Measures of National Well-being Dashboard) ⑥

no.	分類	指標名	調査主体	計測方法
1	Personal wellbeing : 個人の幸福度	Life satisfaction 人生への満足度	国家統計局	生活への満足度が低いと答えた人の割合 (0~10で回答)。四半期ごと、サンプル数約15万人
2		Feeling things done in life are worthwhile 人生で成し遂げたことに価値があると感じるか	国家統計局	人生で成し遂げたことに価値を感じる程度が低い人の割合 (0~10で回答)。四半期ごと、サンプル数約15万人
3		Happiness 幸せであるか	国家統計局	昨日幸せを感じた程度が低い人の割合 (0~10で回答)。四半期ごと、サンプル数約15万人
4		Feeling anxious 不安感があるか	国家統計局	昨日不安に感じた程度が高い人の割合 (0~10で回答)。四半期ごと、サンプル数約15万人
5		Hope for the future 未来への希望	国家統計局	将来について希望を感じる傾向にあると答えた人の割合 (0~10で回答)。毎月、横断サンプル2,000人
6		Fair treatment 公正な待遇	国家統計局	非常に、またはやや社会から不公平に扱われていると感じている人の割合 (0~10で回答)。毎月、横断サンプル2,000人
7	Our relationships : 人間関係	Unhappy partner relationships 不幸なパートナー関係	国家統計局	パートナー関係において、かなり、または極度に不幸であると感じている人の割合 (0~10で回答)。毎月、横断サンプル2,000人
8		Satisfaction with social relationships 社会的関係に対する満足度	国家統計局	社会的関係において、かなりまたは非常に満足している人の割合 (0~10で回答)。毎月、横断サンプル2,000人
9		People to rely on 頼れる人々がいるかどうか	国家統計局	深刻な問題が起こった場合に周りの人が頼りになると感じている人の割合 (0~10で回答)。毎月、横断サンプル2,000人
10		Loneliness 孤独感	国家統計局	時々、または常に孤独であると感じている人の割合 (0~10で回答)。毎月、横断サンプル2,000人
11		Local community integration 地域社会への参画	国家統計局	様々なバックグラウンドを持つ人々が地域で調和していると感じている人の割合 (0~10で回答)。毎月、横断サンプル2,000人
12		Trust in others 他人への信頼感	国家統計局	全体として、周りの人を信頼していると感じている人の割合 (0~10で回答)。毎月、横断サンプル2,000人
13	Health : 健康	Healthy life expectancy 健康寿命	国家統計局	健康寿命 (男女別)。年次
14		Satisfaction with health 健康に対する満足度	国家統計局	自身の健康状態にかなり、または非常に満足している人の割合 (0~10で回答)
15		Physical health conditions 身体の状態	国家統計局	がん、心血管疾患、認知症、糖尿病、腎臓疾患、肝臓疾患、慢性筋骨格疾患または呼吸器疾患を報告している人の割合 (インデックス化)
16		Depression or anxiety うつ病または不安	国家統計局	うつ病または不安の症状がある人の割合。毎年、縦断サンプル数約40,000世帯
17		Satisfaction with healthcare system 医療制度に対する満足度	国家統計局	英国の医療制度に概ね満足している人の割合。毎月、横断サンプル2,000人

英国のウェルビーイング指標 (UK Measures of National Well-being Dashboard) ⑦

no.	分類	指標名	調査主体	計測方法
18	What we do : 仕事、ボランティア、趣味など	Satisfaction with time use 時間の使い方に対する満足度	国家統計局	典型的な1週間における時間の使い方について、かなりまたは非常に満足している人の割合。毎月、横断サンプル2,000人
19		Satisfaction with main job 本業への満足度	国家統計局	本業にかなり、または非常に満足している人の割合。毎月、横断サンプル2,000人
20		Time spent on unpaid work 無給労働に費やした時間	国家統計局	無給の家事、子供の世話、介護、ボランティア等に費やした時間 (男女別)。サンプル数約7,000人
21		Volunteering ボランティア	国家統計局	過去12カ月間に私的集まり、グループ、チャリティ、組織等に対して無償の支援を行った人の割合。毎月、横断サンプル2,000人
22		Engagement with arts and culture 芸術と文化への関わり	デジタル・文化・メディア・スポーツ省	過去12か月間に創造的、芸術的な活動に従事、または文化的、芸術的イベントに参加した人の割合。四半期ごと、サンプル数約3.3万人 (3年に1度17.5万人)
23		Sports participation スポーツ参加	スポーツイングランド (特殊法人)	週平均150分以上、「適度な強度」以上のスポーツや身体活動に参加している人の割合。毎年、サンプル数約17万人 (16歳以上)。
24		Visits to nature 自然への訪問	ナチュラル・イングランド (特殊法人)	過去14日間に自由時間に自然を訪れた人の割合。毎月大人2.5万人 (16歳以上) 実施、レポートは四半期ごとに公表
25	Where we live : 居住	Satisfaction with accommodation 住居への満足度	国家統計局	宿泊施設にかなり、または非常に満足している人の割合。毎月、横断サンプル2,000人
26		Satisfaction with local area 地域に対する満足度	国家統計局	居住地としての地元地域にかなり、または非常に満足している人の割合。毎月、横断サンプル2,000人
27		Belonging to neighbourhood 近所への帰属意識	国家統計局	自分の近所に所属していると感じていると回答または強く同意した人の割合。毎月、横断サンプル2,000人
28		Digital exclusion デジタル排除 (デジタルテクノロジーにアクセスできない)	情報通信庁	自宅でインターネットにアクセスできない人の割合。毎年16歳以上の成人に対して実施
29		Crime 犯罪	国家統計局	個人犯罪の発生率。毎年、サンプル数成人で約3万、子供で約1,500 (2023-24調査)
30		Feeling safe 安心感	国家統計局	夜間に地元で一人で歩くのが、かなりまたは非常に安全だと感じた人の性別割合。毎年、サンプル数成人で約3万、子供で約1,500 (2023-24調査)

英国のウェルビーイング指標（UK Measures of National Well-being Dashboard） ⑧

no.	分類	指標名	調査主体	計測方法
31	Personal finance:個人の経済状況	Median household income 世帯収入の中央値	国家統計局	等価世帯可処分所得の中央値（実質ベース）
32		Median household wealth 世帯資産の中央値	国家統計局	世帯総資産の中央値（実質ベースの個人年金資産を含む）。隔年の縦断調査、2018-2020年調査ではサンプル数約17,500世帯。
33		Relative low-income households 相対的に低所得の世帯	労働・年金省	現在の世帯収入の中央値の60%未満の世帯収入（住宅費控除後）を持つ人の割合。毎年実施、サンプル数は2023年度で25,000世帯。
34		Household income inequality 世帯収入の不平等	国家統計局	所得格差を測るジニ係数（0は世帯可処分所得の完全な平等を意味する）。毎年、縦断サンプル約12,000世帯
35		Gender pay gap 男女賃金格差	国家統計局	男女間の時給の粗平均差。毎年実施、サンプル数は雇用者約18万人。毎年、サンプル数は雇用者約18万人
36		Difficulty managing financially 経済的なやりくりが困難	国家統計局	過去1か月間、経済的にかなりまたは非常に困難だと感じた人の割合。毎月、横断サンプル2,000人
37	Education and skills : 教育とスキル	NEET ニート	国家統計局	教育、就労、訓練を受けていない若者の割合（季節調整済み）。四半期に一度実施、サンプル数は約40,000人。
38		No qualifications 資格なし	国家統計局	資格のない16歳から64歳までの割合。四半期に1度、約15万人
39		A level or equivalent qualifications Aレベル または同等の資格	国家統計局	英国でAレベル相当以上の資格を持つ16歳から64歳までの割合。四半期に1度、約15万人
40		Human capital 人的資本	国家統計局	生涯予想収入総額（実質ベース）
41		Satisfaction with own education and skills 自身の教育とスキルに対する満足度	国家統計局	自分の教育やスキルにかなり、または非常に満足している人の割合。毎年、縦断サンプル約12,000世帯
42	Satisfaction with education system 教育制度に対する満足度	国家統計局	英国の教育制度に満足している傾向にある人の割合。毎年、縦断サンプル約12,000世帯	
43	Economy : 経済	Unemployment rate 失業率	国家統計局	16歳以上の成人の失業率（季節調整済み）、四半期に一度実施、サンプル数は約40,000人。
44		Inflation rate インフレ率	国家統計局	年間インフレ率（消費者物価指数（CPIH）による測定、所有者の住宅費を含む）
45		Public sector net debt 公的部門の純負債	国家統計局	公的部門の純負債対国内総生産比（季節調整なし）
46		Consumer confidence 消費者信頼感	Growth from Knowledge社	過去12か月間と今後12か月間の消費者の財政と経済に対する見方。1974年から続く毎月調査。

英国のウェルビーイング指標 (UK Measures of National Well-being Dashboard) ⑨

no.	分類	指標名	調査主体	計測方法
47	Governance : ガバナンス	Voter turnout 投票率	下院図書館	英国総選挙の投票率
48		Trust in UK government 英国政府への信頼	国家統計局	英国政府を信頼する傾向にある人の割合。毎月、横断サンプル2,000人
49		Voice in government matters 政府問題における発言力	国家統計局	政府の行動に何ら発言権がないことに同意または強く同意する人の割合。毎月、横断サンプル2,000人
50		Satisfaction with police 警察に対する 満足度	国家統計局	警察に満足している傾向にある人の割合。毎月、横断サンプル2,000人
51		Satisfaction with courts and legal system 裁判所や司法制度に対する満足度	国家統計局	裁判所と司法制度に満足する傾向にある人の割合。毎月、横断サンプル2,000人
52	Environment : 環境	Greenhouse gas emissions 温室効果ガス排出量	エネルギー安全保障・ネットゼロ省	温室効果ガス総排出量
53		Renewable energy use 再生可能エネルギーの利用	エネルギー安全保障・ネットゼロ省	再生可能エネルギーの総最終エネルギー消費量に占める割合
54		Household recycling 家庭リサイクル	国家統計局	家庭ごみのリサイクル率
55		Protected areas 保護地域	自然保護合同委員会、環境・食糧・農村地域省	陸地と海上の保護地域の面積
56		Priority species 優先種	自然保護合同委員会、環境・食糧・農村地域省	優先種の相対的豊富さ (インデックス化)
57		Air pollution 大気汚染	環境・食糧・農村地域省	全国の大気汚染モニタリングサイトにおいて、中程度または高程度に大気汚染が観察された平均日数
58		Surface water status 表流水 (河川、湖沼等) の状態	自然保護合同委員会、環境・食糧・農村地域省	「良好」または「高」の水質ステータスを獲得した表層水域の割合
59	Pro-environmental lifestyle 環境に優しいライフスタイル	国家統計局	環境問題に取り組むためにライフスタイルに多少の、または大幅な変化を加えた人の割合。毎月、横断サンプル2,000人	

3. ドイツの事例

ドイツのウェルビーイング指標 (Gut Leben in Deutschland) ①

概要

- ドイツは2013年の政権政党の連立協定の中で、ウェルビーイングの進捗把握、報告のための情報を提供すると宣言
- その後、政府戦略「ドイツにおけるウェルビーイング」においてウェルビーイングを政策の中心に据えた

ウェルビーイングを何で測っているか

- 指標は3領域、12分野、46指標で構成

指標構築の特徴

- 時系列で取得できるという観点でほとんどの指標が客観的指標（一部に主観的指標を用いている）
- 指標の策定にあたっては、国民との対話を重視し、全国で6カ月にわたる対話イベントを実施した（約1.5万人が参加）。
- 国民の声に基づく指標を選定したため、項目としては存在するがデータが取得できない指標もある。

指標の活用方法

- 連邦政府は、指標を活用した「ドイツのウェルビーイングに関する政府報告書」を公表。

ウェルビーイングを測る12分野

生涯を通じての健康	都会でも田舎でも
良い仕事と公平な参加	家族と社会でともに立ち上がる
すべての人に平等な教育の機会を	経済の強化、未来への投資
家族と仕事の時間を持つ	自然保護、環境保護
安定した収入	法の下で平等に生きる
安全で自由な生活	地球規模の責任で行動し、平和を確保する

ドイツのウェルビーイング指標 (Gut Leben in Deutschland) ②

指標間の構造 (ストーリー、ロジック等の有無) : 並列に構成

- ドイツのウェルビーイング指標においては、**ストーリー、ロジックなどは明示的に設定されていない**
- これは、指標選定のプロセスの特徴によるものと考えられる。
- 具体的には、指標の選定にあたっては「どのような要素がドイツ国民のウェルビーイングにとって重要であるのか」について国民との間で対話を行い、その中で最も高い頻度で登場したキーワードをもとに**データ解析により指標を抽出し、分野の設定まで行っている。**

指標選定のプロセス

①国民との対話を実施

「どのような要素がドイツ国民のウェルビーイングによって重要であるのか」について対話

②データ解析の実施

- 最も高頻度で登場したキーワードをデータ解析により抽出 (17カテゴリ-144サブカテゴリ-255サブファセットを抽出)
- 科学的分析に基づくことで、指標選定における中立性、透明性、独立性を確保

③研究者による選定

- 下記を考慮し、研究者により12カテゴリ46指標を抽出
- 1) 指標の数はできる限り少なくすること
 - 2) 国民が理解しやすい明確な指標体系であること
 - 3) 国内外のウェルビーイング指標に係るプロジェクトを参考にする
 - 4) ウェルビーイングに関する最新の学術研究の結果を参考にする

指標間の統計的関係 : 有意性は確保されていない可能性

- 統計的有意性の考慮については明示されていないため、**統計的有意性は確保されていない可能性が高い**

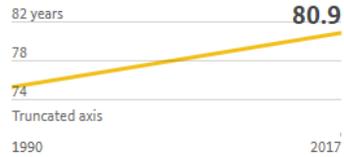
指標群における環境分野の位置づけ : 他分野と並列。指標数も網羅的ではない

- 上記より、ドイツのウェルビーイング指標における**環境分野の指標は、他の分野と並列的な位置づけ**であると考えられる
- また、環境分野の指標は3指標であり、環境分野を網羅しているとは言えない。

ドイツのウェルビーイング指標 (Gut Leben in Deutschland) ③

Healthy throughout life : 生涯を通じての健康

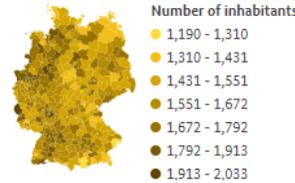
Life expectancy at birth
出生時の平均余命



Prevalence of obesity
肥満の有病率



Number of residents covered by a general practitioner or general specialist
総合診療医または総合専門医がカバーする住民数



Quality of care (placeholder)
医療の質

Currently there is no data for this indicator available

Ratio of self-reported health and income
自己申告による健康と収入の比率



Good work and equitable participation : 良い仕事と公平な参加

Unemployment rate
失業率



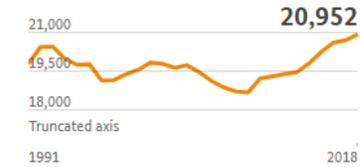
Employment rate
就業率



Standard and non-standard employment
正規及び非正規雇用



Real net wages and salaries
実質賃金・給与

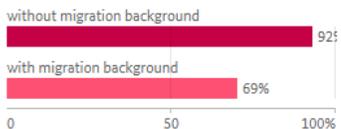


Job satisfaction
仕事の満足度



Equal educational opportunities for all : すべての人に平等な教育の機会を

Persons who have completed at least vocational training or university entrance qualification
少なくとも職業訓練または大学入学資格を修了した者



Early school leavers
早期退学者



Educational mobility between parents and children
親子間の教育的流動性



Participation in further education
継続教育への参加

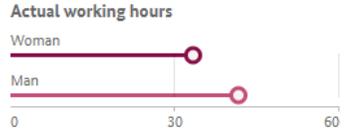


※2020年3月以降更新されていない可能性

ドイツのウェルビーイング指標 (Gut Leben in Deutschland) ④

Having time for family and work : 家族と仕事の時間を持つ

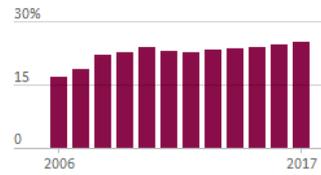
Comparison of actual and preferred working hours 実労働時間と希望労働時間の比較



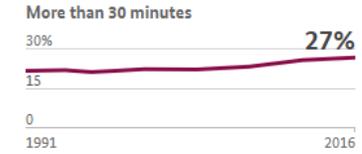
Childcare enrolment rate 保育園入園率



Reduced working hours for care responsibilities 介護のための労働時間短縮



Commuting time 通勤時間

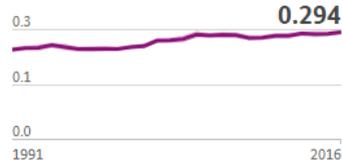


A secure income : 安定した収入

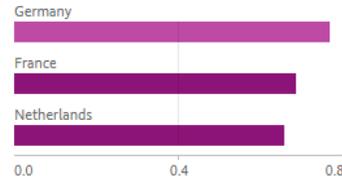
Net household income 世帯純収入



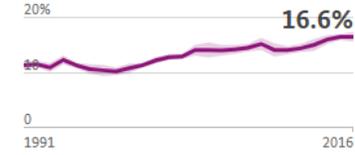
Gini coefficient of income 所得のジニ係数



Gini coefficient of wealth 豊かさのジニ係数



Risk-of-poverty rate 貧困リスク率

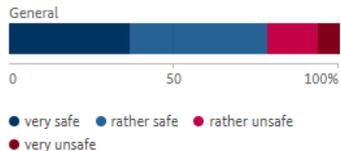


Old-age dependency ratio 高齢扶養比率



Living a life in security and freedom : 安全で自由な生活

Fear of crime 犯罪への恐怖



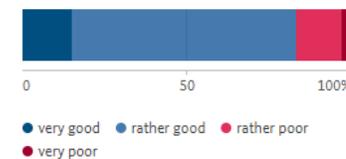
Actual crime 犯罪の実態



Hate crime and politically motivated crime ヘイトクライムと政治的動機による犯罪



People's trust in local policing 地元の警察に対する人々の信頼

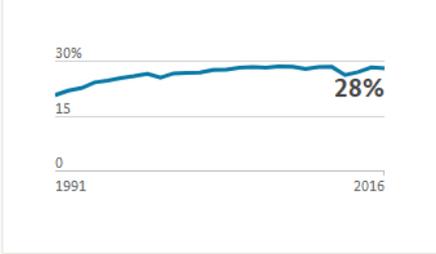


※2020年3月以降更新されていない可能性

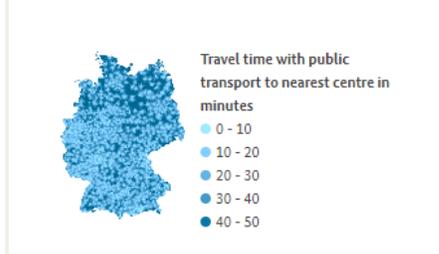
ドイツのウェルビーイング指標 (Gut Leben in Deutschland) ⑤

At home in urban and rural areas : 都会でも田舎でも

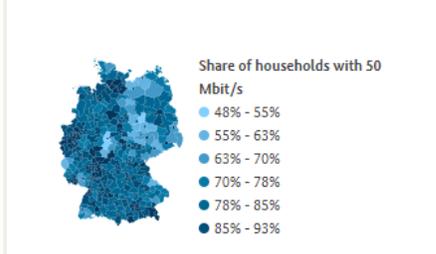
Ratio of rental costs to net household income 純収入に対する賃貸費用の比率



Travel time to educational, service and cultural facilities 教育、サービス、文化施設までの所要時間



Broadband access ブロードバンドアクセス

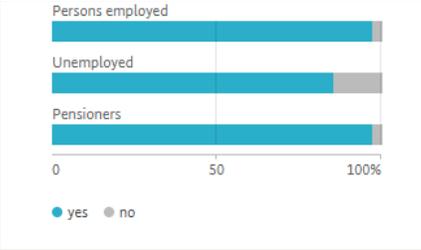


Standing together in family and society : 家族と社会でともに立ち上がる

Life and family forms 人生と家族の形



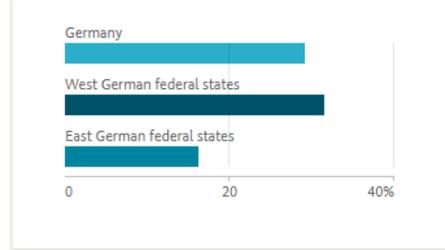
Help from others 他者の助け



Civic engagement 市民参加



Membership in sport clubs スポーツクラブへの入会



Strengthening the economy, investing in the future : 経済の強化、未来への投資

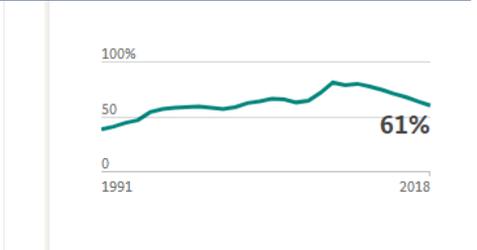
Real gross domestic product per capita 一人当たり実質GDP



Investment rate 投資率



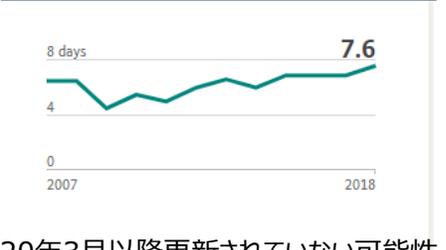
National debt ratio 国債比率



Public and private expenditure on research and development 研究開発への公的・民間支出



Time required to start a business 起業に要する時間

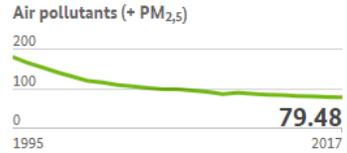


※2020年3月以降更新されていない可能性

ドイツのウェルビーイング指標 (Gut Leben in Deutschland) ⑥

Preserving nature, protecting the environment : 自然保護、環境保護

Air quality 空気の質



Biodiversity and environmental quality 生物多様性と環境の質 (インデックス)



Energy productivity エネルギー生産性

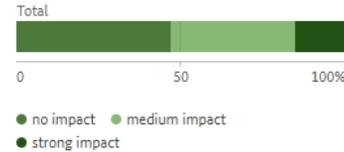


Living freely and equal before the law : 法の下で平等に生きる

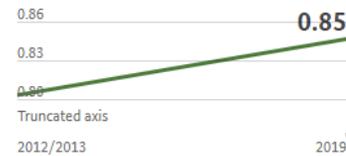
Voter turnout 投票率



Perceived ability to influence politics 政治への影響力



Guarantee of eight selected fundamental rights 8つの基本的権利の保障



Acting with global responsibility and securing peace : 地球規模の責任で行動し、平和を確保する

Global and national greenhouse gas emissions 世界および国内の温室効果ガス排出量



Public expenditure on development cooperation as a percentage of gross national income 国民総所得に占める開発協力への公的支出の割合



Global corporate responsibility (placeholder) グローバル企業責任

Currently there is no data for this indicator available

ドイツのウェルビーイング指標 (Gut Leben in Deutschland) ⑦

no.	分類	指標名	出所または調査主体	計測方法
1	Healthy throughout life : 生涯を通じての健康	Life expectancy at birth 出生時の平均余命	Human Mortality Database	新生児の平均寿命
2		Prevalence of obesity 肥満の有病率	Microcensus	ドイツの全人口のうち、BMIが30以上の人の割合
3		Number of residents covered by a general practitioner or general specialist 総合診療医または総合専門医がカバーする住民数	German Physician's Registry	郡内で一般開業医または一般専門医が診察する住民の平均人数
4		Quality of care (placeholder) 医療の質	-	現状では取得できない
5		Ratio of self-reported health and income 自己申告による健康と収入の比率	Socio-Economic Panel	5つの所得グループごとに、自分の健康状態を「悪い」「良い」「非常に良い」と評価した人の数
6	Good work and equitable participation : 良い仕事と公平な参加	Unemployment rate 失業率	Federal Employment Agency	15歳以上で、まだ定年退職年齢に達していない人が特定の月に仕事を求めている労働者の割合
7		Employment rate 就業率	Microcensus	収入を得るために週に少なくとも1時間働いている20歳から64歳の労働者の同年齢層の人口の割合
8		Standard and non-standard employment 正規及び非正規雇用	Microcensus	正規雇用：臨時雇用を含まない、無期限のフルタイム雇用。 非正規雇用：有期雇用契約の労働者、限界雇用（ミニジョブ）の労働者、パートタイム従業員（週20時間まで）、下請けおよび臨時従業員
9		Real net wages and salaries 実質賃金・給与	Federal Statistical Office	従業員の年間純賃金と給与が時間の経過とともにどのように変化するかを測定し、平均的な従業員の購買力を概算
10		Job satisfaction 仕事の満足度	Socio-Economic Panel	20歳から54歳までの一般世帯の人々に、仕事への満足度を0（非常に不満）から10（非常に満足）の尺度で測定
11	Equal educational opportunities for all : すべての人に平等な教育の機会を	Persons who have completed at least vocational training or university entrance qualification 少なくとも職業訓練または大学入学資格を修了した者	Microcensus	25～64歳のうち、少なくとも職業訓練を修了しているか、大学入学資格（中等教育レベルII）を取得した人の割合
12		Early school leavers 早期退学者	Microcensus	18歳から24歳までの若者のうち、中等教育の基礎資格（中等教育レベルI）を有する若者の数
13		Educational mobility between parents and children 親子間の教育的流動性	Microcensus	親の最高一般学校卒業資格とその子供の最高一般学校卒業資格を比較。
14		Participation in further education 継続教育への参加	Adult Education Surveys	まだ親の世帯に住んでいて、一般教育制度には属していない15歳から25歳の若者を含む過去12か月間に企業ベースの継続教育プログラム、または個人の職業関連または非職業関連の継続教育プログラムに参加した18歳から64歳までの人の割合
15	Having time for family and work : 家族と仕事の時間を持つ	Comparison of actual and preferred working hours 実労働時間と希望労働時間の比較	Socio-Economic Panel	希望労働時間と実労働時間の差
16		Childcare enrolment rate 保育園入園率	Source: German Federal Statistical Office, Statistics on children and staff in childcare centres and day care by child minders.	保育所やベビーシッターで世話されている子どもの割合と、特定の年齢層の子どもの総数
17		Reduced working hours for care responsibilities 介護のための労働時間短縮	Microcensus	介護のために仕事を減らしたり辞めたりする人の割合
18		Commuting time 通勤時間	Microcensus	ドイツで通勤に30分以上かかる労働者（研修生を含む）の数

ドイツのウェルビーイング指標 (Gut Leben in Deutschland) ⑧

no.	分類	指標名	出所または調査主体	計測方法
19	A secure income : 安定した収入	Net household income 世帯純収入	Socio-Economic Panel	平均世帯の年間純可処分所得
20		Gini coefficient of income 所得のジニ係数	Socio-Economic Panel	
21		Gini coefficient of wealth 豊かさのジニ係数	Socio-Economic Panel, Household Finance and Consumption Survey,	
22		Risk-of-poverty rate 貧困リスク率	Socio-Economic Panel	所得が貧困リスク閾値を下回る人口の割合。相対的貧困を測るものであり、絶対的貧困を測るものではない。
23		Old-age dependency ratio 老齢扶養比率	Federal Statistical Office	労働年齢（20～66歳）の人口100人あたり、高齢者（67歳以上）が何人いるかを測定
24	Living a life in security and freedom : 安全で自由な生活	Fear of crime 犯罪への恐怖	German Victimization Survey	「夜間、あなたの近所はどれくらい安全だと感じますか？」という設問で聴取
25		Actual crime 犯罪の実態	Police Crime Statistics	暴力犯罪と財産関連犯罪の数。警察が独自の捜査または刑事告発を通じて知っている、または報告したすべての犯罪。
26		Hate crime and politically motivated crime ヘイトクライムと政治的動機による犯罪	Statistics on Politically Motivated Crime	特定の集団に対する偏見によって動機づけられたすべての犯罪行為
27		People's trust in local policing 地元の警察に対する人々の信頼信頼	German Victimization Survey 2017	「あなたの地元の警察は犯罪と戦う上でどれくらい効果的ですか？」等設問で聴取
28	At home in urban and rural areas : 都会でも田舎でも	Ratio of rental costs to net household income 純収入に対する賃貸費用の比率	Socio-Economic Panel	純世帯収入に対する賃貸費用の割合
29		Travel time to educational, service and cultural facilities 教育、サービス、文化施設までの所要時間	Federal Institute for Research on Building, Urban Affairs and Spatial Development	ドイツの人々が公共交通機関または自家用車で最寄りの地方または主要な地方の中心地まで移動するのに要する時間
30		Broadband access ブロードバンドアクセス	Broadband Atlas	少なくとも 50 Mbit/s のインターネット速度にアクセスできる世帯の割合
31	Standing together in family and society : 家族と社会でともに立ち上がる	Life and family forms 人生と家族の形	Microcensus	世帯内の人々がどのように一緒に住んでいるか。たとえば、2人が一緒に住んでいるが、そのうちの1人がまだ結婚している場合は、婚姻関係にないパートナーシップとみなされる。
32		Help from others 他者の助け	The European Union Statistics on Income and Living Conditions	困ったときに他人の助けを頼りにできると答えた人の割合。
33		Civic engagement 市民参加	German Survey on Volunteering	代表的なサンプルは14歳以上の人。特定の年齢層でボランティア活動を行っている人の割合。
34		Membership in sport clubs スポーツクラブへの入会	German Olympic Confederation	16の州スポーツ連盟のいずれかに所属していて、少なくとも1つのスポーツクラブの会員として登録されている人の割合。

ドイツのウェルビーイング指標 (Gut Leben in Deutschland) ⑨

no.	分類	指標名	出所または調査主体	計測方法
35	Strengthening the economy, investing in the future : 経済の強化、未来への投資	Real gross domestic product per capita 一人当たり実質GDP	National Accounts	経済において生産されるすべての商品とサービスの一人当たりの合計価値
36		Investment rate 投資率	National Accounts	経済における公的投資と民間投資に費やされる経済生産の割合
37		National debt ratio 国債比率	German Federal Bank	GDPに対する連邦政府、州政府、地方政府、社会保障の総負債。
38		Public and private expenditure on research and development 研究開発への公的・民間支出	Federal Statistical Office, Federal Ministry for Education and Research, Stifterverband.	研究開発に対する公的および民間の支出が経済生産高 (GDP) に占める割合
39		Time required to start a business 起業に要する時間	EU Commission's Directorate-General for Growth	ドイツで有限責任会社を設立するための正式な手順を完了するのにかかる平均日数
40	Preserving nature, protecting the environment : 自然保護、環境保護	Air quality 空気の質	Federal Environment Agency	二酸化硫黄、窒素酸化物、アンモニア、メタンや粒子状物質を含まない揮発性有機化合物の排出量。これらはすべて同等の重み付けがされ、指数にまとめられている。
41		Biodiversity and environmental quality 生物多様性と環境の質 (インデックス)	German Federal Agency for Nature Conservation	5つの生息地 (農地、森林、集落、内陸水域、海岸線・海) における51種類の鳥類の個体数の変化を測定し、面積で重みづけして一つのインデックスを算出。
42		Energy productivity エネルギー生産性	Arbeitsgemeinschaft Energiebilanzen e.V. , Federal Statistical Office.	国内総生産 (GDP) とエネルギー消費の関係。
43	Living freely and equal before the law : 法の下で平等に生きる	Voter turnout 投票率	Federal Statistical Office	投票権を持つ有権者のうち投票し、投票権を行使した人の割合。政治参加を測る方法の1つ。
44		Perceived ability to influence politics 政治への影響力	European Social Survey	人々が政治に影響を与えることができると感じている程度
45		Guarantee of eight selected fundamental rights 8つの基本的権利の保障	World Justice Project	選ばれた8つの基本的権利は、平等な扱いと差別の排除、生存と安全の権利、法の適正手続きの遵守、意見と表現の自由、信仰と宗教の自由、プライバシーへの恣意的な干渉からの自由、集会と結社の自由、および労働の基本的権利。これらは0から1(最適な状態)のスケールで評価され、個別に表示され、全体的な指標でも同等の重み付けが与えられる。
46	Acting with global responsibility and securing peace : 地球規模の責任で行動し、平和を確保する	Global and national greenhouse gas emissions 世界および国内の温室効果ガス排出量	EU's Joint Research Centre, Federal Environmental Agency	世界および各国の温室効果ガス排出量を把握し、気候保護の分野における変化を記録。
47		Public expenditure on development cooperation as a percentage of gross national income 国民総所得に占める開発協力への公的支出の割合	OECD	国民総所得に対する開発協力への公的支出の割合 (ODA 率) は、世界全体の開発に対するドイツの財政的貢献を測る指標。
48		Global corporate responsibility (placeholder) グローバル企業責任	-	現状では取得できない

4. ウェールズの事例

ウェールズのウェルビーイング指標 (Well-being of Wales: 2024) ①

概要

- ウェールズでは、「将来世代の幸福に関する法律 (Well-being of Future Generations (Wales) Act 2015)」に基づき、持続可能な国になるための**7つの幸福目標**を掲げている。
- 本指標は、7つの幸福目標の達成度を計測するために、2016年にウェールズ政府が定義し、管理している。

ウェルビーイングを何で測っているか

- 7つの幸福目標に対して、50指標の対応関係が示されている。

指標構築の特徴

- 50指標のうち16指標については、「**マイルストーン**」が設定されている。
- マイルストーンとは、7つの幸福目標の実現に向けて、**該当指標に関する長期目標**。
- マイルストーンは、**将来世代委員会** (Future Generations Commissioner for Wales) における専門家の意見を踏まえ、ウェールズ大臣によって以下を明確にして設定されている。
 - マイルストーンが達成されたかを判断するための基準
 - マイルストーンの達成期限

指標の活用方法

- 国、地方政府、地方保健委員会、その他の特定公共団体に対して、7つの幸福目標を達成するための措置を講じることを義務付けている。

ウェルビーイングを測る7分野

繁栄するウェールズ

強靱なウェールズ

より健康なウェールズ

より平等なウェールズ

より結束力の強いコミュニケーションのウェールズ

活気ある文化と盛んなウェールズ語

世界的に責任あるウェールズ

ウェールズのウェルビーイング指標 (Well-being of Wales: 2024) ②

公的機関に対して義務付けている内容

■「将来世代の幸福に関する法律 (Well-being of Future Generations (Wales) Act 2015)」に基づき、持続可能な発展に向けて、各公的機関に対して以下の行動をとることが義務付けられている。

- ① **ウェルビーイング目標と、それをどのように達成するかを設定し公表すること**
- ② **ウェルビーイング目標を達成するために、あらゆる合理的な手段を講じること**

■ つまり、各公的機関は、**ウェールズの経済的、社会的、環境的、文化的なウェルビーイングを向上させるために活動しなければならない。**

事例：国立博物館の2030年までの計画

■ 国立博物館では、2030年までに以下の6つの目標を掲げている。

- ① **人種差別や不平等をなくし、全員が代表であることを確認し、あらゆる地域の人々が博物館を楽しみ、イベントに参加しやすくする**
- ② **2030年までにウェールズ全土の学校と連携し、創造性と学習意欲を刺激する**
- ③ **エネルギー使用量を減らし、炭素排出量を削減するなど環境に優しくする**
- ④ **人々のウェルビーイングをサポートするために、博物館に訪れることが人々の能力向上に役立たせる**
- ⑤ **デジタル技術を活用し、人々が家庭やコミュニティでもより簡単に楽しめるようにする**
- ⑥ **世界中の組織と協力し、博物館を紹介するとともに、ウェールズ語をより使ってもらう**

対象の公的機関

公的機関 (48団体)

ウェールズ政府
自治体 (22団体)
地域保健委員会 (7団体)
国立病院の医療システム機関
国立ヴェリンドレ大学の医療システム機関
国立公園管理局 (3団体)
消防・救急局 (3団体)
天然資源局
高等教育評議会
資金調達評議会
芸術評議会
スポーツ評議会
国立図書館
国立博物館
交通局
国税局
デジタル公共サービスセンター

ウェールズのウェルビーイング指標 (Well-being of Wales: 2024) ③

指標間の構造 (ストーリー、ロジック等の有無) : 並列に構成

下記2点より、**指標間の構造的な関係はなく、並列に構成されている**

- ウェールズの指標では、7つの幸福目標の達成指標として、50の国家指標がウェールズ政府により定義されているが、リストで公表されており、分野等の分類、階層構造は示されていない
- 2016年の第1版の指標公開後のウェールズ公共政策研究所※より、「**指標間の因果関係の整理**」や「**指標リストの階層構造化**」をするよう提言されている (つまり、公式には指標間の構造化がなされていない)

※ウェールズ公共政策研究所：独立系の政府研究機関。経済社会研究評議会とウェールズ政府の共同出資により、2014年に設立された。

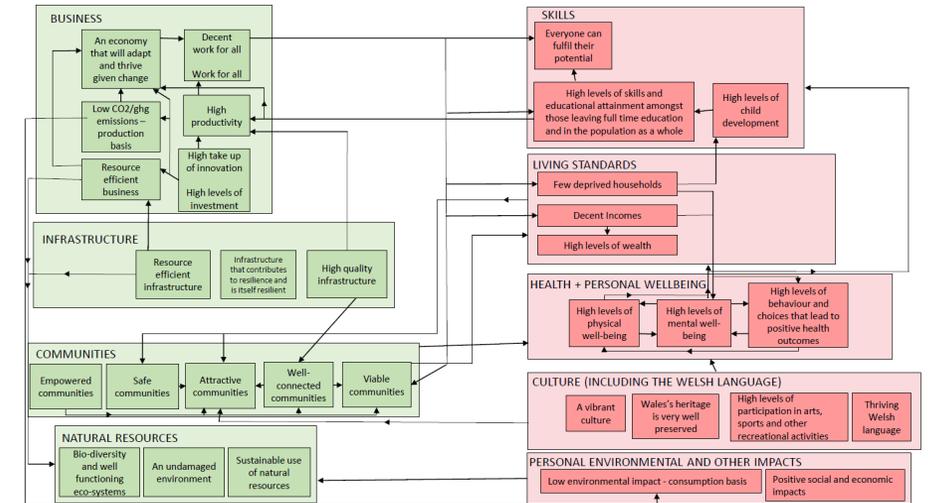
指標間の統計的関係 : 有意性は確保されていない可能性

ウェールズのウェルビーイング指標においては、指標間の関係での統計的有意性の考慮については明示されておらず、**統計的有意性は確保されていない可能性が高い**

指標群における環境分野の位置づけ : 他分野と並列。指標数も網羅的ではない

- 下記より、指標制定の根拠法である「ウェールズ未来世代法」では、ウェールズの社会的、経済的、環境的、文化的な幸福の**4つの側面をすべて向上させるとして、優劣に関する記述はない。**
- そのため、**環境分野は並列的な位置づけ**であると考えられる
- また、環境分野の指標は8指標であり、必ずしも環境分野を網羅しているとは言えない。

ウェールズ公共政策研究所により提言された指標間の因果関係



出所 : Measuring Progress on Well-being: The Development of National Indicators, August 2015, Public Policy Institute for Wales

将来世代委員会について

主な役割

- 持続可能な開発の原則を推進し、特に未来世代のニーズを満たす能力の保護者として行動し、公的機関が行うことの**長期的影響を考慮するよう奨励**すること
- 公的機関が設定した**幸福目標がどの程度達成されているかを監視・評価**すること

主なメンバー

- 持続可能な開発やウェルビーイングに関する政策を策定や推進する**専門家**
- 環境、経済、社会福祉などの分野で助言を行う**専門家**
- 市民やコミュニティとの連携を図り、**情報発信を担当する専門家**

役職	氏名	略歴等
コミッショナー	デレク・ウォーカー	<ul style="list-style-type: none"> 英国最大の協同組合開発機関であるCwmpas（経済と社会の前向きな変化のために活動する開発機関）の最高経営責任者を務めた 組織の焦点を将来の世代のニーズを損なうことなく、現在の世代のニーズを満たす開発に変更した
副コミッショナー	マリー・ブルソー・ナヴァロ	<ul style="list-style-type: none"> 公法、権限委譲法、議会手続き、そして現在は将来世代の幸福（ウェールズ）法の専門家である弁護士 政策、立法、イノベーションのディレクターを務めていた
ディレクター：対外関係と文化	ジェイコブ・エリス	<ul style="list-style-type: none"> Future Generations Leadership Academyを設立し、世界をリードする法律の推進に国際的に取り組んできた ウェールズ文学および劇場Genedlaethol Cymruの非常勤取締役 元BBCウェールズのジャーナリストであり、国連財団の次世代フェロー
ディレクター：戦略計画および気候と自然	ヘレン・ネルソン	<ul style="list-style-type: none"> Ymlaen CeredigionやCynnal Cymru-Sustain Walesなどの環境団体を率いており、気候と自然問題に関する20年以上の経験がある 年次報告書、法定諮問委員会などのコーポレートガバナンスの分野を担当
ディレクター：金融とIT	リサ・ピット	<ul style="list-style-type: none"> 公認会計士であり、15年以上の実務経験がある
リード：コミュニケーション	クレア・リース	<ul style="list-style-type: none"> 法律、コミッショナー、および将来世代委員会の仕事について書いているジャーナリスト 慈善団体、代理店、企業のPRに携わっている

ウェールズのウェルビーイング指標 (Well-being of Wales: 2024) ⑤



Derek Walker
Future Generations Commissioner for Wales



Marie Brousseau-Navarro
Deputy Commissioner and Director for Health



Jacob Ellis
Director: External Relations and Culture



Heledd Morgan
Director: Implementation & Impact



Claire Rees
Lead: Communications



Rhiannon Hardiman
Policy Lead: Climate, Nature, Economy & Food



Petranka Malcheva
Policy Lead: Health, long-term thinking, prevention



Korina Tsioni
Programme Lead: FGLA



Helen Nelson
Director: Strategic Planning and Climate & Nature



Louisa Neale
Director: People



Jonathan Tench
Director: Well-being Economy and Programmes



Lisa Pitt
Director: Finance & IT



Rebecca Leyla
Future Leaders Academy Support



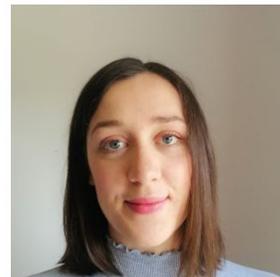
Sandy Clubb
Policy Advisor: Involvement, Collaboration, Culture



Colleen Cluett
Sustainable Development Advisor



Jenny McConnel
Sustainable Development Advisor (to include PSBs, Integration)



Alice Horn
Sustainable Development Advisor (to include PSBs, Integration)



Najma Hashi
International Programme Coordinator



Natalie Jenkins
People Assistant



Sang-Jin Park
Finance & Corporate Governance Officer



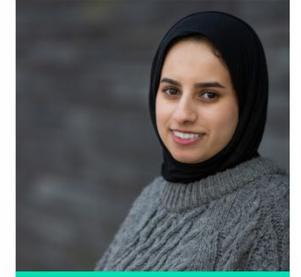
Hollie Leslie
Communications Co-ordinator (correspondence, briefings and publications)



Mariyah Zaman
Communications Co-ordinator (website and social media)



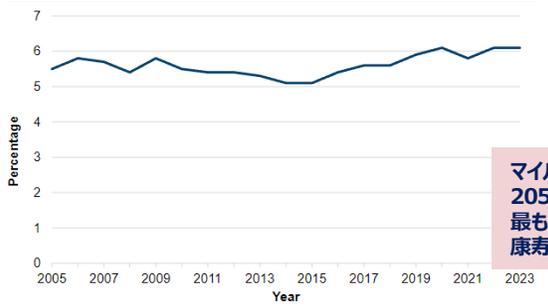
Cara Rogers
Executive Assistant to the Future Generations Commissioner for Wales



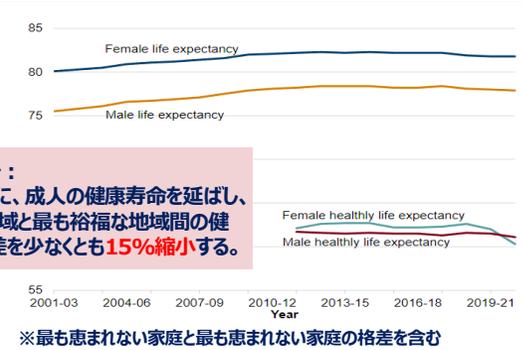
Ola Mohammed
Team Support Administrator

ウェールズのウェルビーイング指標 (Well-being of Wales: 2024) ⑥

出生体重2,500g未満の単胎出生児の割合

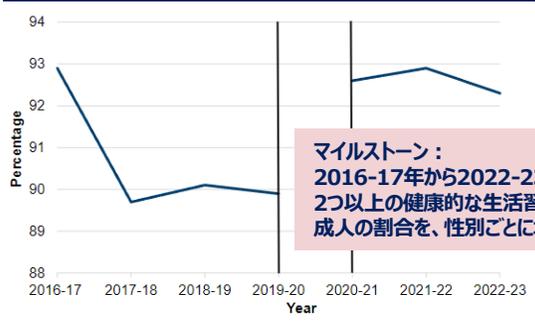


出生時の健康寿命



マイルストーン：
2050年までに、成人の健康寿命を延ばし、最も貧しい地域と最も裕福な地域間の健康寿命の格差を少なくとも15%縮小する。

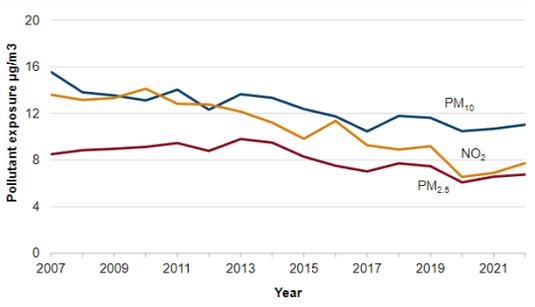
健康的な生活習慣を2つ以上持つ成人の割合



マイルストーン：
2016-17年から2022-23年の間に、2つ以上の健康的な生活習慣を持つ成人の割合を、性別ごとに増加させる。

環境

大気中の二酸化窒素 (NO2) 汚染レベル

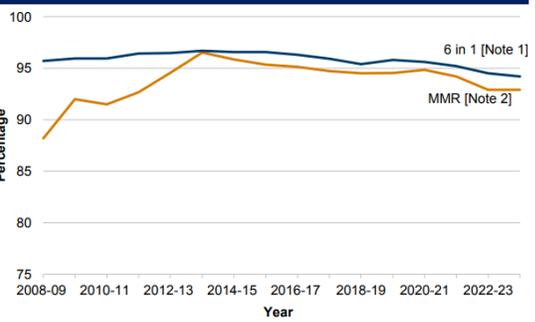


健康的な生活習慣を2つ以上持つ子どもの割合

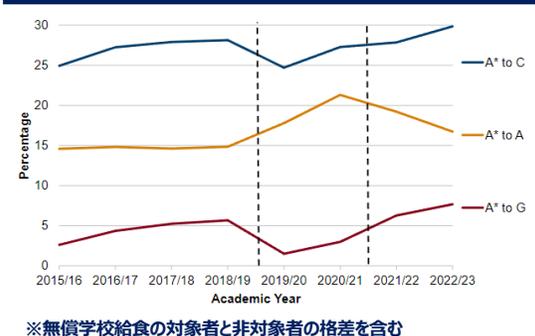


マイルストーン：
2つ以上の健康的な生活習慣を持つ子供の割合を、2035年までに94%、2050年までに99%以上に増加させる。

幼児の発達測定

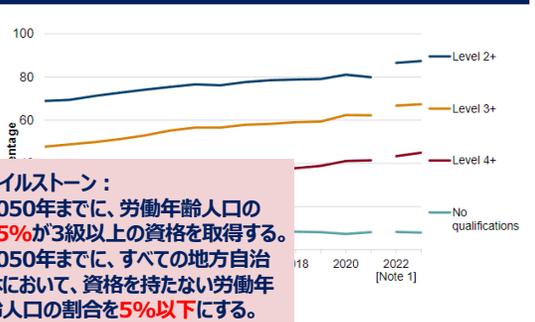


生徒の試験平均点



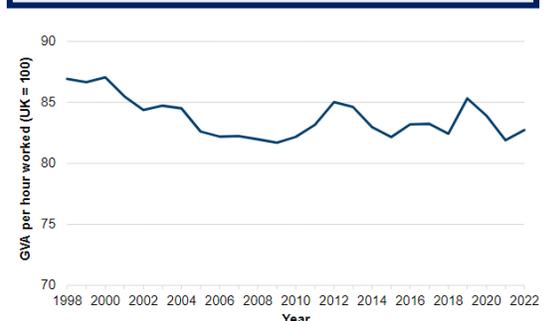
※無償学校給食の対象者と非対象者の格差を含む

国家資格 (レベル別) をもつ成人の割合

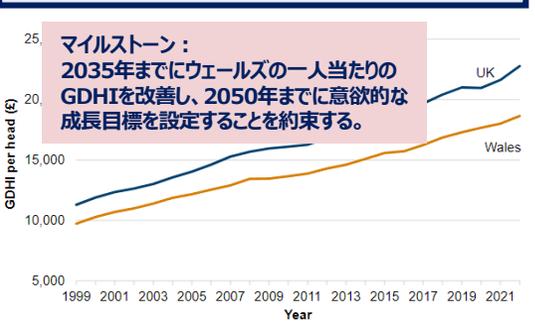


マイルストーン：
2050年までに、労働年齢人口の75%が3級以上の資格を取得する。2050年までに、すべての地方自治体において、資格を持たない労働年齢人口の割合を5%以下にする。

就業1時間当たりの粗付加価値額 (GVA)

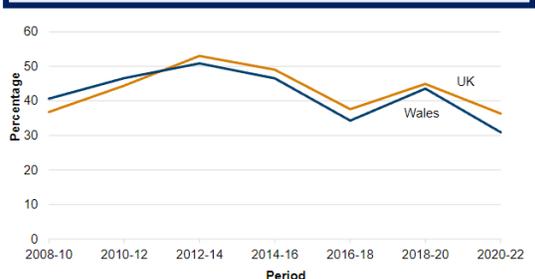


1人当たり世帯総可処分所得

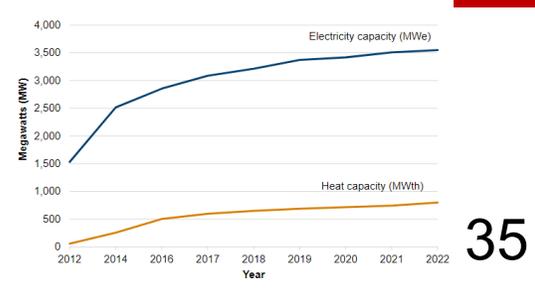


マイルストーン：
2035年までにウェールズの一人当たりのGDHIを改善し、2050年までに意欲的な成長目標を設定することを約束する。

イノベーションに積極的な企業の割合



メガワット級の再生可能エネルギーの発電容量



環境

ウェールズのウェルビーイング指標 (Well-being of Wales: 2024) ⑦

環境

土壌中の炭素と有機物の濃度

80.40

2021 to 2023 (gC per Kg):

環境

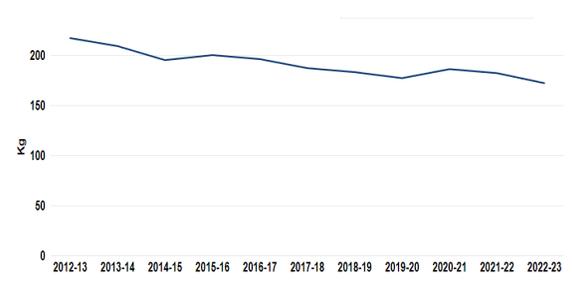
ウェールズのグローバル・フットプリント



マイルストーン：
2050年までに、ウェールズは世界の資源を公正な割合で利用する。

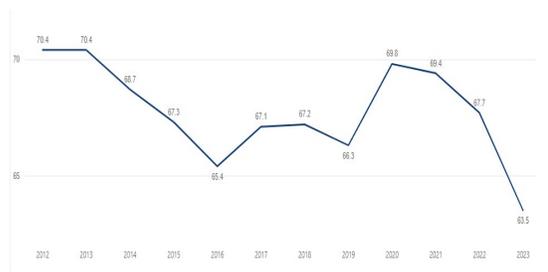
環境

リサイクルされなかった廃棄物の1人あたり発生量



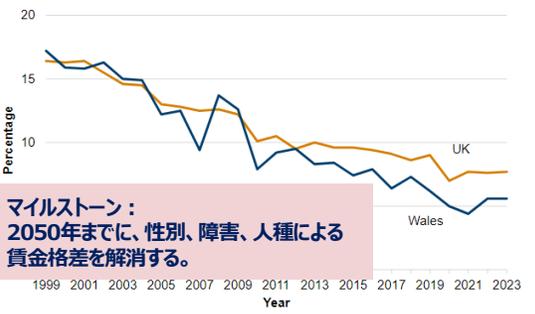
労働

常用雇用の割合



労働

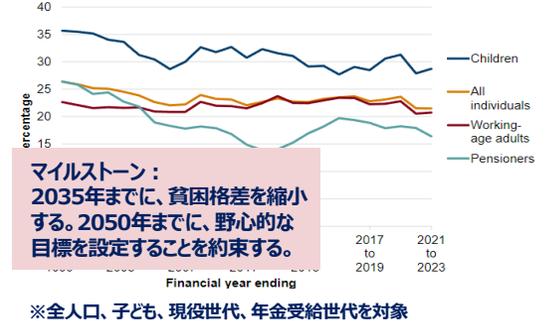
性別、障害、民族による賃金格差



マイルストーン：
2050年までに、性別、障害、人種による賃金格差を解消する。

労働

英国の中央値と比較した貧困世帯の割合

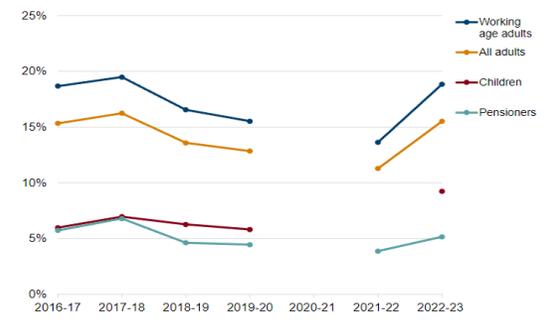


マイルストーン：
2035年までに、貧困格差を縮小する。2050年までに、野心的な目標を設定することを約束する。

※全人口、子ども、現役世代、年金受給世代を対象

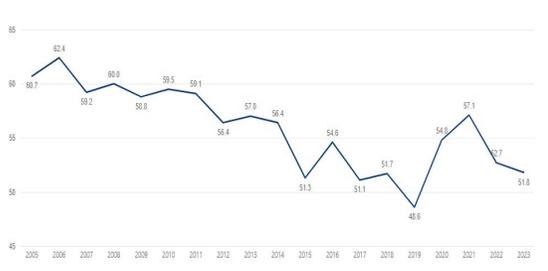
労働

物質的困窮状態にある世帯に住む人の割合



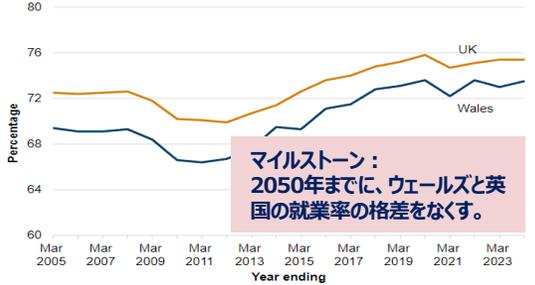
労働

賃金が団体交渉によって決定される従業員の割合



労働

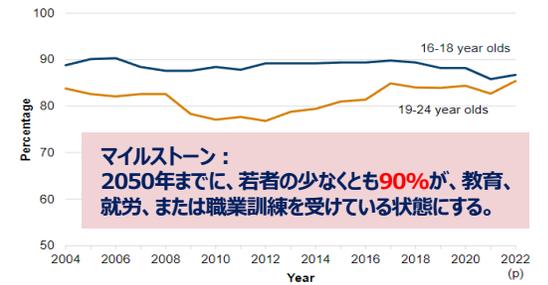
16~64歳の人口に占める労働力人口の割合



マイルストーン：
2050年までに、ウェールズと英国の就業率の格差をなくす。

労働

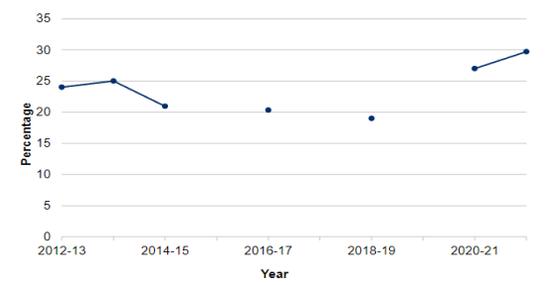
年齢層別の教育、雇用、訓練を受ける人の割合



マイルストーン：
2050年までに、若者の少なくとも90%が、教育、就労、または職業訓練を受けている状態にする。

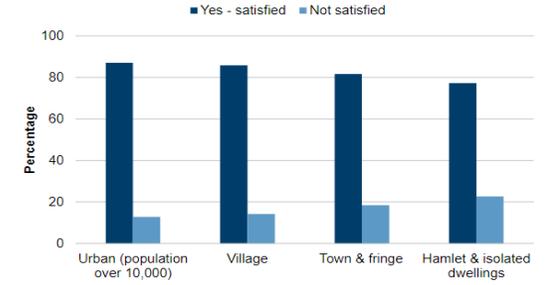
労働

地域に影響を与える意思決定に影響を与えることができると感じている人の割合



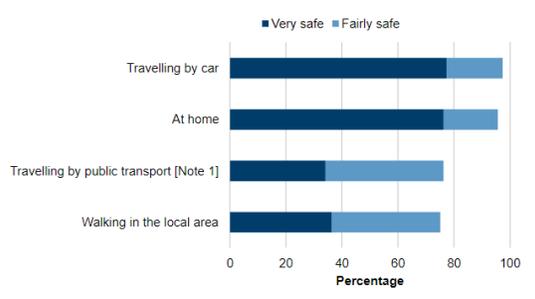
労働

必要な施設やサービスへのアクセスに満足している人の割合

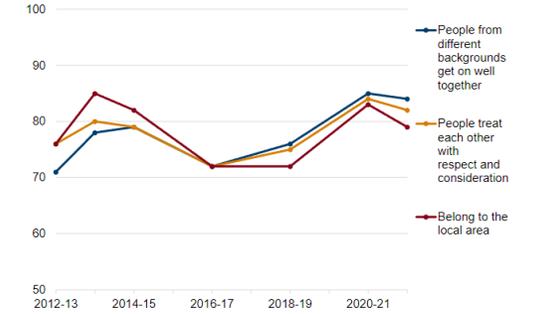


ウェールズのウェルビーイング指標 (Well-being of Wales: 2024) ⑧

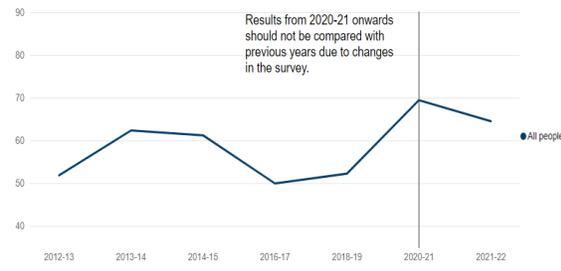
自宅、地域内、旅行先で安全を感じる人の割合



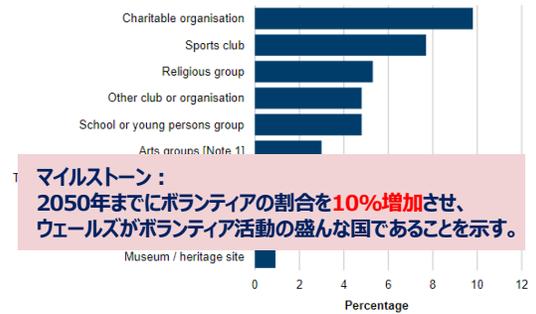
住む場所として地元地域に満足している人の割合



「自分はその地域に属している」、「異なる背景を持つ人々が仲良くやっている」、「人々は互いに敬意をもって接している」と回答した人の割合

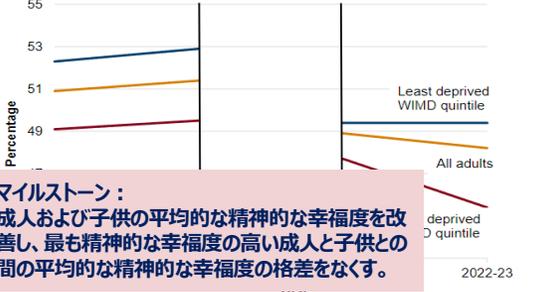


ボランティアをする人の割合



マイルストーン: 2050年までにボランティアの割合を10%増加させ、ウェールズがボランティア活動の盛んな国であることを示す。

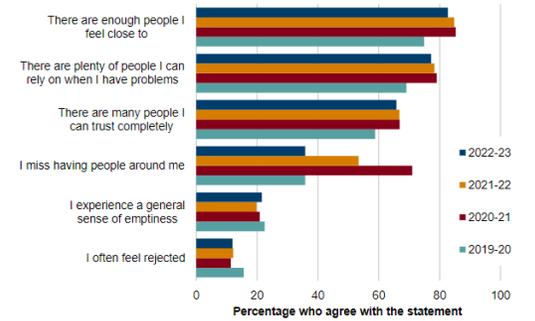
人々の精神的幸福度の平均スコア



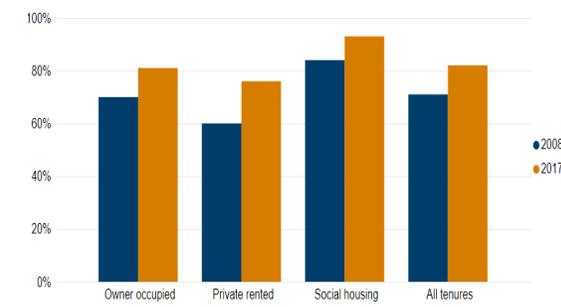
マイルストーン: 成人および子供の平均的な精神的幸福度を改善し、最も精神的幸福度の高い成人と子供との間の平均的な精神的幸福度の格差をなくす。

※ウォリック・エジンバラ・メンタル・ウェルビーイング・スケール (WEMWBS) に従って算出される

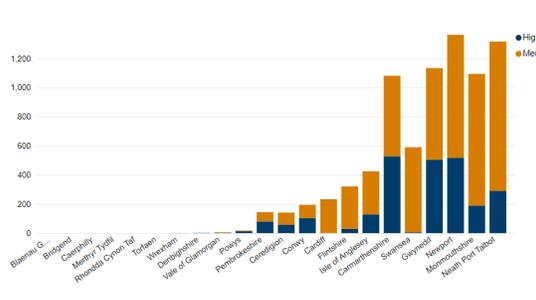
孤独な人の割合



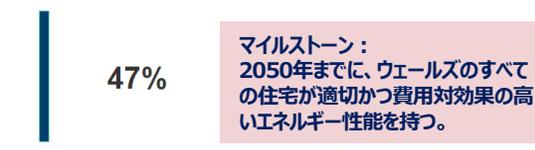
危険のない住居の割合



河川や海からの洪水のリスクが中程度または高い物件 (住宅および事業所) の数

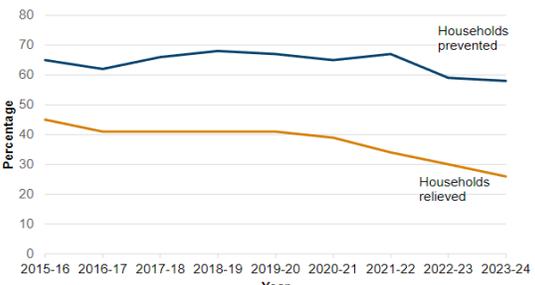


適切なエネルギー性能を有する住宅の割合

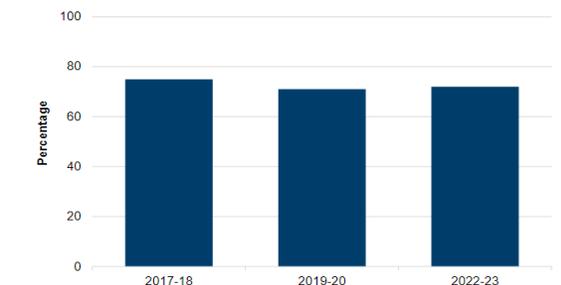


Percentage of dwellings with a SAP score of 65 or above in 2017-18:

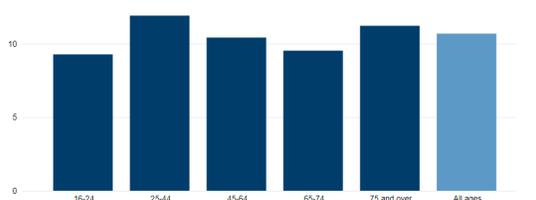
ホームレス化防止に成功した世帯数 (10,000世帯当たり)



芸術、文化、遺産に関する活動に年3回以上参加する人の割合

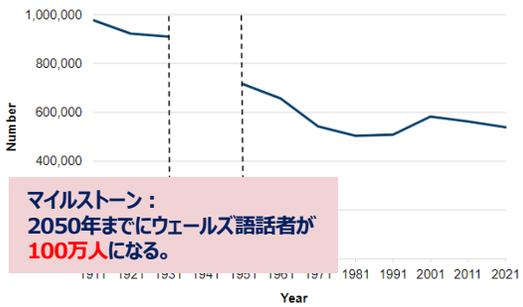


日常的にウェールズ語を話し、数単語以上のウェールズ語を話せる人の割合

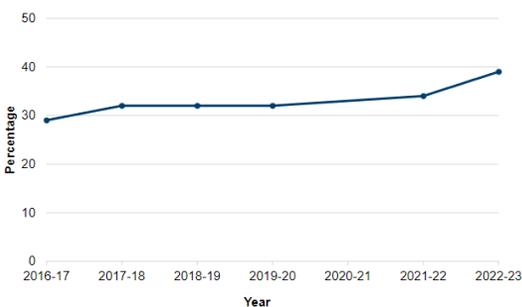


ウェールズのウェルビーイング指標 (Well-being of Wales: 2024) ⑨

ウェールズ語を話せる人の割合



週に3回以上スポーツ活動に参加する人の割合

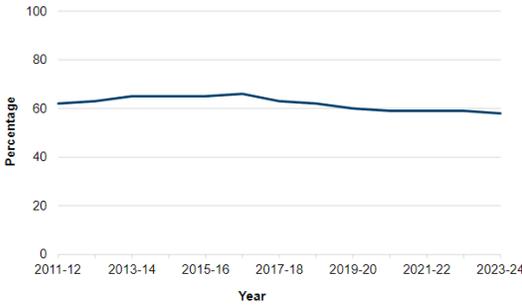


アーカイバル／ヘリテージコレクションを所蔵する博物館・公文書館のうち、英国の認定基準を満たすものの割合

98
accredited museums

14
accredited archive services

指定された歴史的環境資産のうち、安定または改善された状態にある資産の割合



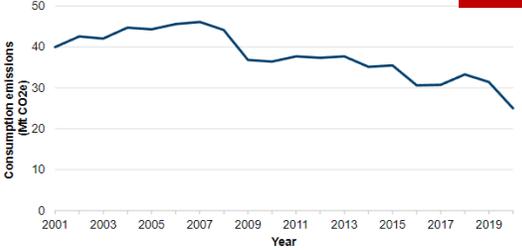
ウェールズ国内の温室効果ガス排出量

環境



ウェールズにおける世界的な財・サービスの消費に起因する温室効果ガスの排出量

環境



ウェールズにおける健全な生態系の面積

環境

640,827

Semi-natural habitats in Wales (hectares):

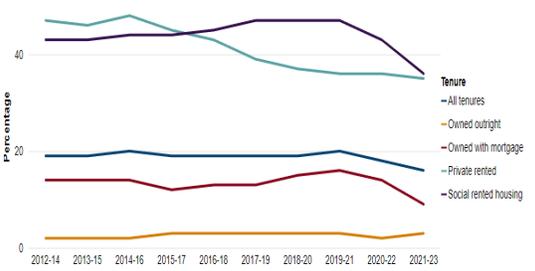
司法制度に信頼を寄せる人の割合

現在、指標の検討中であり、今後、追加される予定

デジタル・インクルージョンの状況

低デジタル生活水準の策定と並行して、現在策定中の指標

収入の30%以上を住居費に充てている世帯の割合



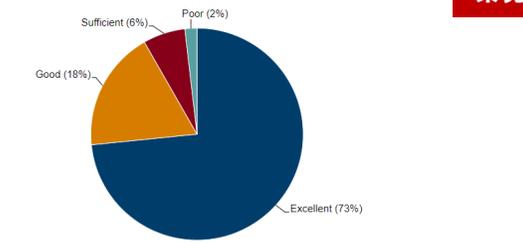
ウェールズにおける生物多様性の状況

環境

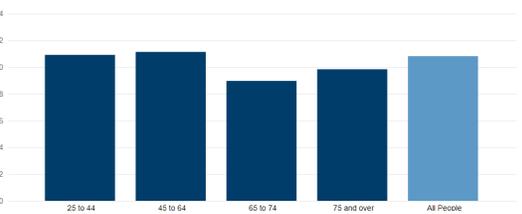


総合的に良好または高い状態を達成している地表水域および地下水域の割合

環境



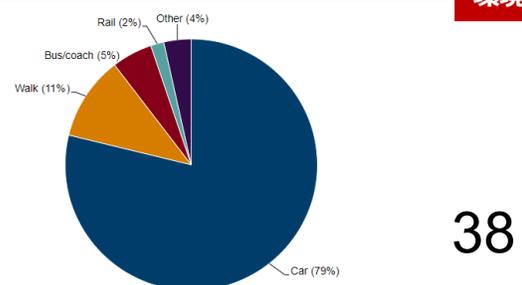
ウェールズにおける積極的なグローバル・シチズンシップ



※人権、難民、地球環境問題などのグローバルな問題に関連する寄付や募金、ボランティア、何らかの活動を支援活動への参加の有無

徒歩、自転車、公共交通機関を利用した移動の割合

環境



ウェールズのウェルビーイング指標 (Well-being of Wales: 2024) ⑩

no.	繁栄するウェールズ	強靱なウェールズ	より健康なウェールズ	より平等なウェールズ	結束するウェールズ	文化のウェールズ	世界的に責任あるウェールズ	指標名	調査主体または出典	計測方法
1			●	●				出生体重2,500g未満の単胎出生児の割合	National Community Child Health Database	分子: 体重が2.5kg未満の単胎出生 分母: 有効な出生体重が記録されているすべての単胎出生
2			●	●				出生時の健康寿命	国立統計局	新生児が最近観察された死亡率に基づいて期待される平均生存年数
3			●	●	●	●		健康的な生活習慣を2つ以上持つ成人の割合	ウェールズ国民調査	16歳以上の人々のうち、2つ以上の健康的な生活習慣を持つ人々の割合
4	●	●	●				●	大気中の二酸化窒素 (NO2) 汚染レベル	National Community Child Health Database	年間平均の二酸化窒素 (NO2) 汚染暴露レベル。住宅ごとに値が割り当てられ (平方キロメートル単位)、各国勢調査出力エリア (約150物件で構成される地理単位) の平均値をとる
5			●	●	●	●		健康的な生活習慣を2つ以上持つ子どもの割合	School Health Research Network	11~16歳の人々のうち、2つ以上の健康的な生活習慣を持つ人々の割合
6	●		●	●	●	●		幼児の発達測定	Foundation Phase baseline assessments	個人および社会の発達、幸福、文化的多様性に関する評価の分布。
7	●			●		●		生徒の試験平均点	ウェールズ試験データベース	11年生の生徒によるすべての科目のGCSEエントリーのうち、A*-A、A*-C、A*-Gの成績範囲を達成した割合
8	●		●	●				国家資格 (レベル別) をもつ成人の割合	年次人口調査	労働年齢層の成人がナショナル・クオリfikेशन・フレームワークの異なるレベルで資格を持っている割合
9	●							就業1時間当たりの粗付加価値額 (GVA)	労働力調査	分子: 労働力によって働かれた総労働時間 分母: 粗付加価値額 (GVA)
10	●		●	●				1人当たり世帯総可処分所得	地域別アカウント	家庭部門のすべての個人が、所得分配措置 (例えば、税金、社会保険料、給付金) が適用された後に、支出や貯蓄に利用できる金額
11	●	●						イノベーションに積極的な企業の割合	ビジネス、イノベーションおよびスキル省	「イノベーションに積極的である」と回答した企業の割合 (Eurostatの定義による)
12	●	●			●		●	メガワット級の再生可能エネルギーの発電容量	公的統計としては公表されていない	再生可能エネルギー設備の設置容量 (MW)
13	●	●					●	土壌中の炭素と有機物の濃度	グラスティア監視評価プログラム (公式統計としては公表されていない)	表土 (0~15cm) の土壌炭素と有機物含有量を1キログラムあたりの炭素グラム (gC/Kg)
14	●	●					●	ウェールズのグローバル・フットプリント	公的統計としては公表されていない	原材料、エネルギー、食料を提供し、汚染と廃棄物を吸収するために必要な土地の面積
15	●	●			●		●	リサイクルされなかった廃棄物の1人あたり発生量	Waste Data Flow System; Industrial & Commercial Waste Survey; Construction & Demolition Waste Survey	ウェールズにおける全てのセクターのリサイクルや再利用、堆肥化されていない残留廃棄物 (kg) の総量を1人あたりで示したものの。家庭廃棄物、建設・解体 (C&D) 廃棄物、産業・商業 (I&C) 廃棄物の3つの要素から算出
16	●		●	●				常用雇用の割合	年次人口調査	就労している人々のうち、正社員契約 (または臨時契約であり、正社員雇用を求めている) で、かつ、実質生活賃金以上を得ている雇員の割合

ウェールズのウェルビーイング指標 (Well-being of Wales: 2024) ⑪

no.	繁栄するウェールズ	強靱なウェールズ	より健康なウェールズ	より平等なウェールズ	結束するウェールズ	文化のウェールズ	世界的に責任あるウェールズ	指標名	調査主体または出典	計測方法
17	●			●				性別、障害、民族による賃金格差	Annual Survey of Hours and Earnings, Annual Population Survey	男性と女性の間の残業を除いたフルタイムの平均時給（中央値）の差（男性の平均賃金から女性の平均賃金を引いて計算）。
18	●	●	●	●	●	●		英国の中央値と比較した貧困世帯の割合	Family Resources Survey	家賃や住宅ローンの利子支払い、水道料金などの住宅費を支払った後の世帯収入が英国の平均（中央値）世帯収入の 60% を下回る世帯に住んでいるウェールズの住民の割合。
19	●	●	●	●	●	●		物質的困窮状態にある世帯に住む人の割合	National Survey for Wales	特定の時点で社会で一般的な特定の商品や活動を購入する余裕のない世帯の 16歳以上の人々の割合。
20	●		●	●				賃金が団体交渉によって決定される従業員の割合	Annual Survey for Hours and Earnings	表示年の4月の労働協約に基づいて給与が設定される16歳以上の従業員の雇用の割合。
21	●		●	●				16～64歳の人口に占める労働力人口の割合	Annual Population Survey,	ウェールズの就業人口（16～64 歳）の割合。
22	●		●	●	●			年齢層別の教育、雇用、訓練を受ける人の割合	Pupil Level Annual Schools' Census Student Record (HESA) Annual Population Survey Population projections (ONS)	年齢層別の教育、雇用、訓練を受ける人の割合
23	●	●	●	●	●	●		地元に影響を与える意思決定に影響を与えることができている人の割合	National Survey for Wales	16歳以上の人の割合。結果は、「自分の地域に影響を与える決定に影響を与えることができる」という意見に強く同意する、または同意する傾向がある人の数
24			●	●	●			必要な施設やサービスへのアクセスに満足している人の割合	National Survey for Wales	自宅から徒歩15～20分以内で必要な施設やサービスにアクセスできることに非常に満足またはかなり満足していると回答した 16 歳以上の人の割合。
25			●	●	●			自宅、地域内、旅行先で安全を感じる人の割合	National Survey for Wales	夜間に家にいるとき、夜間に地元を一人で歩いているとき、夜間に公共交通機関で移動しているとき、夜間に車で移動しているときなど、すべての状況において非常に安全またはかなり安全だと感じると回答した16歳以上の人の割合。
26		●	●	●	●	●		住む場所として地元地域に満足している人の割合	National Survey for Wales	居住地としての地元地域に非常に満足またはかなり満足していると回答した16歳以上の人々の割合。
27		●	●	●	●	●	●	「自分はその地域に属している」、「異なる背景を持つ人々が仲良くやっている」、「人々は互いに敬意をもって接している」と回答した人の割合	National Survey for Wales	地元地域に関する3つの記述に同意する16歳以上の人の割合。
28	●	●	●	●	●	●		ボランティアをする人の割合	National Survey for Wales	ボランティア活動を行っている16歳以上の人の割合。
29			●	●				人々の精神的幸福度の平均スコア	Adults: National Survey for Wales; Children: Student Health and Wellbeing Survey	16歳以上の人の場合、ワーウィック エディンバラ メンタル ウェルビーイング スケール (WEMWBS) による平均メンタル ウェルビーイング スコアで測定 7～11年生の児童の場合、平均メンタル ウェルビーイング スコアはショート ワーウィック エディンバラ メンタル ウェルビーイング スケール (SWEMWBS) に従って測定
30		●	●	●	●			孤独な人の割合	National Survey for Wales	デ・ヨング・ギアフェルド孤独度尺度に基づいて孤独と分類される16歳以上の人の割合。
31		●	●	●	●			危険のない住居の割合	Welsh Housing Conditions Survey 2017-18, Living in Wales Survey 2008	住宅健康安全評価システム (HHSRS) のカテゴリ 1の危険がない住宅の割合。
32		●	●	●	●			河川や海からの洪水のリスクが中程度または高い物件（住宅および事業所）の数	National Flood Risk Assessment data	洪水リスク評価 (FRAW) モデルと最新の National Receptor Dataset 2023 (NRD 2023) により、ウェールズの河川、海、地表水、小水路からの洪水リスクがある不動産（住宅および非住宅）の数を決定

ウェールズのウェルビーイング指標 (Well-being of Wales: 2024) ⑫

no.	繁栄するウェールズ	強靱なウェールズ	より健康なウェールズ	より平等なウェールズ	結束するウェールズ	文化のウェールズ	世界的に責任あるウェールズ	指標名	調査主体または出典	計測方法
33	●	●	●				●	適切なエネルギー性能を有する住宅の割合	Welsh Housing Conditions Survey 2017-18	標準評価手順 (SAP) スコアが 65 以上の住宅の割合。
34	●		●	●	●			ホームレス化防止に成功した世帯数 (10,000世帯当たり)	Homelessness data collection	ホームレスになる恐れがあった世帯 (56 日以内) のうち、少なくとも 6 か月間ホームレスになることを回避できた世帯数 - 10,000 世帯あたりの割合。
35			●	●	●	●		芸術、文化、遺産に関する活動に年3回以上参加する人の割合	National Survey for Wales	過去 12 か月間に芸術、文化、遺産活動に 3 回以上出席または参加したと答えた人の割合。
36					●	●	●	日常的にウェールズ語を話し、数単語以上のウェールズ語を話せる人の割合	Welsh Language Use Survey, National Survey for Wales, Census of population 2011	ウェールズ語使用調査の質問に対する回答で、ウェールズ語を「ほんの数語」以上でも話し、日常的にウェールズ語を話すとして回答した3歳以上の人の割合。
37					●	●	●	ウェールズ語を話せる人の割合	Census of population 2011 and 2021	ウェールズ語を話すことができる 3 歳以上の人の数
38		●	●	●	●	●		週に3回以上スポーツ活動に参加する人の割合	Adults: National Survey for Wales; Children: Sport Wales School Sport Survey	屋外または屋内のスポーツ活動に参加していると報告した人口の割合と、その参加頻度。
39						●	●	アーカイバル／ヘリテージコレクションを所蔵する博物館・公文書館のうち、英国の認定基準を満たすものの割合	この指標の出典は公式統計として公開されていない	英国博物館認定または英国アーカイブサービス認定制度の基準を満たしていると評価されたアーカイブ/遺産コレクションを保有する博物館およびアーカイブの割合。
40		●				●	●	指定された歴史的環境資産のうち、安定または改善された状態にある資産の割合	この指標の出典は公式統計として公開されていない	ウェールズの指定建造物と指定建造物のうち、安定または改善している状態にあるものの割合。
41	●	●	●				●	温室効果ガス排出量	National Atmospheric Emissions Inventory	ウェールズ国内のすべてのセクターから直接大気中に放出される排出量
42	●	●	●				●	財・サービスの消費に起因する温室効果ガスの排出量	University of Leeds - Sustainability research institute	カーボンフットプリント。リーズ大学が作成した多地域間産業連関モデルの推定値。
43	●	●	●		●	●	●	健全な生態系の面積	Briefing Note, NRW	自然生息地 (在来の動植物の植生が変化せずに残っている地域) および半自然生息地 (在来の動植物の植生に変化はあるものの、在来動植物が維持されている地域) の面積。最新の衛星データとフィールド調査の組み合わせで把握し、マッピングしている。
44	●	●			●	●	●	生物多様性の状況	この指標の出典は公式統計として公開されていない	優先種 (セクション 7) の分布の経時的変化をもとに単一の指標を作成

ウェールズのウェルビーイング指標 (Well-being of Wales: 2024) ⑬

no.	繁栄する ウェールズ	強靱な ウェールズ	より健康な ウェールズ	より平等な ウェールズ	結束する ウェールズ	文化の ウェールズ	世界的に責 任ある ウェールズ	指標名	調査主体または出典	計測方法
45		●	●		●	●	●	良好な水質を達成している地表水域および地下水域の割合	Natural Resources Wales	水質: 水枠組み指令に基づき、良好または高い総合的ステータスを達成している表層水体と地下水体の割合。 表層水: 「良好な表層水ステータス」とは、表層水体の「生態学的ステータス」と「化学的ステータス」の両方が少なくとも良好な場合に達成されるステータス。 地下水: 「良好な地下水ステータス」とは、地下水体の量的ステータスと化学的ステータスの両方が良好な場合に達成されるステータス。
46	●	●	●	●	●	●	●	ウェールズにおける積極的なグローバル・シチズンシップ	National Survey for Wales	世界の問題を支援するために次の行動を 3 つ以上行った人の割合: 寄付または募金 (過去 3 か月以内) キャンペーン (過去 12 か月以内) ボランティア (過去 12 か月以内) 購入するものを変更 (いつでも)
47				●	●			司法制度に信頼を寄せる人の割合	—	指標作成中
48	●	●	●	●				徒歩、自転車、公共交通機関を利用した移動の割合	Department for Transport	徒歩、自転車、公共交通機関による移動の割合
49	●			●	●	●		収入の30%以上を住居費に充てている世帯の割合	Family Resources Survey	収入の 30% 以上を住宅費に費やしている世帯の割合。
50	●			●	●			デジタル・インクルージョンの状況	—	指標作成中

5. ニュージーランドの事例

ニュージーランドのウェルビーイング予算 (Wellbeing Budget) ①

導入の背景

- ニュージーランドは、2019年度予算を「ウェルビーイング予算」と名付けて発表。
- これは、ウェルビーイングを「国家の成功」の一つと捉え、**政策立案の中心にウェルビーイングを位置付けたもの**。
- ニュージーランドがこれまでの高い経済成長率にもかかわらず、高い自殺率、ホームレス、DV、子供の貧困等といった課題に直面してきたことを背景としている。

制度の特徴①

ウェルビーイングを継続的に国家予算編成の尺度として法的に規定

ウェルビーイングを国家予算編成の尺度に継続的に盛り込むため、財政法（Public Finance Act(1989)）を改定し、以下を規定。

- ①各年度予算において、財政目標とともにウェルビーイング目標を定め、それに即して予算と財政政策を運営すること
- ②財務省は少なくとも4年ごとにニュージーランドのウェルビーイングの状況を報告すること（「ウェルビーイング報告書」）

ウェルビーイング予算のベースに「Life Standards Framework」を置く

- ウェルビーイング予算のベースには「Life Standards Framework」（LSF）がある
- LSFは、政策がウェルビーイングに与える影響を理解しながら、**体系的でエビデンスに基づく手法で政策検討**するための指標群
- ウェルビーイングの進捗を把握する指標としてだけでなく、実際に**現状分析→政策立案→予算編成→政策評価**のサイクルに組み込まれている。
- 最新の2021年版では、「個人及び集団のウェルビーイング」「組織とガバナンス」「ニュージーランドの富」の3レベルで合計22分類、103指標を提示している。

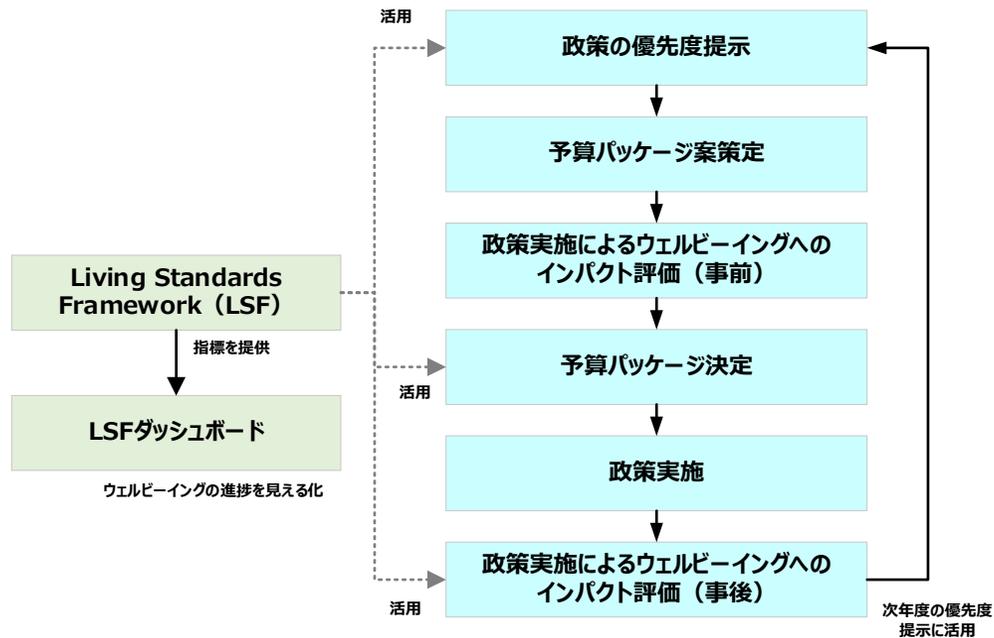
ニュージーランドのウェルビーイング予算 (Wellbeing Budget) ②

制度の特徴②

「LSFダッシュボード」でウェルビーイングの進捗を見える化

- 「LSFダッシュボード」は、「Life Standards Framework」(LSF) の指標群で構成され、ウェルビーイングの進捗を見える化するツール
- ここに掲載された指標は、4年ごとに求められる「ウェルビーイング報告書」の基礎ともなる

ウェルビーイング予算、LSF、LSFダッシュボードの関係 (イメージ)



LSFダッシュボードのイメージ

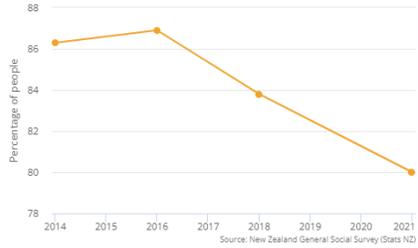


※「ウェルビーイング予算」を導入したアードーン首相の2023年の退任以降、ヒプキンス首相時の2023年度についてはウェルビーイング予算が継承されたが、ラクソン首相に変わった2024年度予算については、「ウェルビーイング予算」を謳っていない。「ウェルビーイング目標即した予算と財政政策運営」についても形骸化されている可能性がある。

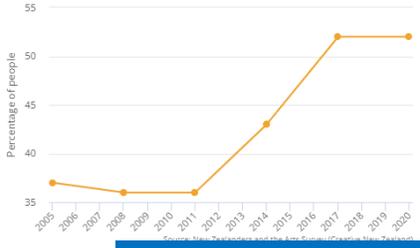
ニュージーランドのウェルビーイング指標 (LSF dashboard) ③

Cultural capability and belonging : 文化的能力と帰属意識

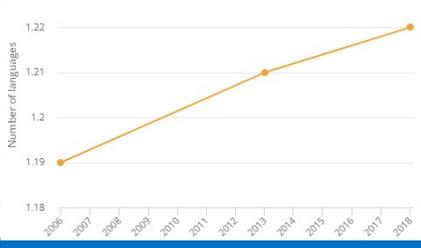
Ability to express identity アイデンティティを表現する能力



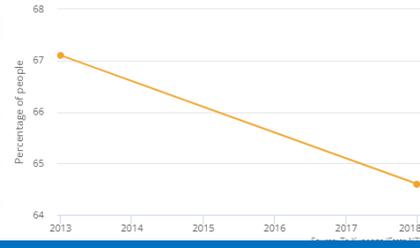
Arts participation 芸術への参加



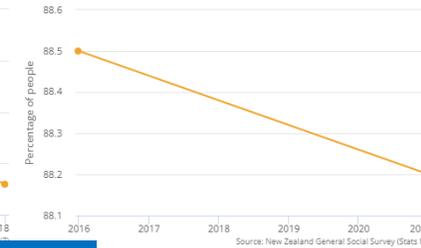
Multilingualism 多言語



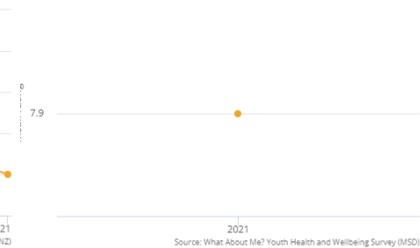
Māori connection to marae マラエとマオリのつながり



Sense of belonging – adults 帰属意識 – 大人

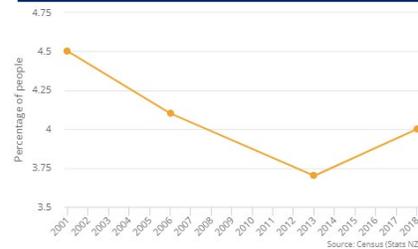


Sense of belonging – youth 帰属意識 – 若者



Engagement and voice : 関与と発言力

Te Reo Māori speakers マオリ語を話す人々



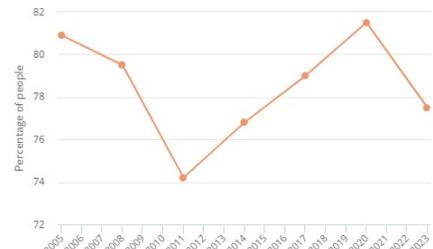
Having a say in government 政府への発言権



Perception of public influence 国民の影響力の認識



Voter turnout in general elections 総選挙の投票率



Voter turnout in local elections 地方選挙の投票率

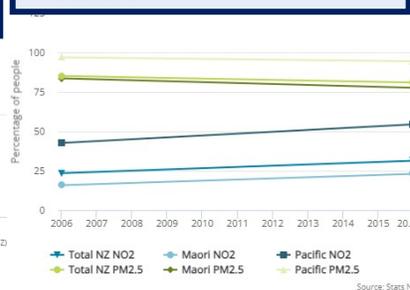


Environmental amenity : 環境アメニティ

Access to the natural environment 自然環境へのアクセス



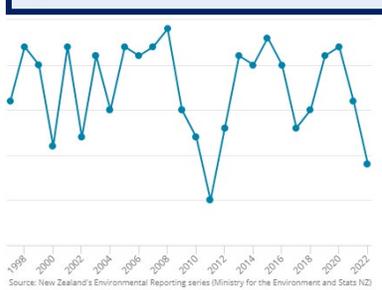
Air quality 空気の質



Drinking water management 飲料水の管理



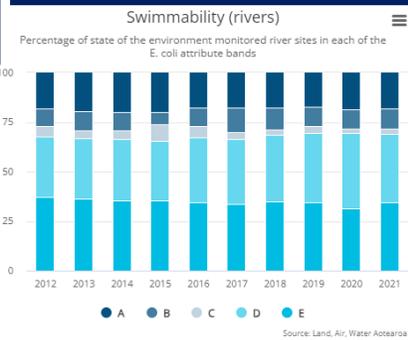
Droughts 干ばつ



Perceived environmental quality 環境の質の認識



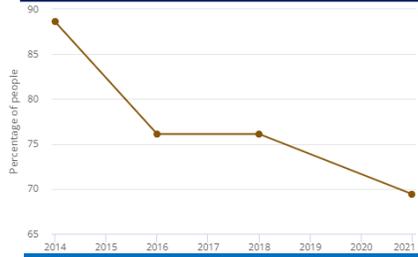
Swimmability (rivers) 泳ぎやすさ (川)



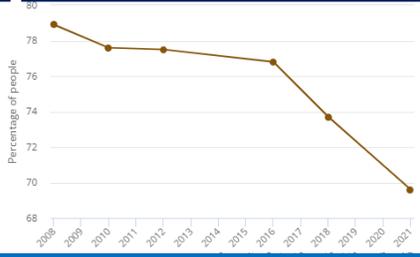
ニュージーランドのウェルビーイング指標 (LSF dashboard) ④

Family and friends : 家族と友人

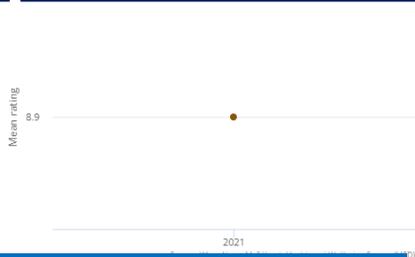
A place to stay 滞在場所



Face-to-face contact 対面での交流



Feeling loved 愛されていると感じること



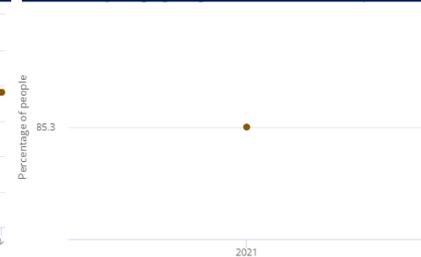
Loneliness 孤独感



Social network support ソーシャルネットワークのサポート

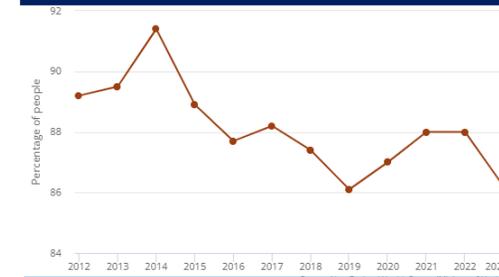


Someone to turn to 頼れる人

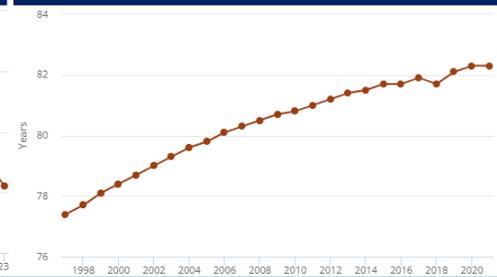


Health : 健康

Health status 健康状態



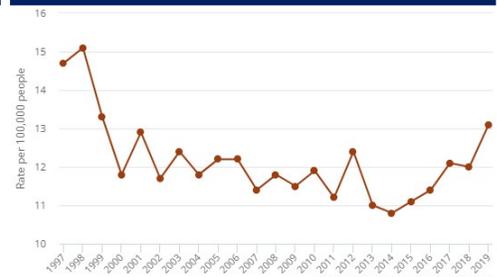
Life expectancy at birth 出生時の平均余命



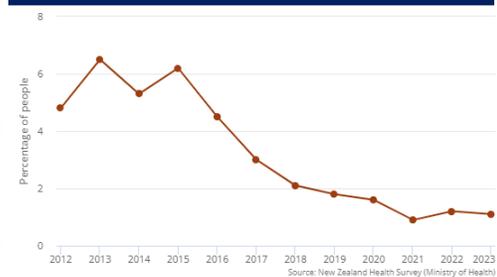
Mental health 精神衛生



Suicide rate 自殺率

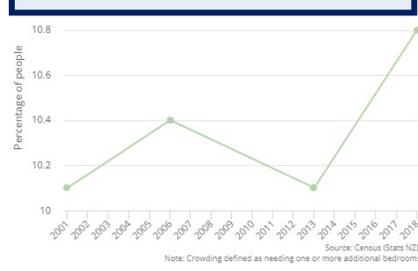


Unmet health needs 満たされていない健康ニーズ

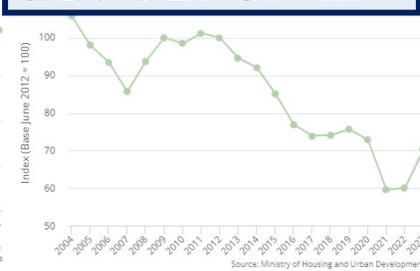


Housing : 住宅

Household crowding 世帯の過密状態



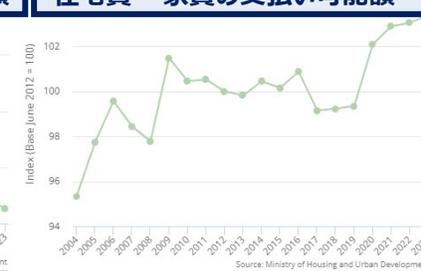
Housing cost - deposit affordability 住宅費 - 頭金の支払い可能額



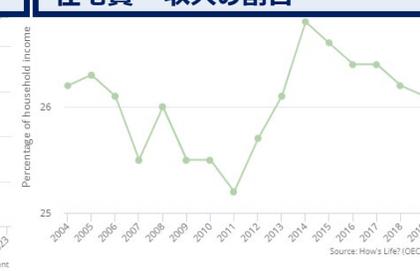
Housing cost - mortgage affordability 住宅費 - 住宅ローンの支払い可能額



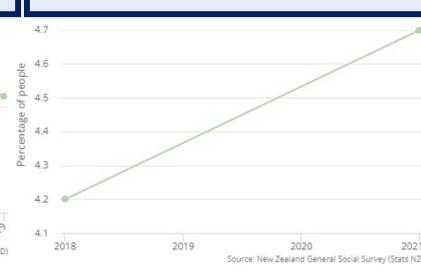
Housing cost - rent affordability 住宅費 - 家賃の支払い可能額



Housing cost - share of income 住宅費 - 収入の割合



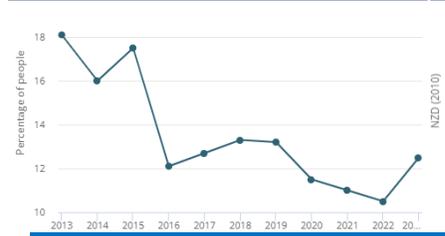
Housing quality 住宅の質



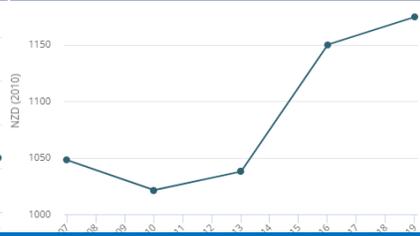
ニュージーランドのウェルビーイング指標 (LSF dashboard) ⑤

Income, consumption and wealth : 収入、消費、富

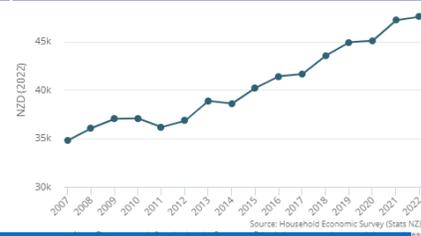
Child poverty - material hardship
子どもの貧困 - 物質的困窮



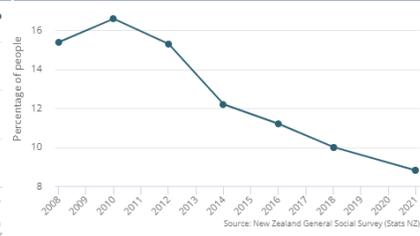
Consumption
消費



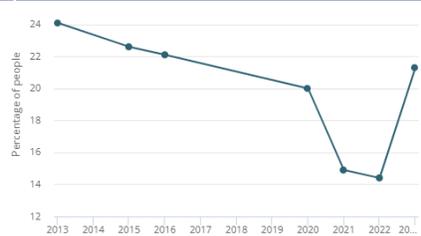
Disposable income
可処分所得



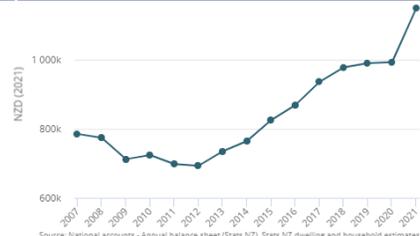
Financial wellbeing
経済的幸福



Food insecurity
食糧不安

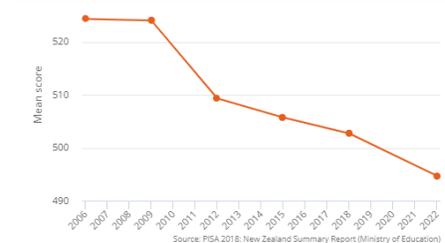


Household net worth
世帯純資産



Knowledge and skills : 知識とスキル

Cognitive skills at age 15
15歳時の認知能力



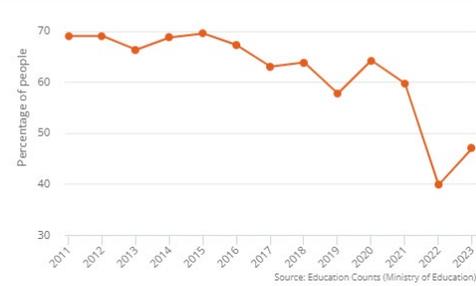
Educational attainment of the adult population (tertiary)
成人人口の教育達成度 (高等教育)



Educational attainment of the adult population (upper secondary)
成人人口の教育達成度 (後期中等教育)

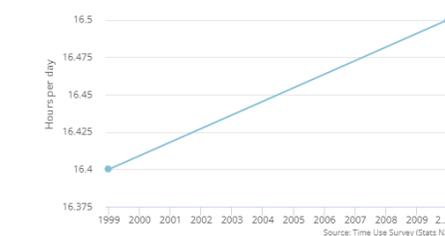


Regular school attendance
定期的な学校出席



Leisure and play : 余暇と遊び

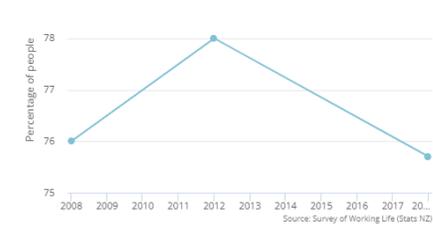
Leisure and personal care
余暇とパーソナルケア



Participation in sport and recreation
スポーツとレクリエーションへの参加



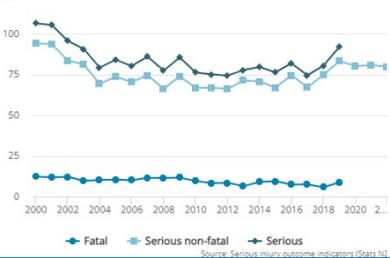
Satisfaction with work-life balance
ワークライフバランスの満足度



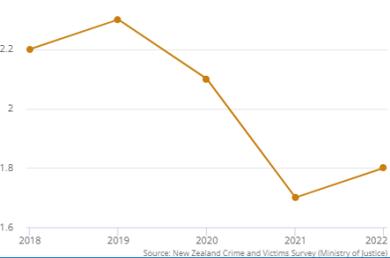
ニュージーランドのウェルビーイング指標 (LSF dashboard) ⑥

Safety : 安全性

Childhood injuries 子供の傷害



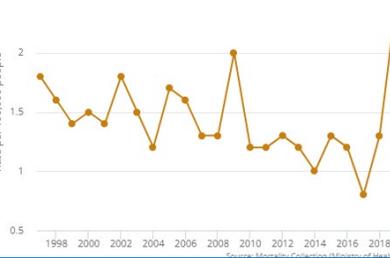
Family violence 家庭内暴力



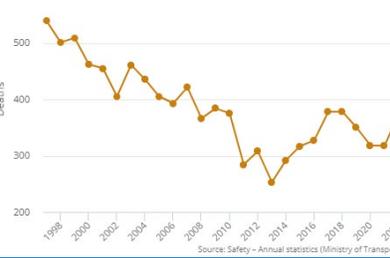
Feeling safe 安全を感じることに



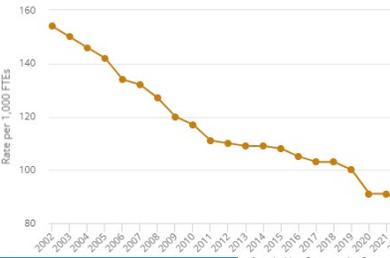
Intentional homicide rate 故意殺人率



Road toll 交通事故死者数



Workplace accident rate 職場事故率

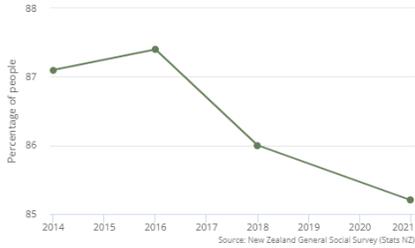


Subjective wellbeing : 主観的幸福感

General life satisfaction 一般的な生活満足度

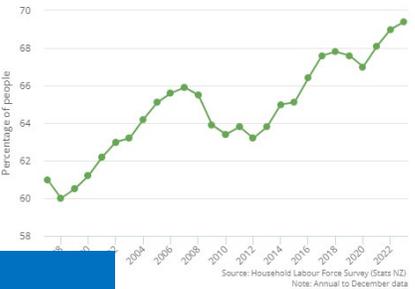


Sense of purpose in one's life 人生における目的意識

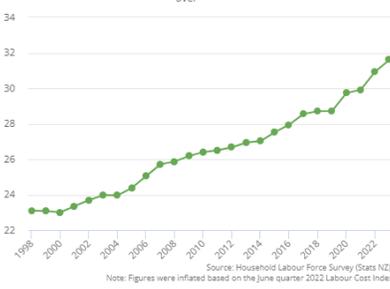


Work, care and volunteering : 仕事、介護、ボランティア活動

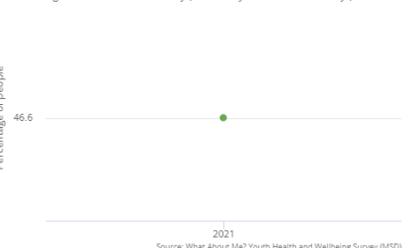
Employment rate 就業率



Hourly earnings 時給

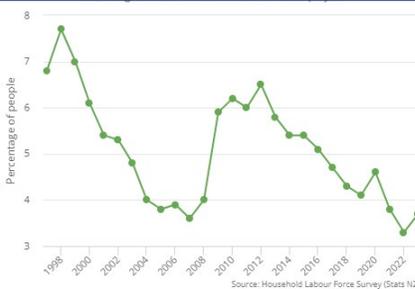


Involvement in the community コミュニティへの関与

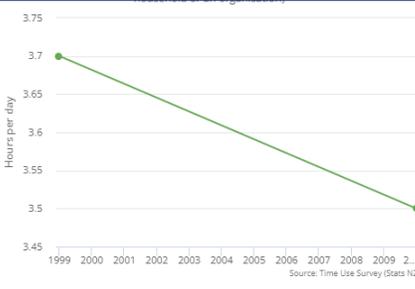


Work, care and volunteering : 仕事、介護、ボランティア活動

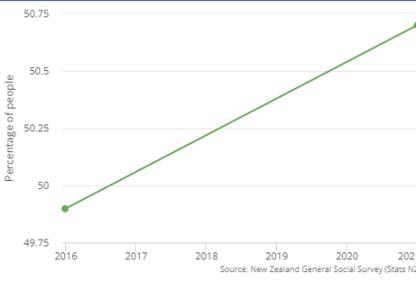
Unemployment rate 失業率



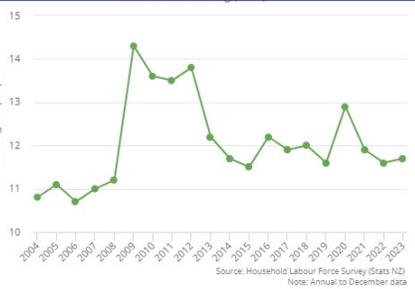
Unpaid work 無給労働



Volunteering ボランティア活動



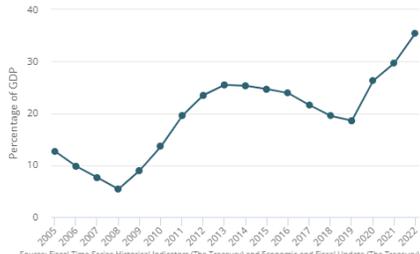
Youth NEET rate 若者のニート率



ニュージーランドのウェルビーイング指標 (LSF dashboard) ⑦

Central and local government : 中央政府と地方政府

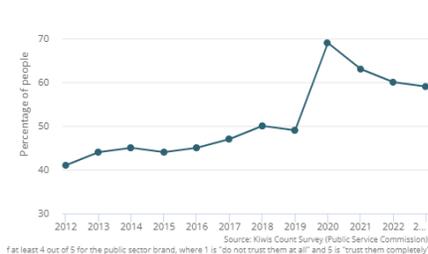
Net core Crown debt 純コア国債



Perceived corruption 認識される汚職

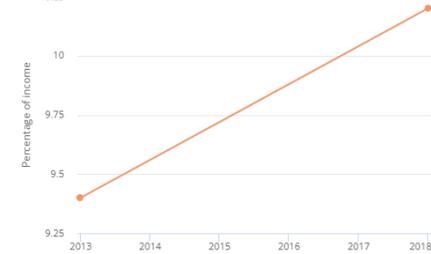


Trust in government institutions 政府機関への信頼

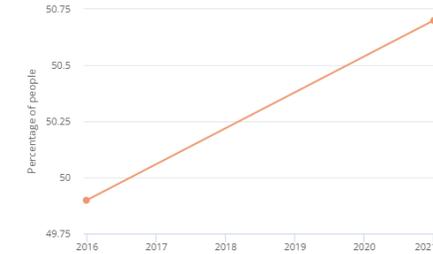


Civil society : 市民社会

Non-profit operating surplus 非営利組織の運営余剰

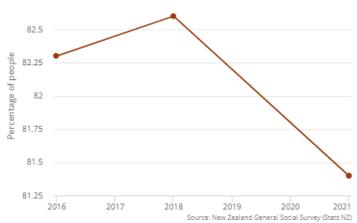


Volunteering ボランティア活動



Families and households : 家族と世帯

Family wellbeing 家族の幸福

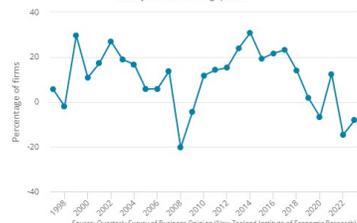


Household indebtedness 家計負債

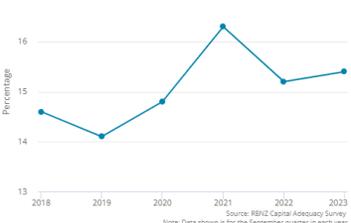


Firms and markets : 企業と市場

Activity outlook 活動見通し



Banking system capital 銀行システム資本



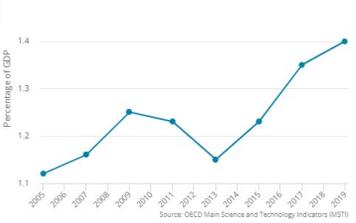
Business turnover rate 事業回転率



Multifactor productivity growth 多要素生産性成長

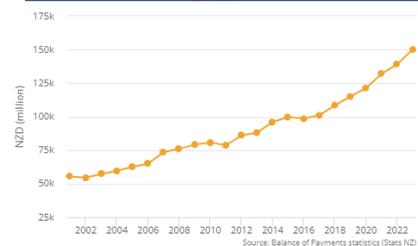


R&D expenditure 研究開発費

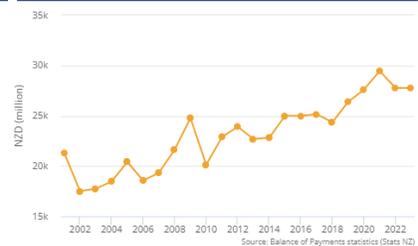


International connections : 国際的なつながり

Inward foreign direct investment 対内直接投資



Outward foreign direct investment 対外直接投資



Terms of trade 貿易条件



Total trade to GDP ratio 総貿易対GDP比率



Whānau, hapū and iwi : ファナウ、ハプ、イウイ

Māori connection to marae マオリ族とマラエのつながり



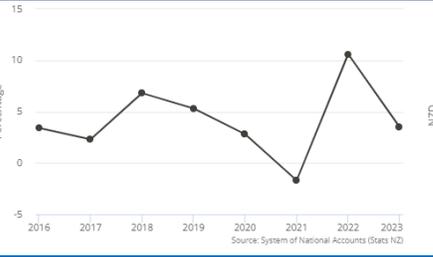
Whānau wellbeing ファナウの幸福



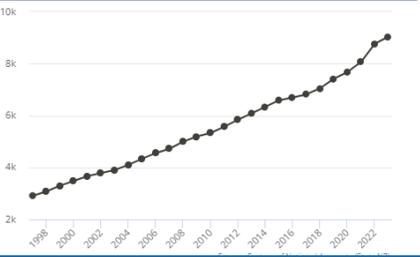
ニュージーランドのウェルビーイング指標 (LSF dashboard) ⑧

Financial and physical capital : 金融資本と物的資本

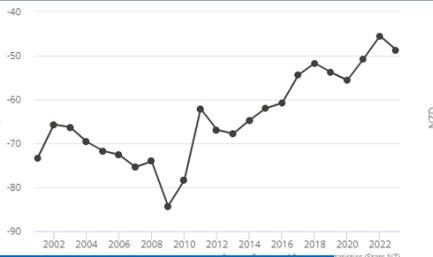
Gross fixed capital formation
総固定資本形成



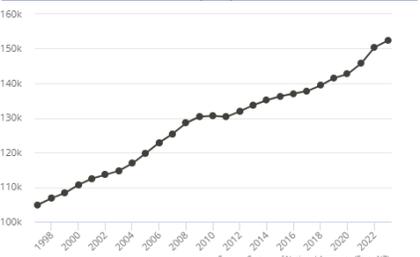
Net intangible fixed assets
純無形固定資産



Net international investment position
純国際投資ポジション

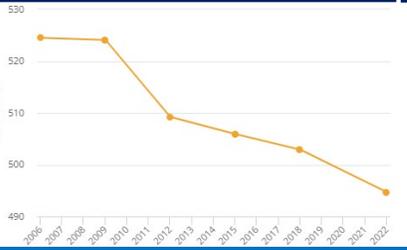


Total net fixed assets
総純固定資産

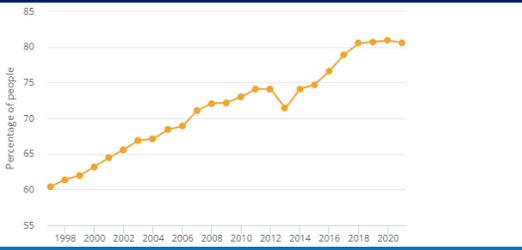


Human capability : 人間の能力

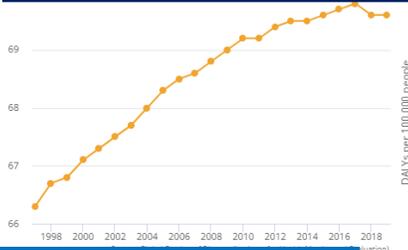
Cognitive skills at age 15
15歳時の認知能力



Educational attainment of the adult population (upper secondary)
成人人口の教育達成度 (高等中等教育)



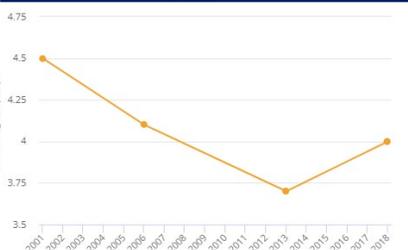
Healthy life expectancy
健康寿命



Non-communicable diseases
非感染性疾患



Te Reo Māori speakers
マオリ話者



Natural environment : 自然環境

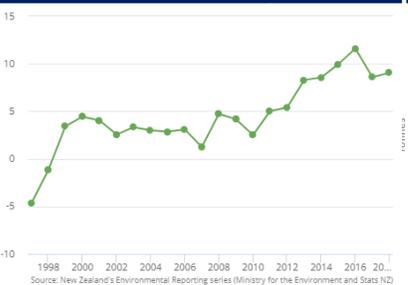
Average temperature
平均気温



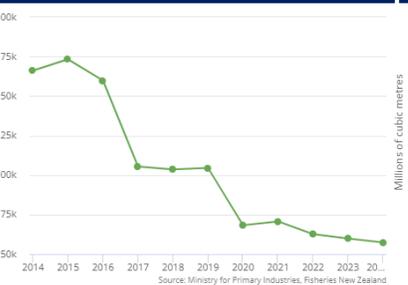
Biodiversity and genetic resources
生物多様性と遺伝資源



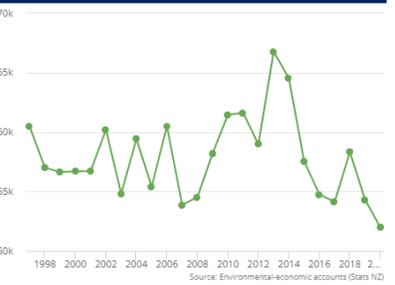
Coastal sea-level rise
沿岸海面上昇



Fish stocks
魚類資源



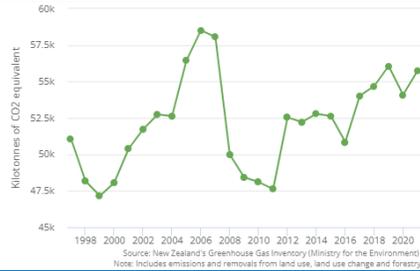
Groundwater stocks
地下水資源量



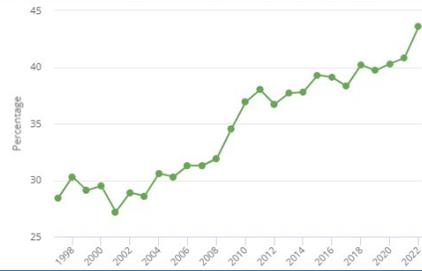
ニュージーランドのウェルビーイング指標 (LSF dashboard) ⑨

Natural environment : 自然環境

Net greenhouse gas emissions 温室効果ガス純排出量



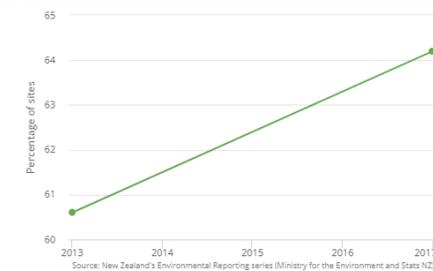
Renewable energy 再生可能エネルギー



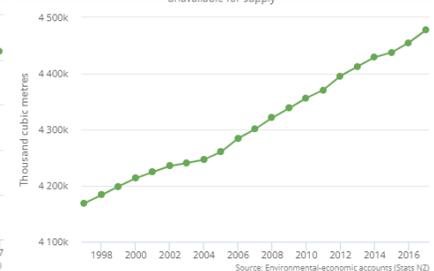
River health 河川の健全性



Soil quality 土壌の質



Timber stocks 木材資源量

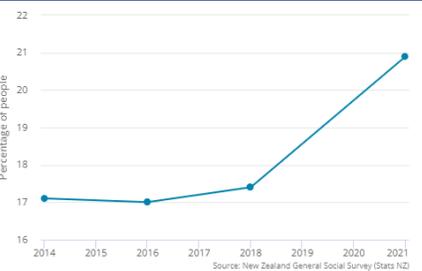


Social cohesion : 社会的結束

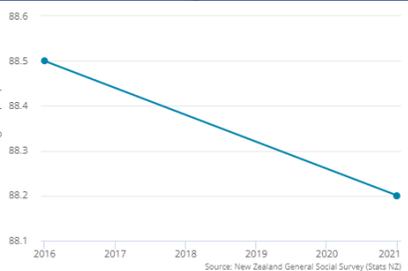
Ability to express identity アイデンティティを表現する能力



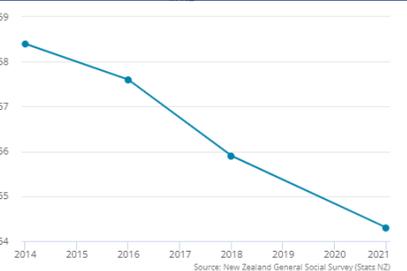
Discrimination 差別



Sense of belonging - adults 成人の帰属意識



Trust held in others 他者への信頼



ニュージーランドのウェルビーイング指標 (LSF dashboard) ⑩

Our individual and collective wellbeing: 個人および集団の幸福

no.	分類	指標名	調査主体	計測方法
1	Cultural capability and belonging 文化的能力と帰属意識	Ability to express identity アイデンティティを表現する能力	統計局	ニュージーランドで自分のアイデンティティを表現するのは簡単または非常に簡単だと答えた成人の割合。隔年で実施、サンプル数約12,000 (15歳以上)
2		Arts participation 芸術への参加	Creative New Zealand	過去 12 か月間に少なくとも 1 つの芸術形式に参加した人の割合。3年毎に実施、サンプル数約6,500 (15歳以上)、764 (10-14歳)
3		Multilingualism 多言語	統計局	話されている言語の平均数。5年毎に実施。
4		Māori connection to marae マラエとのマオリのつながり	統計局	祖先のマラエとの強いつながりを感じているマオリの成人の割合。5年毎に実施、サンプル数8,500 (15歳以上のマオリ、またはマオリ系)
5		Sense of belonging - adults 帰属意識 - 大人	統計局	ニュージーランドへの帰属意識のスコアが 7/10 以上である成人の割合。隔年で実施、サンプル数約12,000 (15歳以上)
6		Sense of belonging - youth 帰属意識 - 若者	社会開発省	若者がアオテアロア/ニュージーランドへの帰属意識を感じている平均評価 (0=反対、10=賛成)。2021年に実施、サンプル数約7,000 (9-13歳)
7		Te Reo Māori speakers マオリ語を話す人々	統計局	マオリ語で日常の多くの事柄について会話できる人の割合。5年毎に実施。
8	Engagement and voice 関与と発言力	Having a say in government 政府への発言権	OECD	政府の行動について発言権があることに同意する16~65歳の人の割合。約10年毎に実施、サンプル数約24.5万人
9		Perception of public influence 国民の影響力の認識	Quality of Life Project	議会の決定に国民が多少または大きな影響力を持っていると答えた人の割合。2008年以降隔年で実施、サンプル数約7,000
10		Voter turnout in general elections 総選挙の投票率	Electoral Commission	総選挙で投票した有権者の割合。
11		Voter turnout in local elections 地方選挙の投票率	内務庁	市長選挙で投票した有権者の割合。3年毎に集計を実施
12	Environmental amenity 環境アメニティ	Access to the natural environment 自然環境へのアクセス	統計局	最寄りの公園や緑地に行くのはとても簡単だと答えた成人の割合。隔年で実施、サンプル数約12,000 (15歳以上)
13		Air quality 空気の質	統計局	2021年WHOガイドラインを超える大気汚染にさらされた人の割合。
14		Drinking water management 飲料水の管理	保険省	すべての処理管理基準を満たした飲料水を供給された人の割合。毎年レポートを発行。
15		Droughts 干ばつ	環境省, 統計局	農業干ばつの蔓延。半年毎にレポートを発行。
16		Perceived environmental quality 環境の質の認識	Landcare Research	「ニュージーランドの自然環境の全体的な状態」を非常に良いまたは良いと評価した人の割合。2000年以降2-3年毎に実施。サンプル数約2,000。
17		Swimmability (rivers) 泳ぎやすさ (川)	Land, Air, Water Aotearoa	大腸菌属性バンドごとに環境状態が監視された河川サイトの割合。

ニュージーランドのウェルビーイング指標 (LSF dashboard) ⑪

Our individual and collective wellbeing: 個人および集団の幸福

no.	分類	指標名	調査主体	計測方法
18	Family and friends 家族と友人	A place to stay 滞在場所	統計局	緊急に滞在場所が必要になった場合、知り合いに尋ねるのが簡単または非常に簡単であると回答した成人の割合。隔年で実施、サンプル数約12,000 (15歳以上)
19		Face-to-face contact 対面での交流	統計局	一緒に住んでいない友人と少なくとも週に1回は直接会った成人の割合。隔年で実施、サンプル数約12,000 (15歳以上)
20		Feeling loved 愛されていると感じること	社会開発省	若者が自分の世話をしたり世話をしたりしている人から愛されていると感じている平均評価 (0=同意しない、10=同意する)。2021年に実施、サンプル数約7,000 (9-13歳)
21		Loneliness 孤独感	統計局	過去4週間に少なくとも時々孤独を感じた成人の割合。隔年で実施、サンプル数約12,000 (15歳以上)
22		Social network support ソーシャル ネットワークのサポート	OECD	困ったときに頼れる友人や親戚がいると回答した成人の割合。
23		Someone to turn to 頼れる人	社会開発省	困ったときに頼れる友人や親戚がいると回答した成人の割合。2021年に実施、サンプル数約7,000 (9-13歳)
24		Health 健康	Health status 健康状態	保険省
25	Life expectancy at birth 出生時の平均余命		OECD Health Statistics	出生時の平均余命。
26	Mental health 精神衛生		保険省	精神的苦痛のレベルが高い、または非常に高い成人の割合。毎年実施、サンプル数約7,000 (18歳以上)
27	Suicide rate 自殺率		保険省	意図的な自傷行為による死亡、10万人あたりの年齢標準化率。毎年レポートを発行。
28	Unmet health needs 満たされていない健康ニーズ		保険省	過去12か月間に費用が原因で一般開業医の診察を受けられなかった15歳未満の子供の割合。毎年実施、サンプル数約7,000 (18歳以上)
29	Housing 住宅	Household crowding 世帯の過密状態	統計局	混雑した家に住んでいる人の割合。5年毎に実施。
30		Housing cost - deposit affordability 住宅費 - 頭金の支払い可能額	住宅・都市開発省	住宅頭金の支払い能力指数。世帯収入の中央値の変化率と住宅価格の変化率をもとに算出したインデックスで表示
31		Housing cost - mortgage affordability 住宅費 - 住宅ローンの支払い可能額	住宅・都市開発省	住宅ローンの支払い能力指数。世帯収入の中央値の変化率、住宅ローン金利の変化率、住宅化価格の変化率をもとに算出したインデックスで表示
32		Housing cost - rent affordability 住宅費 - 家賃の支払い可能額	住宅・都市開発省	家賃の支払い能力指数。世帯収入の中央値の変化率と賃貸料の変化率をもとに算出したインデックスで表示
33		Housing cost - share of income 住宅費 - 収入の割合	OECD	調整後可処分所得に占める住宅費の平均支出の割合。
34		Housing quality 住宅の質	統計局	大規模な修理が必要だと報告した成人の割合。隔年で実施、サンプル数約12,000 (15歳以上)

ニュージーランドのウェルビーイング指標 (LSF dashboard) ⑫

Our individual and collective wellbeing: 個人および集団の幸福

no.	分類	指標名	調査主体	計測方法
35	Income, consumption and wealth 収入、消費、富	Child poverty - material hardship 子どもの貧困 - 物質的困窮	統計局	物質的な困窮を経験している世帯に住む子供の割合。毎年実施、サンプル数約2,000 (15歳以上)
36		Consumption 消費	統計局	実質平均週世帯支出。毎年実施、サンプル数約2,000 (15歳以上)
37		Disposable income 可処分所得	統計局	税金と移転後、住宅費前の実質等価世帯所得の中央値。毎年実施、サンプル数約2,000 (15歳以上)
38		Financial wellbeing 経済的幸福	統計局	日々のニーズを満たすのに十分なお金がないと報告した成人の割合。隔年で実施、サンプル数約12,000 (15歳以上)
39		Food insecurity 食糧不安	保険省	食料が時々または頻繁に不足する世帯に住む 15 歳未満の子供の割合。毎年実施、サンプル数約7,000 (18歳以上)
40		Household net worth 世帯純資産	統計局	世帯純資産の平均。四半期毎に更新。
41	Knowledge and skills 知識とスキル	Cognitive skills at age 15 15 歳時の認知能力	教育省	国際学習到達度調査 (PISA) の読解、数学、科学の平均スコア。PISAは3年毎に実施。2022年にはサンプル数81か国60万人 (15歳)
42		Educational attainment of the adult population (tertiary) 成人人口の教育達成度 (高等教育)	統計局	学士号以上の資格を持つ 25 歳以上の成人の割合。四半期毎に実施。サンプル数約15,000世帯
43		Educational attainment of the adult population (upper secondary) 成人人口の教育達成度 (後期中等教育)	統計局	少なくとも後期中等教育 (NCEA レベル 2 に相当) を受けた 25 歳以上の成人の割合。四半期毎に実施。サンプル数約15,000世帯
44		Regular school attendance 定期的な学校出席	教育省	定期的に学校に通う生徒の割合。各学校が日々の出席状況をStudent Management System (SMS)に入力
45	Leisure and play 余暇と遊び	Leisure and personal care 余暇とパーソナルケア	統計局	12 歳以上の人々が自由時間と個人的なケア (睡眠、食事、個人の衛生など) に費やす 1 日あたりの平均時間。1998/99、2009/10に実施。サンプル数約3,500
46		Participation in sport and recreation スポーツとレクリエーションへの参加	Sport New Zealand	毎週、遊び、アクティブなレクリエーション、スポーツに参加する成人の割合。毎年集計、サンプル数約20,000 (18歳以上)、5,000 (5-17歳)
47		Satisfaction with work-life balance ワークライフバランスの満足度	統計局	仕事と生活のバランスに「非常に満足」または「満足」している成人の割合。2008年、2012年、2018年に実施。
48	Safety 安全性	Childhood injuries 子供の傷害	統計局	0~14 歳の子供のすべての致命的、非致命的、重傷、年齢標準化率。毎年集計
49		Family violence 家庭内暴力	法務省	過去 1 年間に家庭内暴力の被害者となった成人の割合。2018年から毎年実施、サンプル数約8,000
50		Feeling safe 安全を感じる	統計局	夜間に近所を一人で歩いているときに安全だと感じる成人の割合。隔年で実施、サンプル数約12,000 (15歳以上)
51		Intentional homicide rate 故意殺人率	保険省	暴行による死亡、10 万人あたりの年齢標準化率。毎年レポートを発行。
52		Road toll 交通事故死者数	運輸省	交通事故による死亡者数。毎年レポートを発行。データは Crash Analysis System (CAS)に蓄積されたデータを集計、加工
53		Workplace accident rate 職場事故率	統計局	フルタイム従業員 1,000 人当たりの労働災害請求件数。毎年指標を公表。Accident Compensation Corporation (ACC: 居住者、非居住者に関わらず、ニュージーランド国内で起きた事故に伴う治療費の一部や補償金を負担する政府機関) のデータを集計、加工

ニュージーランドのウェルビーイング指標 (LSF dashboard) ⑬

Our individual and collective wellbeing: 個人および集団の幸福

no.	分類	指標名	調査主体	計測方法
54	Subjective wellbeing 主観的幸福感	General life satisfaction 一般的な生活満足度	統計局	生活満足度スコアが 7/10 以上である成人の割合。隔年で実施、サンプル数約12,000 (15歳以上)
55		Sense of purpose in one's life 人生における目的意識	統計局	人生に価値があると感じるスコアが 7/10 以上である成人の割合。隔年で実施、サンプル数約12,000 (15歳以上)
56	Work, care and volunteering 仕事、介護、ボランティア活動	Employment rate 就業率	統計局	就業している 15 歳以上の成人の割合。四半期毎に実施。サンプル数約15,000世帯
57		Hourly earnings 時給	統計局	15 歳以上の賃金および給与労働者の時給の中央値。四半期毎に実施。サンプル数約15,000世帯
58		Involvement in the community コミュニティへの関与	社会開発省	近所や地域社会で他の人を助けていると回答した若者の割合 (「はい」および「ときどき」を含む)。2021年に実施、サンプル数約7,000 (9-13歳)
59		Unemployment rate 失業率	統計局	失業中の労働力の割合。四半期毎に実施。サンプル数約15,000世帯
60		Unpaid work 無給労働	統計局	無給労働 (自分の世帯、他の世帯、または組織のため) に費やした 1 日あたりの平均時間。1998/99、2009/10に実施。サンプル数約3,500
61		Volunteering ボランティア活動	統計局	過去 4 週間にボランティア活動を行ったと回答した成人の割合。隔年で実施、サンプル数約12,000 (15歳以上)
62		Youth NEET rate 若者のニート率	統計局	就業、教育、または訓練を受けていない (NEET) 15~24 歳の若者の割合。四半期毎に実施。サンプル数約15,000世帯

ニュージーランドのウェルビーイング指標 (LSF dashboard) ⑭

Our Institutions and Governance: 組織とガバナンス

no.	分類	指標名	調査主体	計測方法
63	Central and local government 中央政府と地方政府	Net core Crown debt 純コア国債	財務省	純コア国債の対GDP比。毎年指標を公表。Accident Compensation Corporation (ACC : 居住者、非居住者に関わらず、ニュージーランド国内で起きた事故に伴う治療費の一部や補償金を負担する政府機関) のデータを集計、加工
64		Perceived corruption 認識される汚職	Transparency International	腐敗認識指数スコア (0 (非常に腐敗している) から100 (非常にクリーン) まで)。180の国・地域で調査を実施
65		Trust in government institutions 政府機関への信頼	政府サービス委員会	公的サービスを全体的に信頼している成人の割合。四半期毎に実施。サンプル数約2,000
66	Civil society 市民社会	Non-profit operating surplus 非営利組織の運営余剰	統計局	非営利部門の営業余剰の対所得比。2018年にレポートを発行。国の法人登録制度に登録されているNPOおよびその他の団体のNPO情報を集計、加工
67		Volunteering ボランティア活動	統計局	過去4週間にボランティア活動を行ったと報告した成人の割合。隔年で実施、サンプル数約12,000 (15歳以上)
68	Families and households 家族と世帯	Family wellbeing 家族の幸福	統計局	家族の幸福度スコアが7/10以上の成人の割合。隔年で実施、サンプル数約12,000 (15歳以上)
69		Household indebtedness 家計負債	OECD	世帯純可処分所得に対する平均世帯債務の割合。
70	Firms and markets 企業と市場	Activity outlook 活動見通し	New Zealand Institute of Economic Research	今後四半期に自社の取引活動が改善すると見込んでいる企業の純割合。1961年から四半期毎に実施。サンプル数約4,300企業
71		Banking system capital 銀行システム資本	RBNZ	ニュージーランドの現地法人銀行の総資本比率。
72		Business turnover rate 事業回転率	統計局	企業設立と企業消滅の年間率の合計。毎年レポートを発行、国の法人登録制度に登録されている企業情報を集計、加工
73		Multifactor productivity growth 多要素生産性成長	統計局	多要素生産性の年間成長率。1978年から毎年公表。
74		R&D expenditure 研究開発費	OECD	研究開発 (R&D) への投資の対GDP比。
75	International connections 国際的なつながり	Inward foreign direct investment 対内直接投資	統計局	他国に拠点を置く企業によるニュージーランド企業への直接投資総額。四半期毎に公表。
76		Outward foreign direct investment 対外直接投資	統計局	他国に拠点を置く企業に対するニュージーランド企業による直接投資総額。四半期毎に公表。
77		Terms of trade 貿易条件	統計局	輸出価格指数と輸入価格指数の比率価格。四半期毎に公表。
78		Total trade to GDP ratio 総貿易対GDP比率	統計局	GDP に占める総貿易の割合。四半期毎に公表。
79	Whānau, hapū and iwi ファナウ、ハプ、イウィ	Māori connection to marae マオリ族とマラエのつながり	統計局	先祖のマラエとの強いつながりを感じているマオリの成人の割合。5年毎に実施、サンプル数8,500 (15歳以上のマオリ、またはマオリ系)
80		Whānau wellbeing ファナウの幸福	統計局	家族の幸福度を 7/10 以上と評価するマオリの割合。5年毎に実施、サンプル数8,500 (15歳以上のマオリ、またはマオリ系)

ニュージーランドのウェルビーイング指標 (LSF dashboard) ⑮

The Wealth of Aotearoa New Zealand: アオテアロア・ニュージーランドの富

no.	分類	指標名	調査主体	計測方法
81	Financial and physical capital 金融資本と物的資本	Gross fixed capital formation 総固定資本形成	統計局	生産資産の年間創出または取得の年間変化率。四半期毎に公表。
82		Net intangible fixed assets 純無形固定資産	統計局	1人当たりの無形固定資産純額。四半期毎に公表。
83		Net international investment position 純国際投資ポジション	統計局	対GDP純国際投資残高比率。四半期毎に公表。
84	Human capability 人間の能力	Total net fixed assets 総純固定資産	統計局	1人当たりの固定資産純額。四半期毎に公表。
85		Cognitive skills at age 15 15歳時の認知能力	OECD	国際学習到達度調査(PISA)の読解力、数学、理科の平均スコア。
86		Educational attainment of the adult population (upper secondary) 成人人口の教育達成度(高等中等教育)	OECD	25~64歳の成人のうち、少なくとも後期中等教育を受けた人の割合。
87		Healthy life expectancy 健康寿命	Institute for Health Metrics and Evaluation	1歳未満の乳児が健康に生きられると予想される年数。毎年、160の国・地域の約12,000人を対象に調査を実施
88		Non-communicable diseases 非感染性疾患	Institute for Health Metrics and Evaluation	10万人当たりの障害調整生存年数(DALY)で測定された非感染性疾患による健康損失。毎年、160の国・地域の約12,000人を対象に調査を実施
89	Natural environment 自然環境	Te Reo Māori speakers マオリ語話者	統計局	マオリ語で日常の多くの事柄について会話できる人の割合。5年毎に実施。
90		Average temperature 平均気温	環境省, 統計局	全国平均気温。半年毎にレポートを発行。
91		Biodiversity and genetic resources 生物多様性と遺伝資源	環境省, 統計局	絶滅の危機に瀕している、または絶滅の恐れがあると評価された在来種の割合。半年毎にレポートを発行。
92		Coastal sea-level rise 沿岸海面上昇	環境省, 統計局	1986~2005年の基準期間と比較した沿岸海面上昇率(年間平均)。半年毎にレポートを発行。
93		Fish stocks 魚類資源	第一次産業省	商業漁獲可能量。
94		Groundwater stocks 地下水資源量	統計局	地下水資源量。毎年公表。
95		Net greenhouse gas emissions 温室効果ガス純排出量	環境省	温室効果ガス純排出量(CO2換算キロトン)。
96		Renewable energy 再生可能エネルギー	企業・技術革新・雇用省	再生可能エネルギーが一次エネルギー総供給量に占める割合。
97		River health 河川の健全性	Land, Air, Water Aotearoa	環境状態監視対象河川地点の、マクロ無脊椎動物コミュニティ指数属性バンドごとの割合。
98		Soil quality 土壌の質	環境省, 統計局	土壌検査7種類のうち少なくとも6種類で目標範囲内にある検査地点の割合。半年毎にレポートを発行。
99	Timber stocks 木材資源量	統計局	供給可能な木材と供給不可能な木材の両方を含む木材資源の総量。毎年公表。	
100	Social cohesion 社会的結束	Ability to express identity アイデンティティを表現する能力	統計局	ニュージーランドで自分のアイデンティティを表現するのは簡単または非常に簡単だと答えた成人の割合。隔年で実施、サンプル数約12,000(15歳以上)
101		Discrimination 差別	統計局	ニュージーランドで過去12か月間に差別を経験した成人の割合。隔年で実施、サンプル数約12,000(15歳以上)
102		Sense of belonging - adults 成人の帰属意識	統計局	ニュージーランドへの帰属意識のスコアが7/10以上の成人の割合。隔年で実施、サンプル数約12,000(15歳以上)
103		Trust held in others 他者への信頼	統計局	ニュージーランドで他人への信頼のスコアが7/10以上の成人の割合。隔年で実施、サンプル数約12,000(15歳以上)

6. オランダの事例

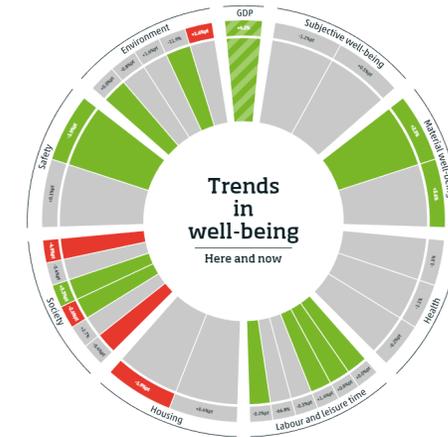
オランダのウェルビーイング指標 (Monitor of Well-being and the Sustainable Development Goals) ①

概要

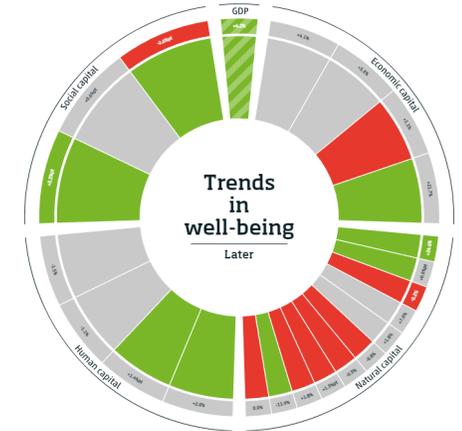
- オランダ中央統計局はオランダ政府の要請を受け、毎年「ウェルビーイングとSDGsのモニター」を公表している
- モニターの目的は、政治家や社会にオランダのウェルビーイングの発展とSDGsに関する国のパフォーマンスに関する情報を提供することである
- このモニターは中期的なトレンドとEUにおけるオランダのポジションを示す構造化された指標群に基づいている
- オランダ中央統計局は国際連合欧州経済委員会（UNECE）のCES（欧州統計委員会）測定システムにて採用されている枠組み*に従って幸福度を測定
- 現在（今ここ）のウェルビーイングと生活の質の状態、そしてウェルビーイングが人口集団の中でどのように分配されているか、ウェルビーイングの追求が将来の世代や他国の人々に及ぼす影響（今後、別の場所）についても調査

*CES測定システムに採用されている枠組み：スティグリッツの報告書に基づいており、「今ここ」での幸福と、「今後」「別の場所」での幸福を区別している

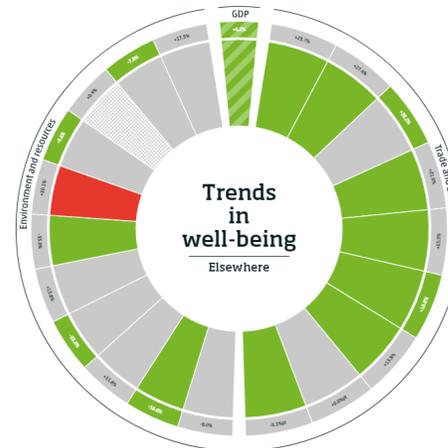
ウェルビーイングトレンド・ホイール



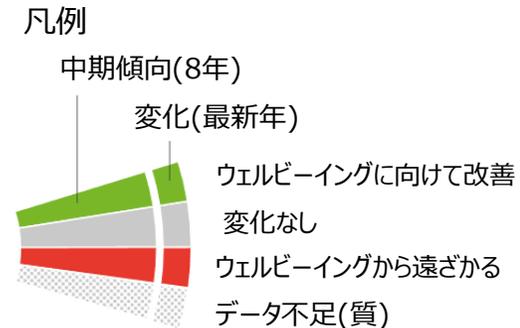
Here and now : 今、ここ



Later : 今後



Elsewhere : 他の場所



指標の特徴

- 「今、ここ」、「今後」、「他の場所」の3つのウェルビーイングについて、計17のテーマ（重複有）と73の指標（重複有）で構成されている
- 「今ここ」は、8つのテーマ（主観的幸福、物質的幸福、健康、労働と余暇、住宅、社会、安全、環境）で構成されている
- 「今後」は、4つの「資本」（経済的、自然的、人的、社会的）で構成されている
- 「別の場所」は、2つのテーマ（貿易と援助、環境と資源）で構成されている
- 各指標のトレンドがダッシュボードで示されるほか、全体を「ウェルビーイングトレンド・ホイール」として平均の変化を色で示している
- 幸福度測定のためのCESフレームワークとSDGsのモニタリングを組み合わせることにより、様々な政策分野での進捗状況をより明確にし、文書化することができる
（幸福度測定は、ウェルビーイングに関するアプローチが一般的な意図を示しているのに対し、SDGsアジェンダは2030年までに達成すべき具体的な目標に変換しており、オランダの現状をより具体的かつ実践的に示すことに役立っているため）
- 本指標は概ねオランダ中央統計局のデータから作成している

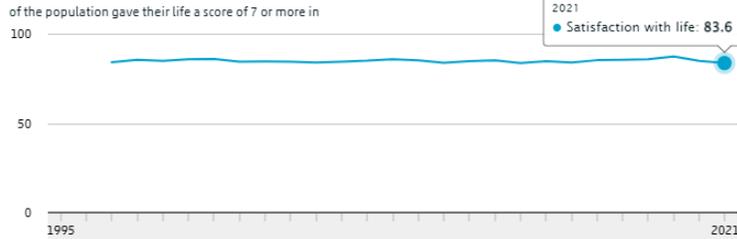
指標の活用方法

- 指標を基に「ウェルビーイングとSDGsのモニター」を公表している

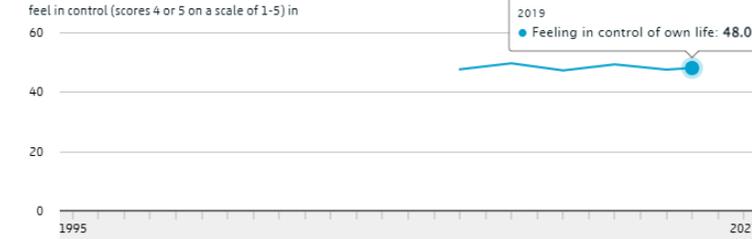
オランダのウェルビーイング指標 (Monitor of Well-being and the Sustainable Development Goals) ③

Subjective well-being : 主観的な幸福

Satisfaction with life 生活満足度

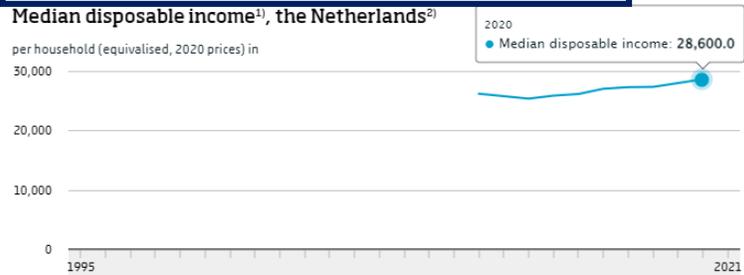


Feeling in control of own life 自分の人生をコントロールしていると感じる

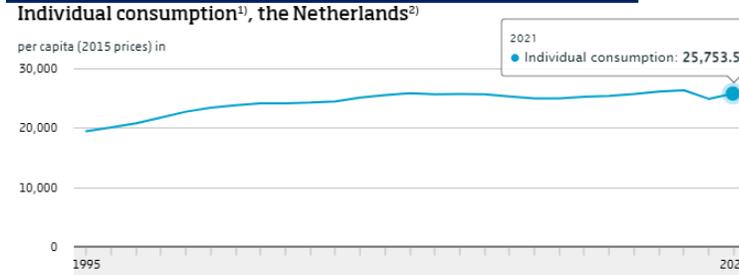


Material well-being : 物質的な幸福

Median disposable income 可処分所得の中央値

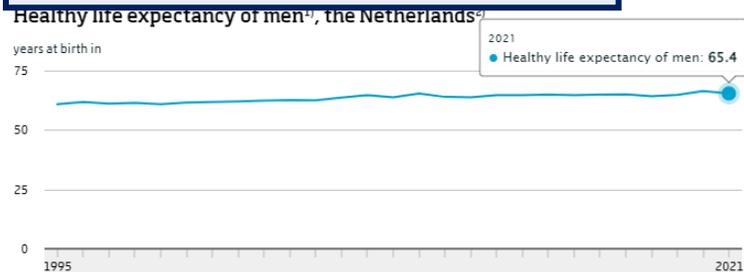


Individual consumption. 個別消費

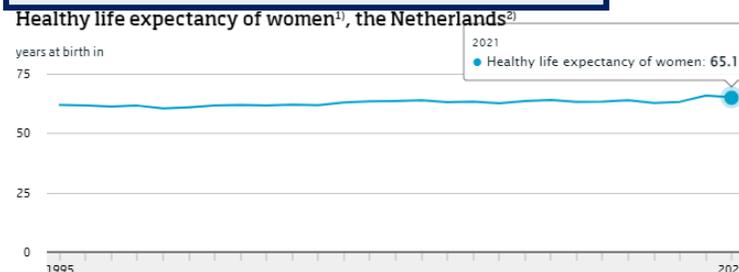


Health : 健康

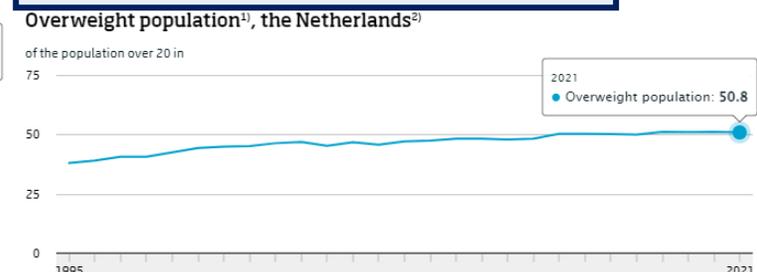
Healthy life expectancy of men 男性の健康寿命



Healthy life expectancy of women 女性の健康寿命



Overweight population 太りすぎの人口



オランダのウェルビーイング指標 (Monitor of Well-being and the Sustainable Development Goals)

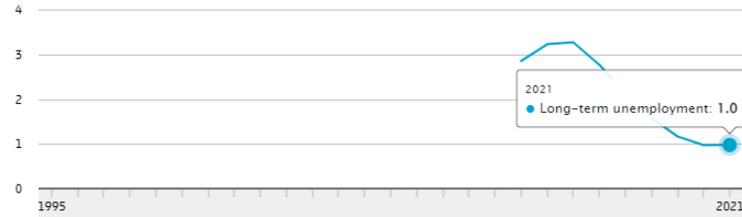
4

Labour and leisure time : 労働と余暇

Long-term unemployment 長期失業率

Long-term unemployment¹⁾, the Netherlands²⁾

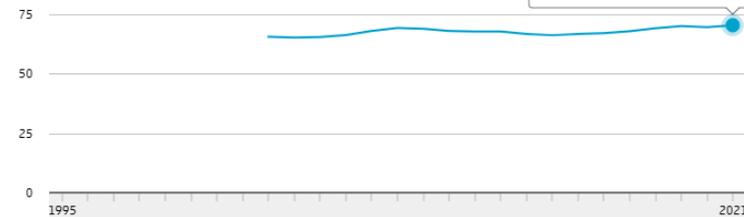
of the labour force had been unemployed for one year or more in



Net labour participation 純労働参加率

Net labour participation¹⁾, the Netherlands²⁾

of population aged 15-74 in



Higher educated population 高学歴人口

Higher educated population¹⁾, the Netherlands²⁾

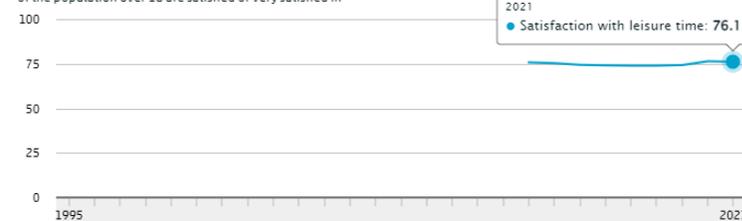
of the population aged 15-74 have a higher education degree in



Satisfaction with leisure time 余暇の満足度

Satisfaction with leisure time¹⁾, the Netherlands²⁾

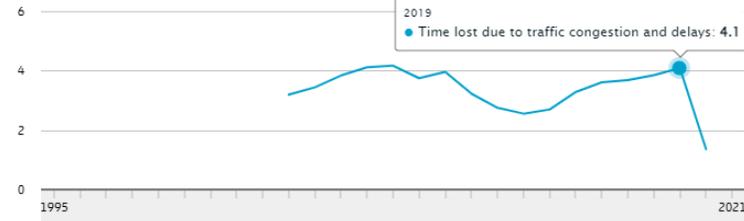
of the population over 18 are satisfied or very satisfied in



Time lost due to traffic congestion and delays 交通渋滞や遅延による時間損失

Time lost due to traffic congestion and delays¹⁾, the Netherlands²⁾

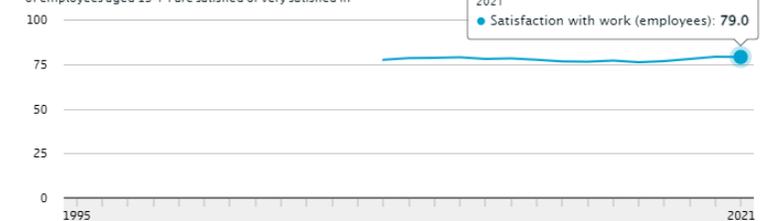
vehicle hours lost per capita in



Satisfaction with work (employees) 仕事に対する満足度(従業員)

Satisfaction with work (employees)¹⁾, the Netherlands²⁾

of employees aged 15-74 are satisfied or very satisfied in

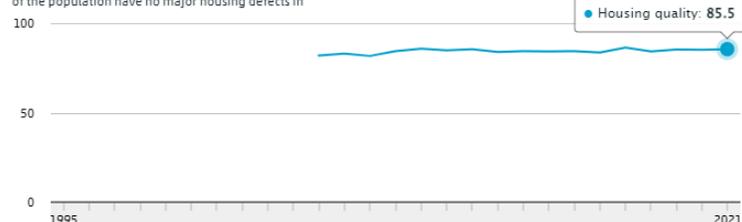


Housing : 住宅

Housing quality 住宅の品質

Housing quality¹⁾, the Netherlands²⁾

of the population have no major housing defects in



Satisfaction with housing. 住宅に対する満足度

Satisfaction with housing¹⁾, the Netherlands²⁾

of the population over 18 are satisfied or very satisfied in

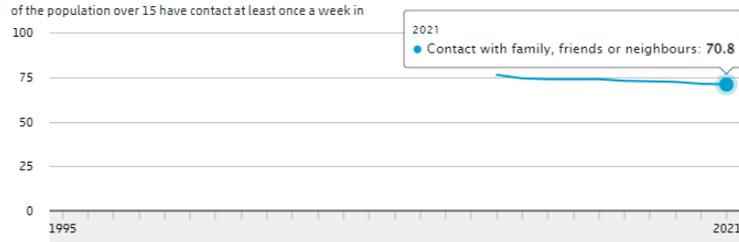


オランダのウェルビーイング指標 (Monitor of Well-being and the Sustainable Development Goals) ⑤

Society : 社会

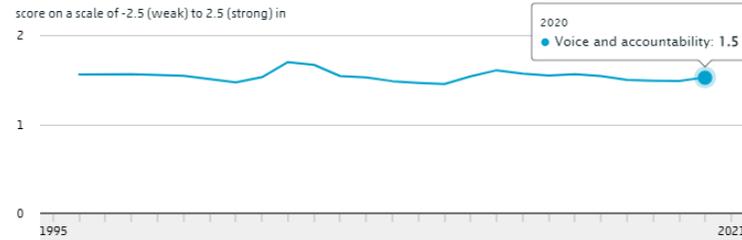
Contact with family, friends or neighbours 家族、友人、隣人との連絡

Contact with family, friends or neighbours¹⁾, the Netherlands²⁾



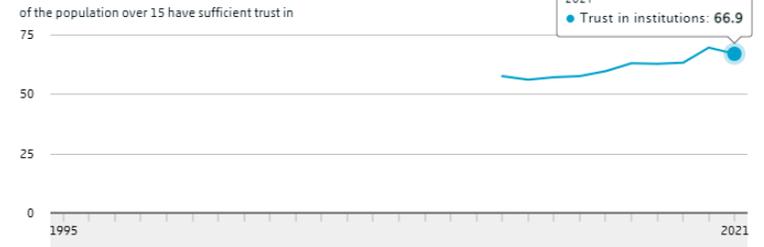
Voice and accountability 声と説明責任

Voice and accountability¹⁾, the Netherlands²⁾



Trust in institutions 機関への信頼

Trust in institutions¹⁾, the Netherlands²⁾



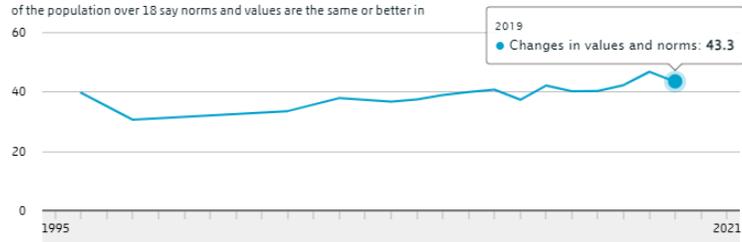
Trust in other people 他人を信頼する

Trust in other people¹⁾, the Netherlands²⁾



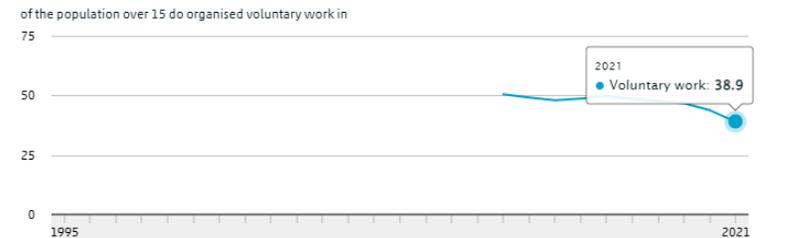
Changes in values and norms 価値観と規範の変化

Changes in values and norms¹⁾, the Netherlands²⁾



Voluntary work ボランティア活動

Voluntary work¹⁾, the Netherlands²⁾



Safety : 安全

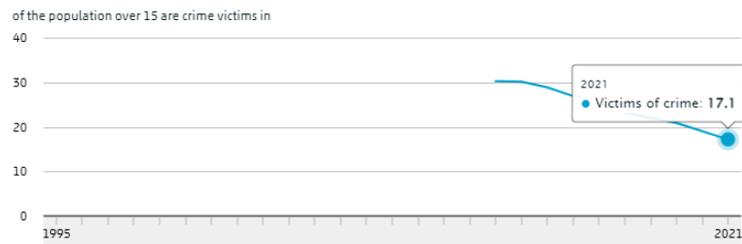
Often feeling unsafe in the neighbourhood 近所で安全ではないと感じることがよくある

Often feeling unsafe in the neighbourhood¹⁾, the Netherlands²⁾



Victims of crime 犯罪の被害者

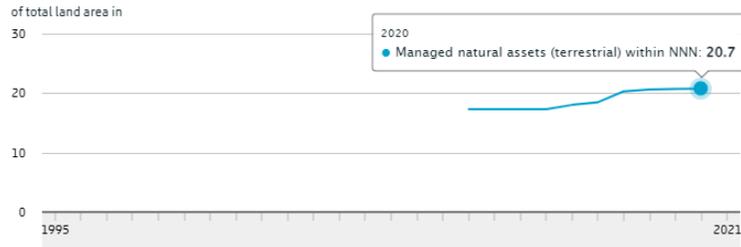
Victims of crime¹⁾, the Netherlands²⁾



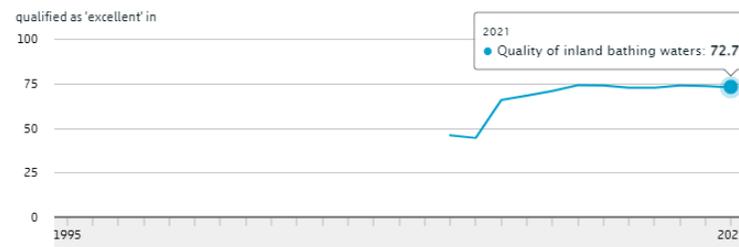
オランダのウェルビーイング指標 (Monitor of Well-being and the Sustainable Development Goals) ⑥

Environment : 環境

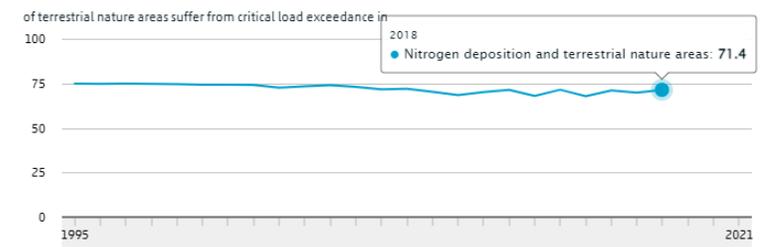
Managed natural assets (terrestrial) within NNN NNN内の管理自然資産(陸域)



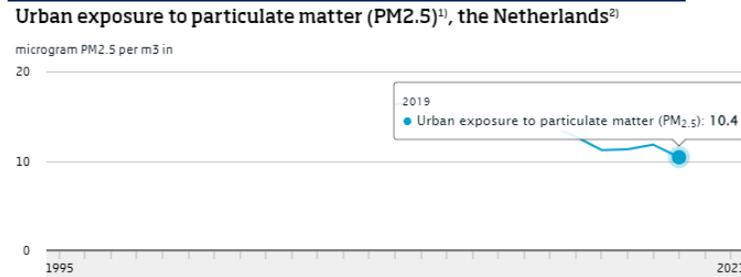
Quality of inland bathing waters 内陸海水浴水質



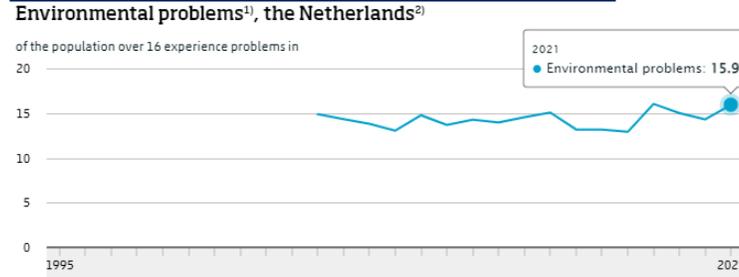
Nitrogen deposition and terrestrial nature areas 窒素沈着と陸生自然地域



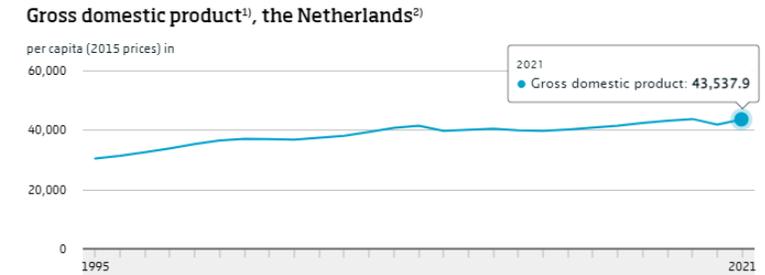
Urban exposure to particulate matter (PM2.5) 粒子状物質(PM2.5)への都市部への曝露



Environmental problems 環境問題

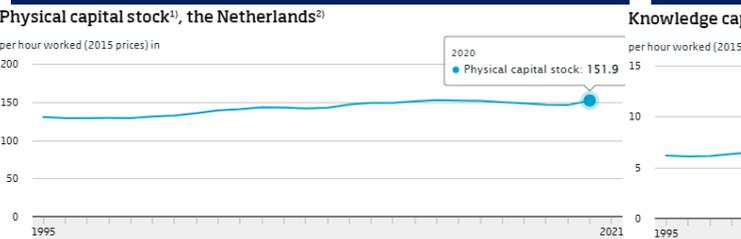


GDP : 国内総生産

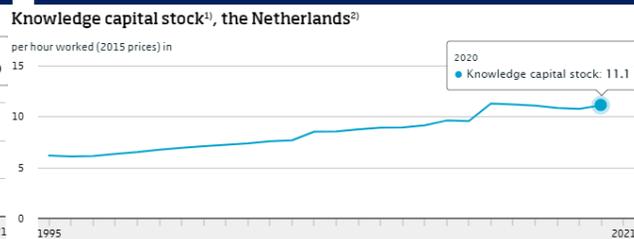


Economic capital : 経済資本

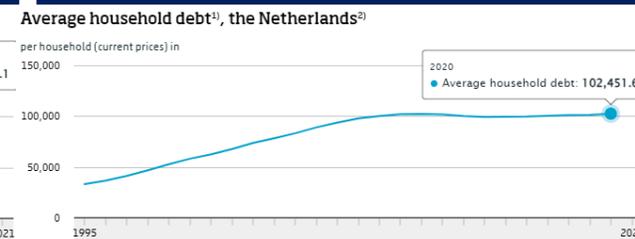
Physical capital stock 物的資本ストック



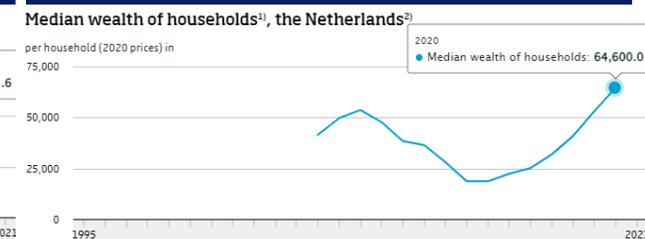
Knowledge capital stock ナレッジキャピタルストック



Average household debt 平均家計債務



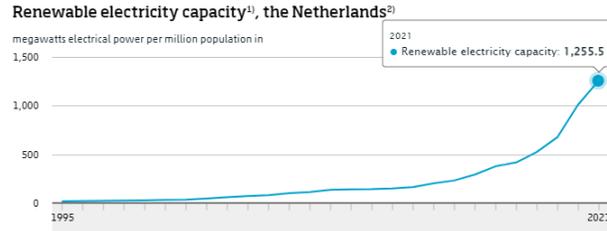
Median wealth of households 世帯の資産の中央値



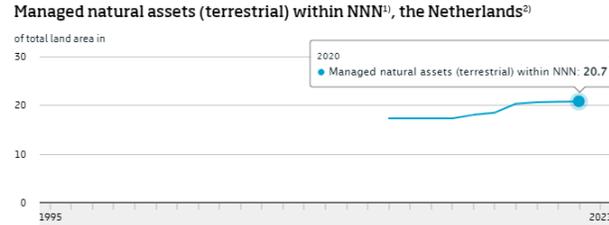
オランダのウェルビーイング指標 (Monitor of Well-being and the Sustainable Development Goals) ⑦

Natural capital : 自然資本

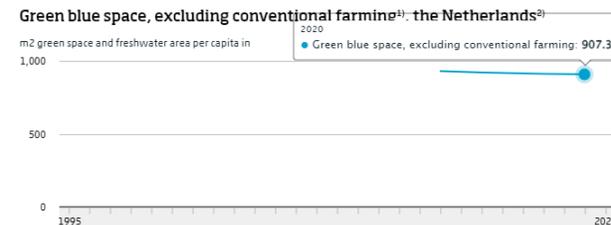
Renewable electricity capacity 再生可能電力容量



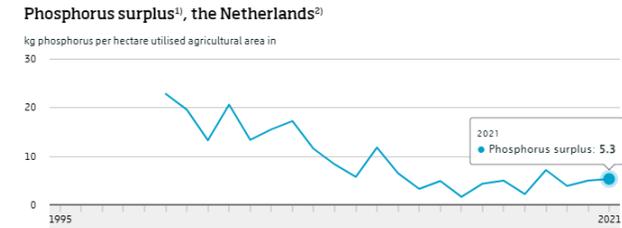
Managed natural assets (terrestrial) within NNN NNN 内の管理された自然資産 (陸上)



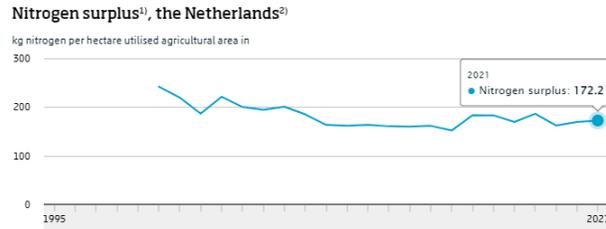
Green blue space, excluding conventional farming 従来の農業を除く緑と青のスペース



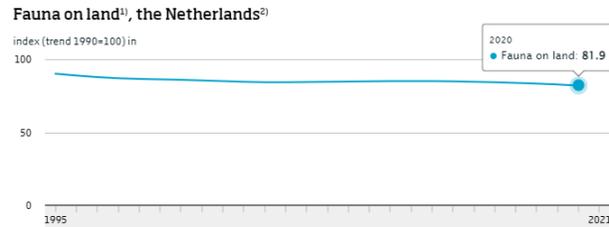
Phosphorus surplus リン余剰



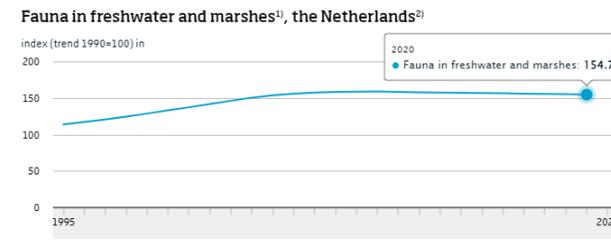
Nitrogen surplus 窒素余剰



Fauna on land 陸上の動物相



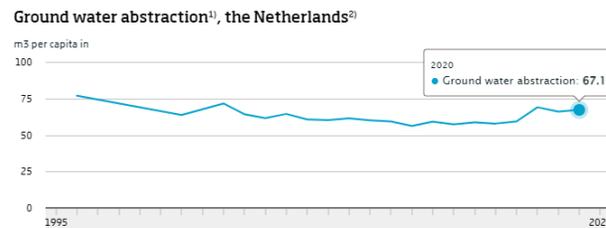
Fauna in freshwater and marshes 淡水と沼地の動物相



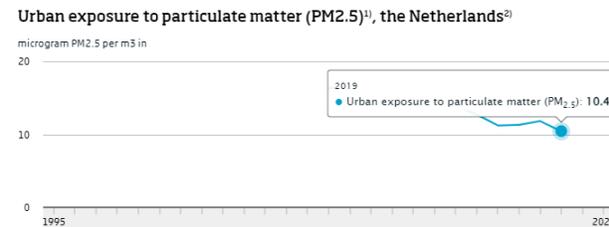
Surface water with good chemical quality 淡水と沼地の動物相



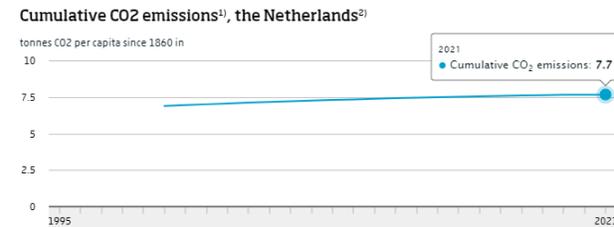
Ground water abstraction 地下水の抽象化



Urban exposure to particulate matter (PM2.5) 粒子状物質(PM2.5)への都市部への曝露



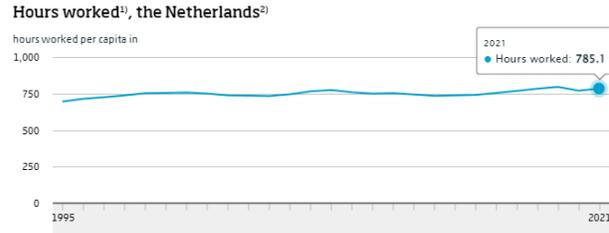
Cumulative missions CO2排出量の累計



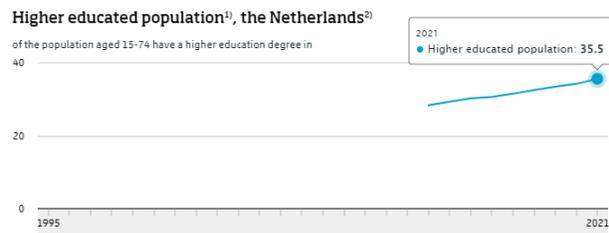
オランダのウェルビーイング指標 (Monitor of Well-being and the Sustainable Development Goals) ⑧

Human capital : 人的資本

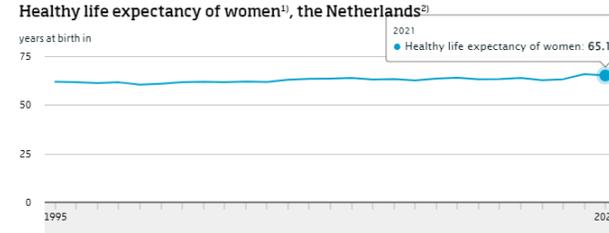
Hours worked 労働時間



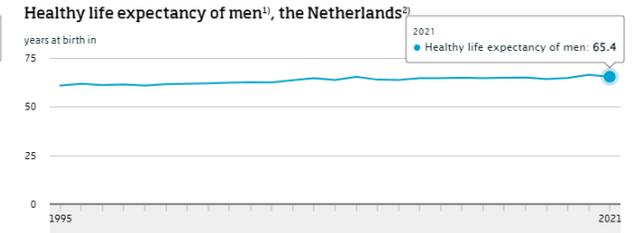
Higher educated population 高学歴人口



Healthy life expectancy of women 女性の健康寿命

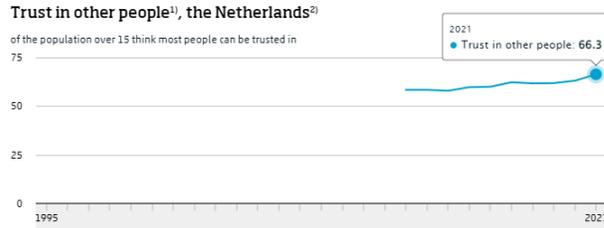


Healthy life expectancy of men 男性の健康寿命

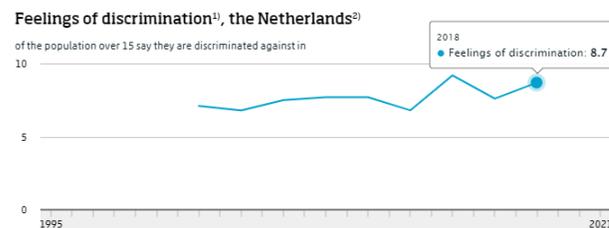


Social capital : 社会資本

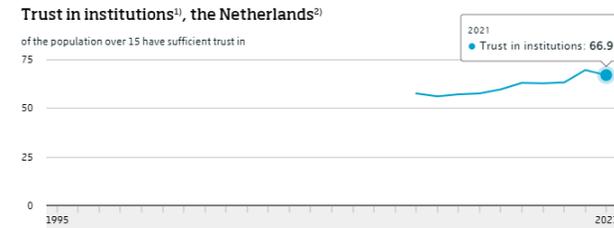
Trust in other people 他人を信頼する



Feelings of discrimination 差別の感情



Trust in institutions 機関への信頼



オランダのウェルビーイング指標 (Monitor of Well-being and the Sustainable Development Goals) ⑨

Trade and aid : 貿易と援助

「Elsewhere」の項目において設定された指標であり、トレンドホイールに傾向が示されているが、指標のダッシュボード表示はない



Environment and resources : 環境と資源

「Elsewhere」の項目において設定された指標であり、トレンドホイールに傾向が示されているが、指標のダッシュボード表示はない。



オランダのウェルビーイング指標 (Monitor of Well-being and the Sustainable Development Goals) ⑩

no.	分類	指標名	計測方法
1	Subjective well-being : 主観的な幸福	Satisfaction with life 生活満足度	「現在の生活にどの程度満足していますか?」という質問に対して、スコア7-10(0-非常に満足していない-から10-非常に満足している)と回答した18歳以上の人口の割合。
2		Feeling in control of own life 自分の人生をコントロールしていると感じる	自分の人生をコントロールしていると感じているという認識。スコア4と5を1(限定的な制御)から5(相当な制御の程度)までのスケールで評価。
3	Material well-being : 物質的な幸福	Median disposable income 可処分所得の中央値	世帯規模と世帯構成の違い(2021年の価格)を補正した可処分所得。
4		Individual consumption. 個別消費	実際の個人消費:世帯が取得した商品やサービスの消費額
5	Health : 健康	Healthy life expectancy of men 男性の健康寿命	男性の特定の年齢の人が(まだ)健康であると認識されていると期待できる年数。
6		Healthy life expectancy of women 女性の健康寿命	女性の特定の年齢の人が(まだ)健康であると認識されていると期待できる年数。
7		Overweight population 太りすぎの人口	20歳以上の人口のうち、BMI(Body Mass Index)が25.0kg/m ² 以上の者の割合。
8	Labour and leisure time : 労働と余暇	Long-term unemployment 長期失業率	失業者で、1年以上仕事を探している活動人口の割合
9		Net labour participation 純労働参加率	同じ年齢層(雇用者と失業者)の総人口に占める雇用労働力(15~74歳)の割合。
10		Higher educated population 高学歴人口	国際標準教育分類(ISCED 5以上)に従って高等教育を修了した人口(15~74歳)の割合。
11		Satisfaction with leisure time 余暇の満足度	余暇の過ごし方に満足している18歳以上の人口の割合で、1~10のスケールで7以上。スコア1は「完全に不満」、スコア10は「完全に満足」を表す。
12		Time lost due to traffic congestion and delays 交通渋滞や遅延による時間損失	交通渋滞やその他の遅延の結果として失われた時間(一人当たりの車両損失時間)
13		Satisfaction with work (employees) 仕事に対する満足度(従業員)	15歳から74歳のオランダ人従業員のうち、自分の仕事に満足している、または非常に満足している人の割合。
14	Housing : 住宅	Housing quality 住宅の品質	現状では取得できない
15		Satisfaction with housing. 住宅に対する満足度	18歳以上の人口の割合で、生活の宿泊施設にどの程度満足しているかという質問に1から10までのスケールで7~10のスコアと回答。
16	Society : 社会	Contact with family, friends or neighbours 家族、友人、隣人との連絡	15歳以上の回答者のうち、平均して週に1回以上、社会的な理由で家族、友人、隣人と会っている人の割合
17		Voice and accountability 声と説明責任	Worldwide Governance Indicatorsによって測定されるガバナンスの6つの側面の1つ。その国の市民が政府の選択にどの程度参加できるか、表現の自由、結社の自由、自由なメディアの認識を捉えている。
18		Trust in institutions 機関への信頼	さまざまな組織とその運営方法に対する信頼度。15歳以上の人口で、信頼度が「非常に高い」または「かなり高い」と答えた回答者の割合
19		Trust in other people 他人への信頼	15歳以上の回答者のうち、ほとんどの人が信頼できると考えている人の割合。
20		Changes in values and norms 価値観と規範の変化	「私たちの国の規範と価値観がますます悪化していると言う人もいれば、改善していると考える人もいます。どう思うか?」という質問で、18歳以上の人口のうち「規範や価値観が悪化しているとは思わない」と答えた人の割合。
21		Voluntary work ボランティア活動	15歳以上の人口のうち、過去12ヶ月間に組織や団体でボランティア活動を行った人の割合。

オランダのウェルビーイング指標 (Monitor of Well-being and the Sustainable Development Goals) ⑪

no.	分類	指標名	計測方法
22	Safety : 安全	Often feeling unsafe in the neighbourhood 近所で安全ではないと感じることがよくある	自分の近所で危険を感じたことがあるかどうかという質問に「はい」と答えた15歳以上のうちの、危険だと感じた頻度。
23		Victims of crime 犯罪の被害者	15歳以上の回答者のうち、過去12ヶ月間に(単一または複数の)犯罪の被害者であった人の割合。
24	Environment : 環境	Managed natural assets (terrestrial) within NNN NNN内の管理自然資産(陸域)	全オランダエコロジカルネットワーク(NNN)で管理された自然資産(陸生自然)の総土地被覆占める割合
25		Quality of inland bathing waters 内陸海水浴水質	海水浴用水に関するEUの規制に従って測定された、遊泳用の水質が優れた場所の割合
26		Nitrogen deposition and terrestrial nature areas 窒素負荷量の基準を超える陸生自然地域の割合	窒素沈着の臨界負荷を超えた生態系の面積。沈着レベルと臨界負荷の差分が、生態系の質の低下リスクの尺度となる。
27		Urban exposure to particulate matter (PM2.5) 粒子状物質(PM2.5)への都市部への曝露	都市部における粒子状物質濃度の加重年平均。
28		Environmental problems 環境問題	16歳以上の人口の割合は、その地域の汚染、汚れ、またはその他の環境問題を報告している。
29	GDP : 国内総生産	GDP 国内総生産	記載なし
30	Economic capital : 経済資本	Physical capital stock 物的資本ストック	物的資本は、固定資産、生産プロセスで1年以上使用される有形資本財で構成
31		Knowledge capital stock 知識資本ストック	知識資本は、研究開発資本、ソフトウェアおよびデータベース、鉱物埋蔵量および独自の知的財産権の評価、探査などの他の無形資産で構成
32		Average household debt 平均家計債務	世帯および世帯にサービスを提供する非営利団体の貸出金および債務証券の合計の平均
33		Median wealth of households 世帯の資産の中央値	1月1日時点の資産から負債を差し引いた資産額。
34	Natural capital : 自然資本	Renewable electricity capacity 再生可能電力容量	持続可能な電力の総容量。電力とは、最適な条件下で単位時間あたりに生成できる電力、風力、水力、太陽エネルギーの量。バイオマスからの電力は除外
35		Managed natural assets (terrestrial) within NNN NNN内の管理された自然資産(陸上)	全オランダエコロジカルネットワーク(NNN)で管理された自然資産(陸生自然)の総土地被覆占める割合
36		Green blue space, excluding conventional farming 人口当たり緑地と淡水域面積(農地を除く)	通常の農業、および北海を除く、都市部と農村部の両方の緑地および/または自然地域の面積。都市の緑、大小の水域、道端、生け垣、並木道などの田舎の緑、森林、自然保護区、農業自然管理下にある地域が含まれる。
37		Phosphorus surplus リン余剰	利用農地面積 1ヘクタールあたりの土壌へのリンの供給量(廃棄量を差し引いたもの)
38		Nitrogen surplus 窒素余剰	利用農地面積 1ヘクタールあたりの土壌への窒素(アンモニアを含む)の供給量(廃棄量を差し引いたもの)
39		Fauna on land 陸上の動物相	オランダの陸生動物(在来種214種:哺乳類26種、繁殖鳥類130種、爬虫類7種、蝶51種)の個体数または分布(種による)の推移。
40		Fauna in freshwater and marshes 淡水と沼地の動物相	オランダの淡水・沼地の典型的な動物相(在来種136種:哺乳類5種、繁殖鳥類29種、魚類30種、両生類14種、トンボ57種、蝶1種)の個体数または分布(種による)の推移
41		Surface water with good chemical quality 化学品質の良い地表水	良質な地表水の割合を測定。地表水の化学的品質を判断するために、53の化学物質または化学物質のグループが監視される。

オランダのウェルビーイング指標 (Monitor of Well-being and the Sustainable Development Goals) ⑫

no.	分類	指標名	計測方法
42	Natural capital : 自然資本	Ground water abstraction 地下水資源量	一人当たりの淡水総貯水量。
43		Urban exposure to particulate matter (PM2.5) 粒子状物質(PM2.5)への都市部への曝露	都市部における粒子状物質濃度の加重年平均。
44		Cumulative missions CO2排出量の累計	累積CO2排出量:1860年以降(オランダの産業革命開始)までに蓄積されたCO2排出量(トン/人当たり)。
45	Human capital : 人的資本	Hours worked 労働時間	従業員と自営業者が実際に働いた時間の合計を総人口で割ったもの。
46		Higher educated population 高学歴人口	国際標準教育分類(ISCED 5以上)に従って高等教育を修了した人口(15~74歳)の割合。
47		Healthy life expectancy of women 女性の健康寿命	男性の特定の年齢の人が(まだ)健康であると認識されていると期待できる年数。
48		Healthy life expectancy of men 男性の健康寿命	女性の特定の年齢の人が(まだ)健康であると認識されていると期待できる年数。
49	Social capital : 社会資本	Trust in other people 他人への信頼	15歳以上の回答者のうち、ほとんどの人が信頼できると考えている人の割合。
50		Feelings of discrimination 差別の感情	15歳以上の回答者のうち、国内の差別されたグループに属していると回答する人の割合。
51		Trust in institutions 機関への信頼	さまざまな組織とその運営方法に対する信頼度。15歳以上の人口で、信頼度が「非常に高い」または「かなり高い」と答えた回答者の割合

分類「Trade and aid : 貿易と援助」「Environment and resources : 環境と資源」に属する指標については、計測方法に関する情報が公開されていない

7. アイスランドの事例

アイスランドのウェルビーイング指標 (Indicators for measuring well-being) ①

概要

- アイスランド政府は戦略計画の中で、一般市民の反映と生活の質の向上を強調している
- 2019年に、社会的、環境的、経済的要因をモニタリングするために39の指標を定義された
- 指標の選択に当たり、政府は一般市民が最も優先する分野を特定するための調査を実施し、生活の質を向上させる上で最も重要な要素は健康であり、次いで人間関係、住宅、生計の順であることが分かった

指標の特徴

- 3つのカテゴリー、13分野、39指標で構成
- 他国の指標と部分的に比較可能
- 指標群はアイスランド統計局が管理し、定期的に更新している

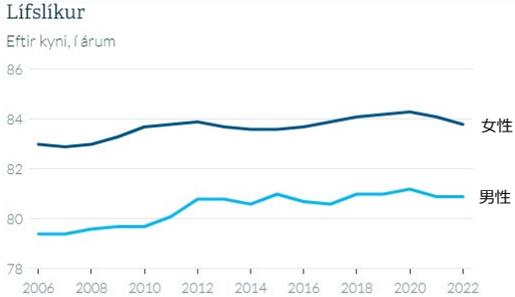
指標の活用方法

- 指標を基に、政策立案、予算決定への利用が提案されている

アイスランドのウェルビーイング指標 (Indicators for measuring well-being) ②

【社会】健康

平均寿命



メンタルヘルス

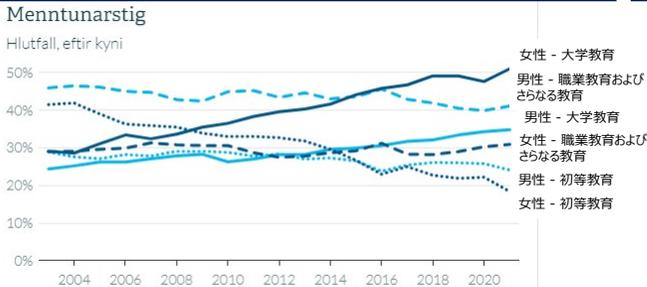


医療を拒否した人の割合

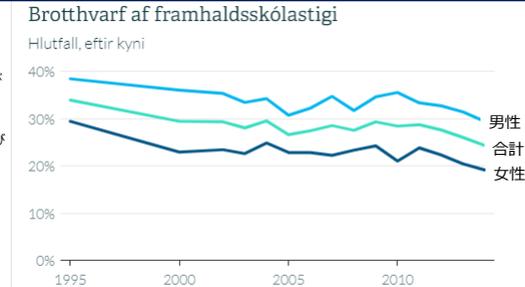


【社会】教育

教育レベル



中学校中退率



生涯学習

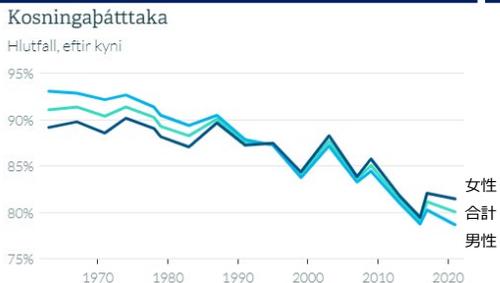


【社会】社会資本

他者への信頼



投資率



政治システムへの信頼

Traust til stjórnmalakerfisins
Eftir kyni
指標処理中

社会的支援

Stuðningur annarra
Hlutfall fólks sem hafði einhvern til að leita til þegar eitthvað bjátaði á
指標処理中

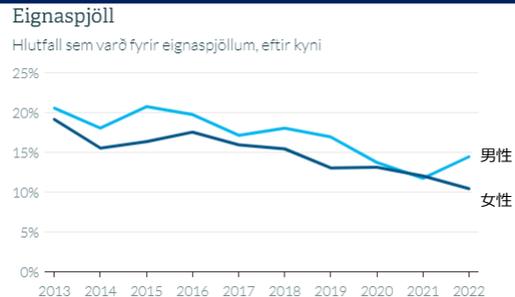
組織的なレジャー活動への参加

Hlutfall fólks sem hafði tekið þátt í formlegu félagsstarfi á undangengnum 12 mánuðum
指標処理中

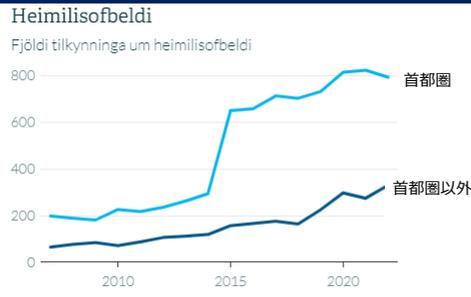
アイスランドのウェルビーイング指標 (Indicators for measuring well-being) ③

【社会】安全

物的損害



家庭内暴力



近隣のセキュリティ



【社会】ワークライフバランス

長時間労働



従来とは異なる労働時間

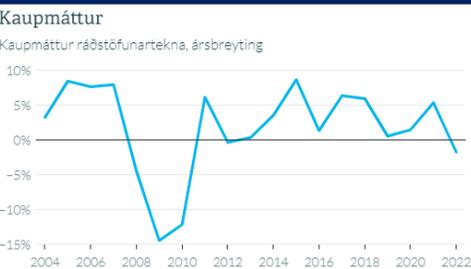


2つ以上の仕事

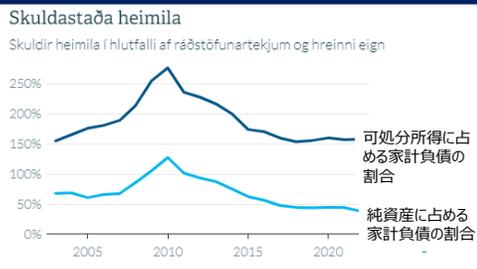


【経済】経済状況

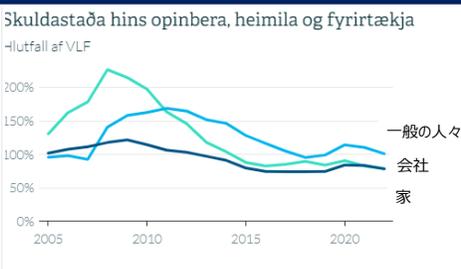
購買力



家計債務



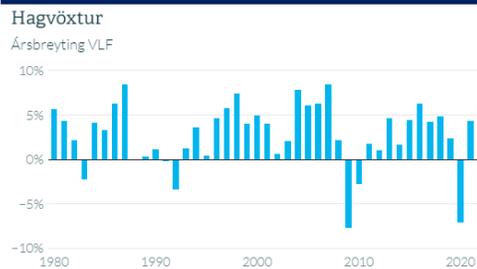
公共部門、民間部門、家計債務



物価水準の動向 (インフレ)



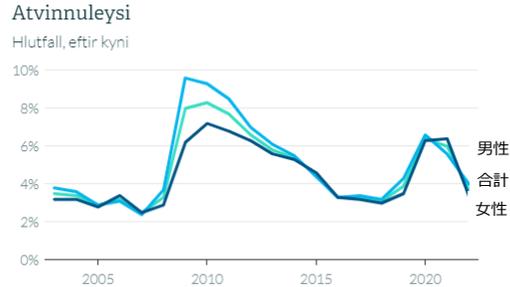
GDPと経済成長



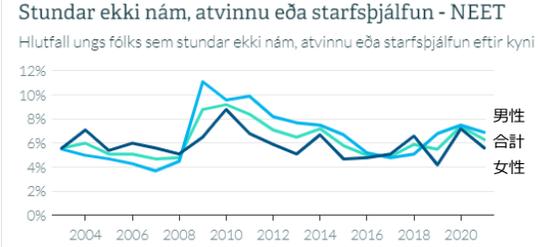
アイスランドのウェルビーイング指標 (Indicators for measuring well-being) ④

【経済】 雇用

失業



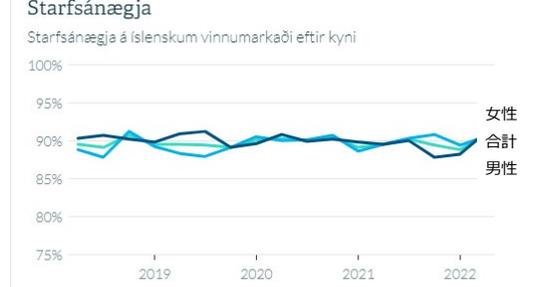
教育、雇用、訓練を受けていない (ニート)



参加率

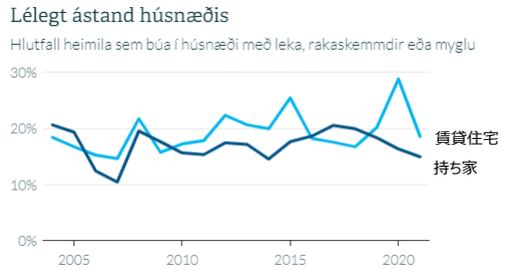


仕事の満足度



【経済】 住宅

住宅の品質

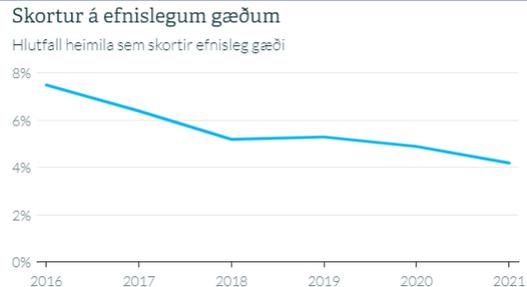


住宅費の負担

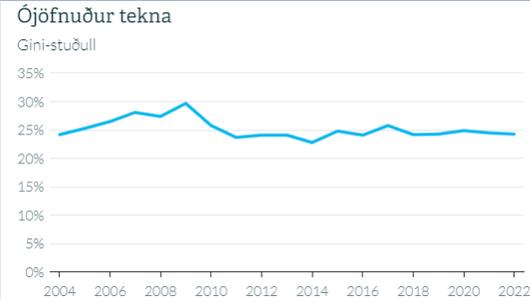


【経済】 収入

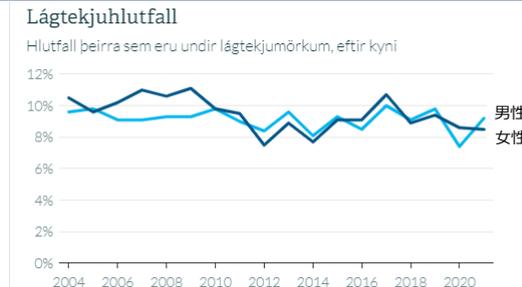
物質的な剥奪



所得格差(ジニ係数)



低所得比率



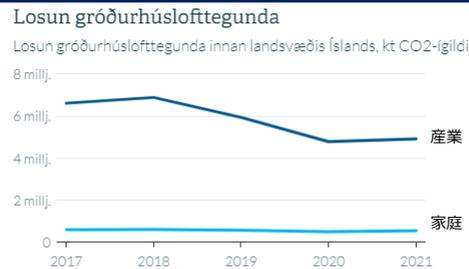
低所得が続いている

Viðvarandi lágar tekjur
指標処理中

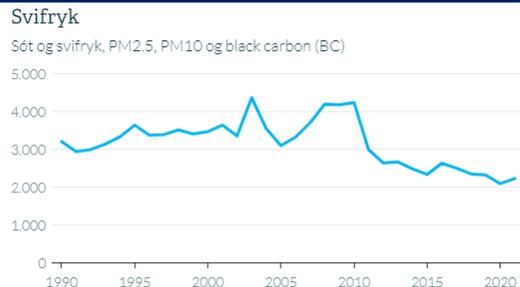
アイスランドのウェルビーイング指標 (Indicators for measuring well-being) ⑤

【エネルギー】 空気の状態

温室効果ガスの排出

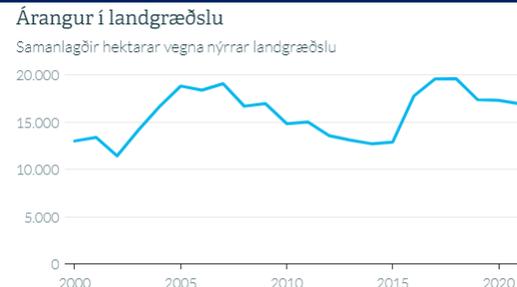


粒子状物質

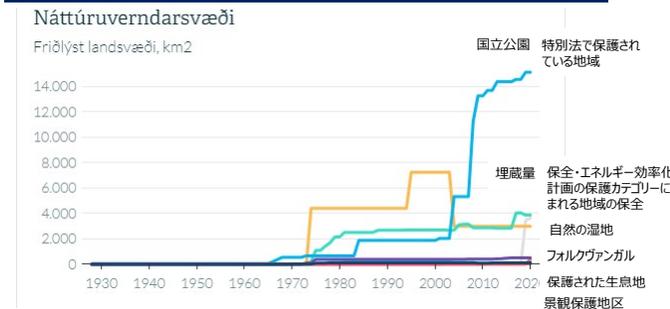


【エネルギー】 土地利用

埋立地の拡大

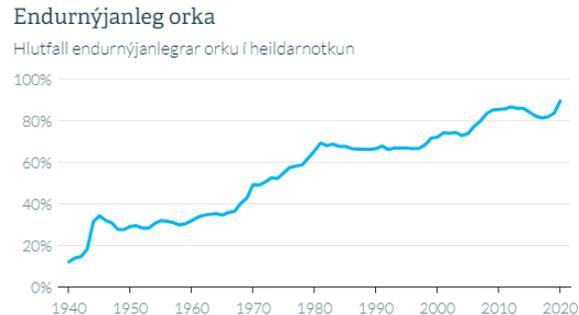


自然保護地域



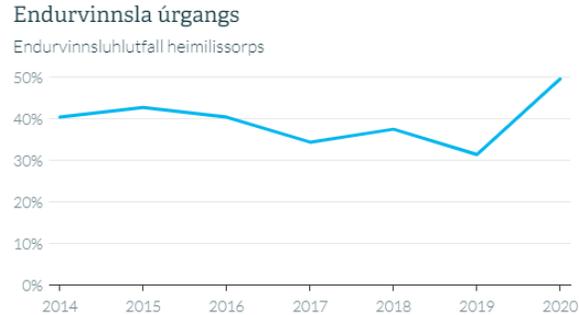
【エネルギー】 エネルギー

再生可能エネルギー



【エネルギー】 廃棄物とリサイクル

固形廃棄物のリサイクル率



家庭ごみの量



アイスランドのウェルビーイング指標 (Indicators for measuring well-being) ⑥

no.	分類	指標名	出所または調査主体	計測方法
1	【社会】 健康	平均寿命	アイスランド統計局	性別ごとの個人の平均寿命または平均寿命。
2		メンタルヘルス	保健局	幸福度スケール (スケール 7 ~ 35) で 31 ~ 35 点を獲得した成人の割合。
3		医療を拒否した人の割合	生活水準調査	男女別の医療を拒否した人の割合。「過去 12 か月間に、自分の健康のために医師、専門医、または同様の専門家による医療が必要であったにもかかわらず、受けなかったことがありましたか？」への回答として聴取。
4	【社会】 教育	教育レベル	労働市場調査	25 歳から 64 歳までの教育達成度。教育達成度は、国際標準教育分類 2011 (ISCED2011) に従って定義。
5		中学校中退率	アイスランド統計局	入学後 4 年以内に中等教育から中退した人の割合 (男女別)。
6		生涯学習	労働市場調査	過去 4 週間に何らかの生涯学習に参加した人 (25 ~ 64 歳) の割合 (男女別)。
7	【社会】 社会資本	他者への信頼	生活水準調査	男女別の 11 段階評価による市民同士の信頼度。
8		投資率	アイスランド統計局	選挙人名簿上の投票数に対する男女別の投票数の割合。
9		政治システムへの信頼	生活水準調査	政治システムに対する信頼度を性別ごとに 11 段階で評価。
10		社会的支援	生活水準調査	自宅以外に助けを求められる友人、隣人、親戚がいる人の割合
11		組織的な社会活動への参加	生活水準調査	過去 12 か月間に組織でボランティア活動を行った個人の割合 (男女別)。
12	【社会】 安全	財産への損害	犯罪統計	前年に財産被害を受けた割合。過去 1 年間に、家、住居、または私有地の窓が割られるなどの財産被害を経験したか。
13		家庭内暴力	犯罪統計	首都圏および首都圏外での家庭内暴力の報告件数。
14		地域環境における安全性	生活水準調査	近隣地域で犯罪を経験した人の割合 (男女別)。「あなたの家は、近隣地域での破壊行為、暴力、または違法行為により不便を感じていますか？」への回答として聴取
15	【社会】 ワークライフバランス	長時間労働	労働市場調査	週 49 時間以上働いている労働者の割合 (男女別)。
16		非標準労働時間	労働市場調査	男女別に、非標準労働時間で働いている労働者の割合。対象年齢は20~64歳、通常、夜間、夕方、土曜日、日曜日に働いていると回答した人。
17		2つ以上の仕事	労働市場調査	20 歳から 64 歳までアイスランドの労働市場において 2 つ以上の仕事に従事している労働者の割合 (男女別)。
18	【経済】 経済状況	購買力	所得分配会計	購買力平価による一人当たり可処分所得、前年同期と比較した相対的な変化で表示
19		家計債務	アイスランド統計局	可処分所得と純資産に対する家計負債の割合。
20		公共部門、家計、企業の債務状況	アイスランド統計局	公共部門、家計、企業の負債状況を国内総生産 (GDP) の割合で表したものの。
21		価格動向	アイスランド統計局	前年同期と比較した消費者物価指数の価格動向または年間変化。
22		経済成長	アイスランド統計局	四半期ごとの経済成長または国内総生産 (GDP) の年間変化。

アイスランドのウェルビーイング指標 (Indicators for measuring well-being) ⑥

no.	分類	指標名	出所または調査主体	計測方法
23	【経済】 雇用	失業	アイスランド統計局	対象年齢は16～74歳。アイスランドの労働力における失業者の割合（男女別）。
24		教育、雇用、訓練を受けていない（ニート）	労働市場調査	就労していない、または、調査前の過去 4 週間に、正式または非公式の教育や研修に参加していない。
25		就業率	労働市場調査	アイスランドの労働市場で雇用されている人の年間割合（男女別）。
26		仕事の満足度	労働市場調査	アイスランドの労働市場において、仕事に非常に満足している、またはある程度満足している従業員の割合（男女別）。
27	【経済】 住宅	劣悪な住宅環境	生活水準調査	住宅市場の状況別に、漏水、湿気による損傷、カビのある住宅に住んでいる世帯の割合。
28		住宅費の負担	生活水準調査	住宅市場の状況別に見た、住宅費が負担となっている世帯の割合。負担となる住宅費負担とは、世帯の可処分所得の 40% 以上を占める住宅費と定義されます
29	【経済】 収入	物質的な剥奪	アイスランド統計局	以下の3つ以上に当てはまる場合、その世帯は物質的資源が不足しているとみなされる。 <ul style="list-style-type: none"> ・過去12か月間に資金不足のため住宅ローンやその他のローンの返済を滞納したことがある。 ・家族で毎年1週間の休暇を取る余裕がない。 ・少なくとも1日おきに肉、魚、または同等のベジタリアン料理を食べることができない。予期せぬ出費に備えることができない。 ・固定電話や携帯電話を購入する余裕がない。 ・テレビを購入する余裕がない。 ・洗濯機を購入する余裕がない。 ・車を購入する余裕がない。 ・家を十分に暖かく保つ余裕がない。
30		所得格差(ジニ係数)	生活水準調査	所得のジニ係数
31		低所得比率	生活水準調査	低所得基準を下回る人の割合（男女別）。低所得基準は、各国の消費単位当たり可処分所得の中央値の 60% 未満。
32		低所得が続いている	-	指標作成中
33	【エネルギー】 空気の質と気候	温室効果ガスの排出	アイスランドの気候会計	アイスランド領土内の排出源別の温室効果ガス排出量
34		粒子状物質	アイスランド環境庁	火山噴火による排出物を除いた、すすおよび粒子状物質の総排出量。粗粒子状物質のサイズは2.5～10μm（PM10）で、微細粒子状物質のサイズは2.5μm未満（PM2.5）
35	【エネルギー】 土地利用	埋立地の拡大	土地管理・林業局	干拓による総ヘクタール数
36		自然保護地域	アイスランド環境庁	保護地域の面積
37	【エネルギー】 エネルギー	再生可能エネルギー	アイスランド統計局	総消費量に占める再生可能エネルギーの割合。
38	【エネルギー】 廃棄物とリサイクル	固形廃棄物のリサイクル率	アイスランド環境庁	アイスランドの家庭ごみのリサイクル率。ここでhあ、家庭からのごみだけでなく、店舗やサービスからのごみも指す
39		家庭ごみの量	アイスランド環境庁	アイスランドの家庭ごみのリサイクル率。ここでhあ、家庭からのごみだけでなく、店舗やサービスからのごみも指す

8. 内閣府の事例

内閣府のウェルビーイング指標 (満足度・生活の質を表す指標群(well-beingダッシュボード)) ①

概要

■骨太方針2017で「人々の幸福感・効用など、社会のゆたかさや生活の質（QOL）を表す指標群（ダッシュボード）の作成に向け検討を行い、政策立案への活用を目指す」ことが示された。

■これを受けて、内閣府で検討を開始、2019年7月に「満足度・生活の質を表す指標群（Well-beingダッシュボード）」を公表。

指標の特徴

■第1層に全体的な生活満足度（総合主観満足度）、第2層に分野別満足度、第3層に分野別満足度に関係の深い客観的指標群を置く3層構造。

■OECDのBetter Life Indexの9分野に「子育て」「介護」を加えた11分野を設定。

■指標の設定方法は以下のとおり。

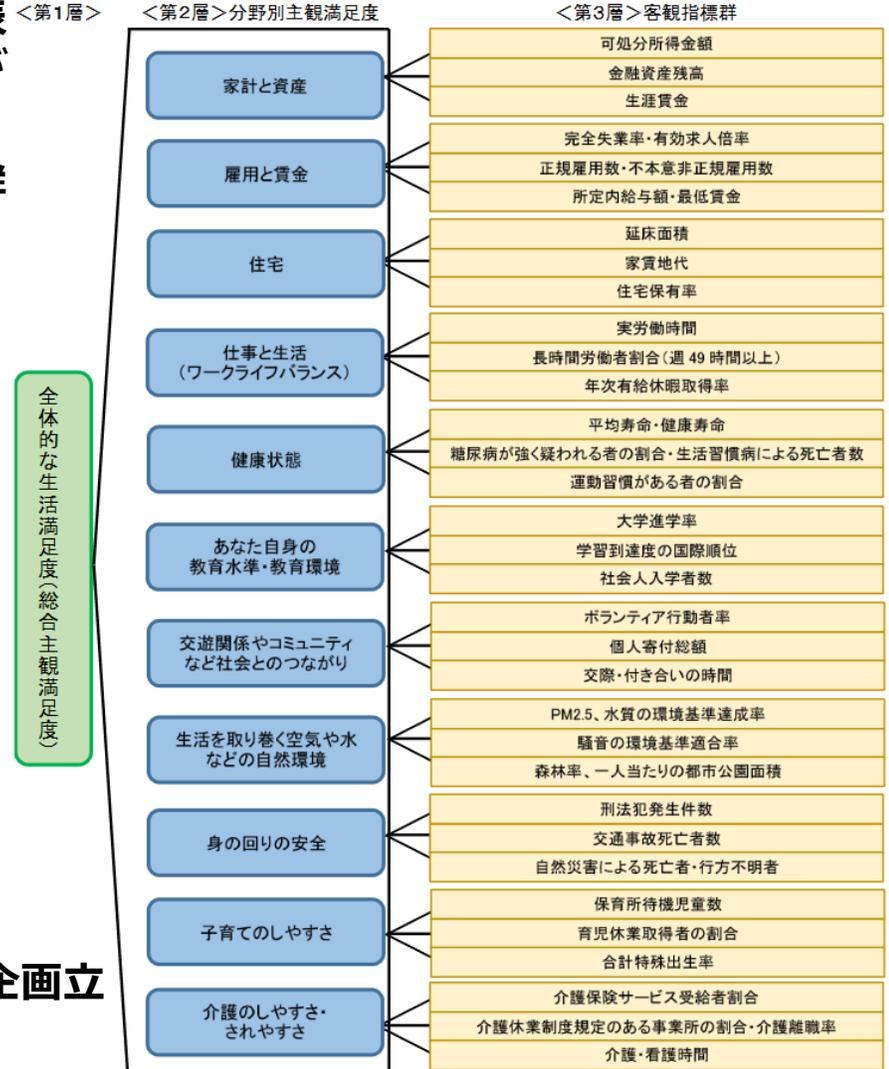
- ① アンケート調査（サンプル数約10,000）により全体的な生活満足度及び分野別満足度を聴取。
- ② 全体的な生活満足度と分野別満足度の関係について、統計的分析を実施。
- ③ 分野別満足度と客観的指標の関係について、統計的分析を実施。
- ④ 上記③で統計的に有意であった指標のみを抽出してダッシュボードの客観的指標群を設定。

指標の活用方法

■上記アンケート調査は、広く活用されることを目的として、簡易な手続きで研究者や政策企画立案者が個票データ（匿名化処理済み）を用いた統計分析に利用可能。

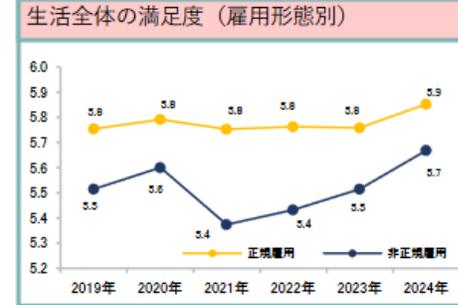
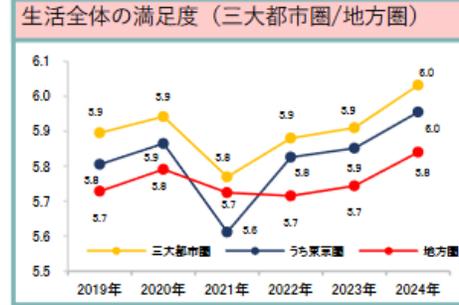
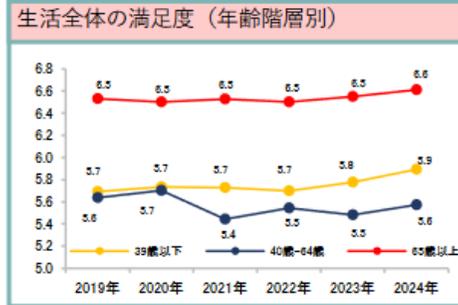
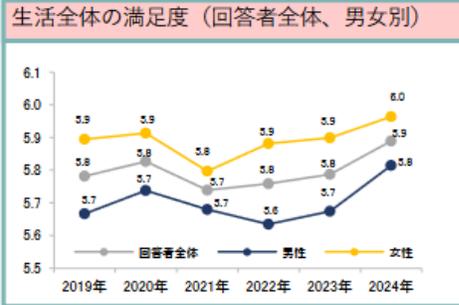
■回答のうち一部は継続サンプルのパネル調査として実施されており、アンケート結果をパネルデータとして利用することも可能。

ダッシュボードの体系図



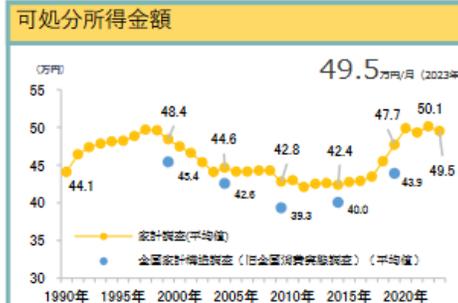
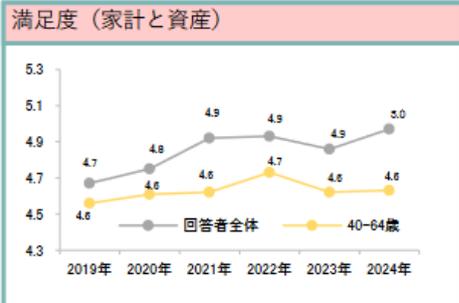
内閣府のウェルビーイング指標 (満足度・生活の質を表す指標群(well-beingダッシュボード)) ②

(1) 生活全体の満足度

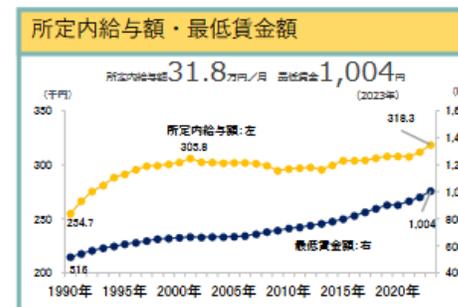
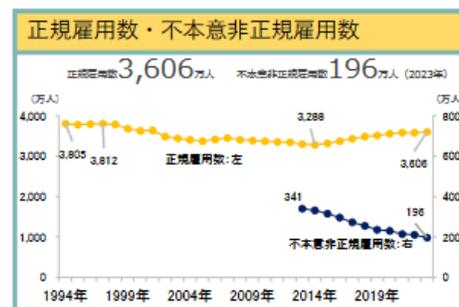
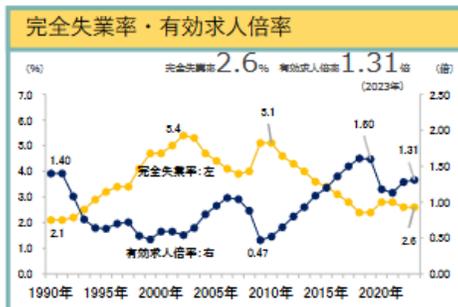
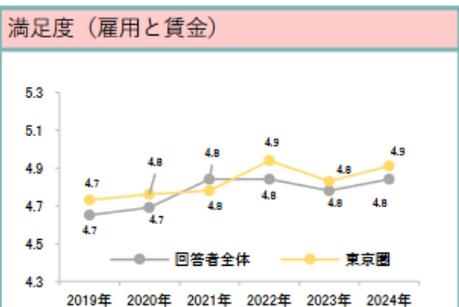


(2) 分野別の満足度・生活の質

家計と資産



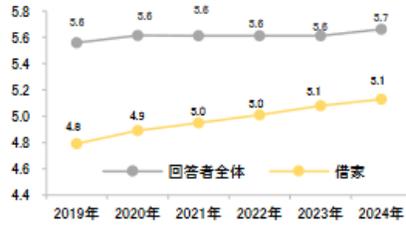
雇用と賃金



内閣府のウェルビーイング指標 (満足度・生活の質を表す指標群(well-beingダッシュボード)) ③

住宅

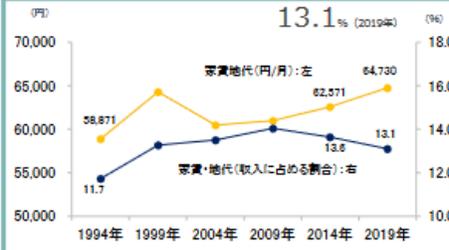
満足度 (住宅)



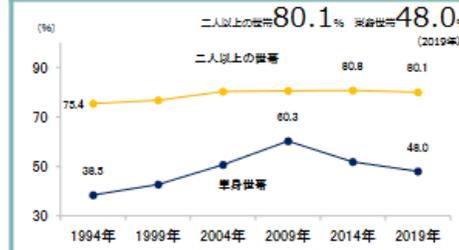
延床面積



家賃・地代 (収入に占める割合)



住宅保有率



仕事と生活 (ワークライフバランス)

満足度 (生活と仕事 (ワークライフバランス))



実労働時間 (一般労働者)



長時間労働者割合 (週49時間以上)



年次有給休暇取得率

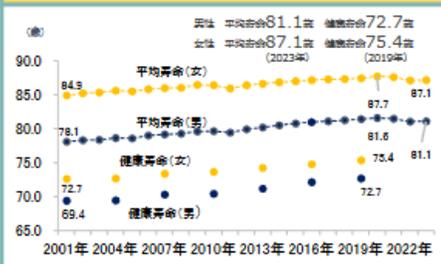


健康状態

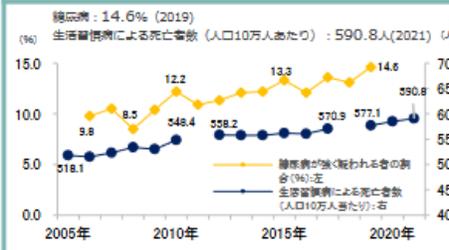
満足度 (健康状態)



平均寿命・健康寿命



糖尿病が強く疑われる者の割合、生活習慣病による死者数の推移



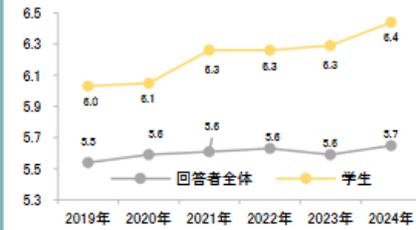
運動習慣がある者の割合



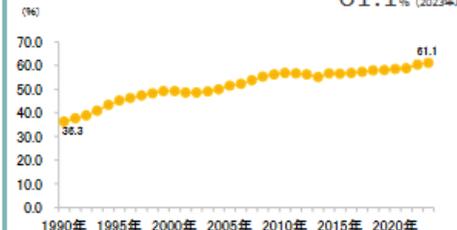
内閣府のウェルビーイング指標 (満足度・生活の質を表す指標群(well-beingダッシュボード)) ④

教育環境・教育水準

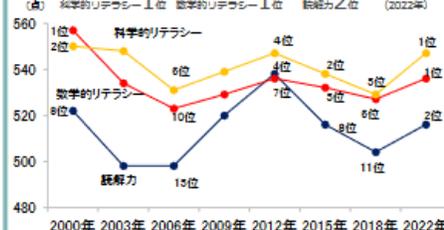
満足度 (教育環境・教育水準)



大学進学率



学習到達度の国際順位

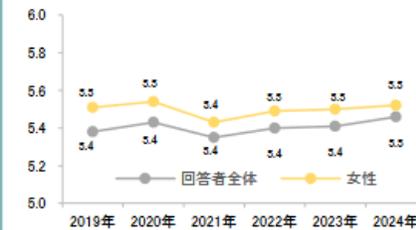


社会人入学者数 (大学・大学院)

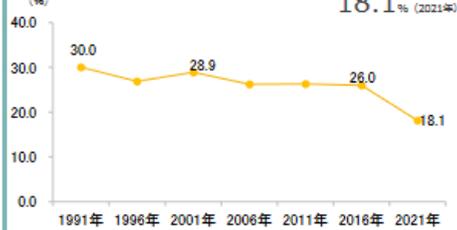


社会とのつながり

満足度 (社会とのつながり)



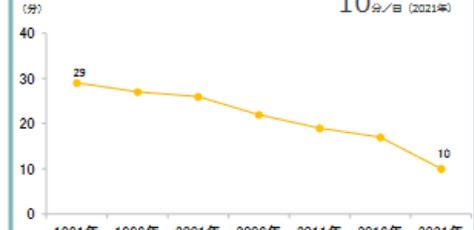
ボランティア行動者率



個人寄付総額

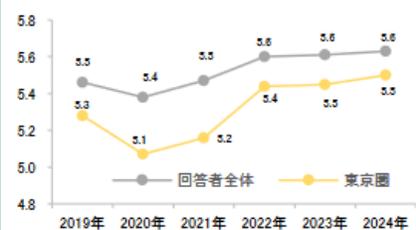


交際・付き合いの時間



自然環境

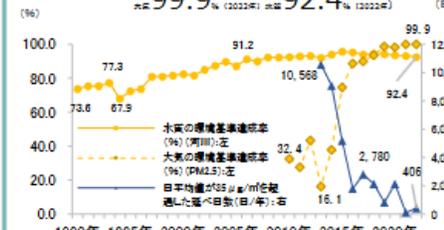
満足度 (自然環境)



騒音の環境基準適合率



微小粒子状物質 (PM2.5)、水質の環境基準達成率



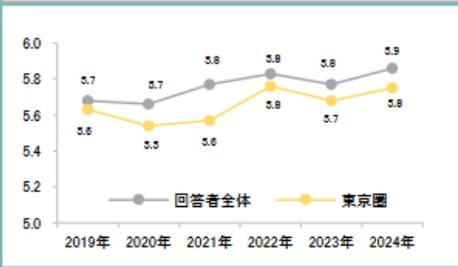
森林率、1人あたりの都市公園面積の推移



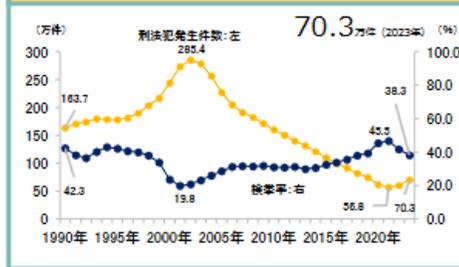
内閣府のウェルビーイング指標 (満足度・生活の質を表す指標群(well-beingダッシュボード)) ⑤

身の回りの安全

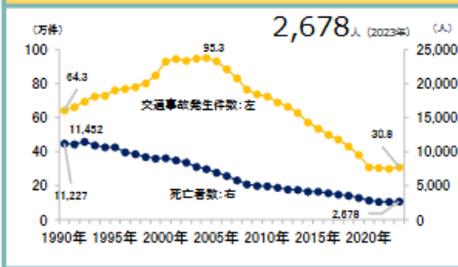
満足度 (身の周りの安全)



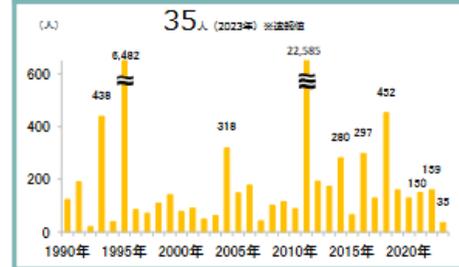
刑法犯発生件数 (認知件数)



交通事故死亡者数

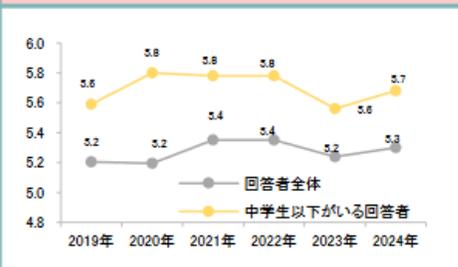


自然災害による死者・行方不明者数

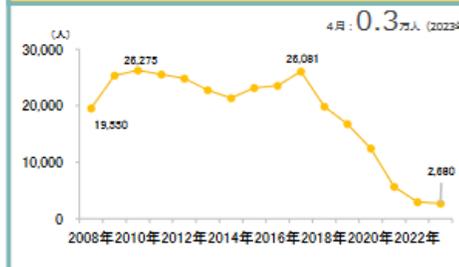


子育てのしやすさ

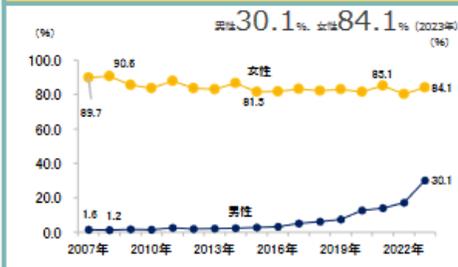
満足度 (子育てのしやすさ)



保育所待機児童数



育児休業取得者の割合

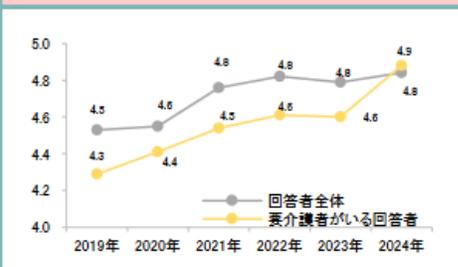


合計特殊出生率

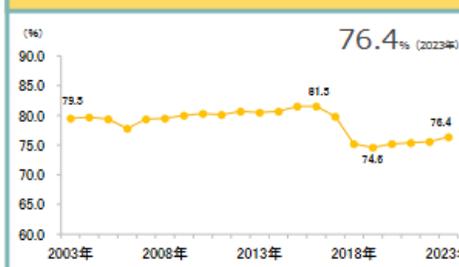


介護のしやすさ・されやすさ

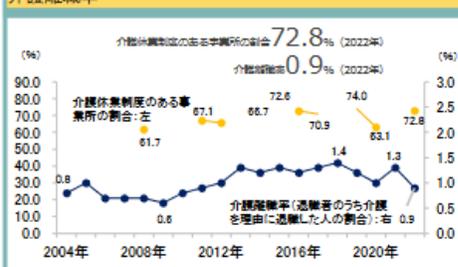
満足度 (介護のしやすさ・されやすさ)



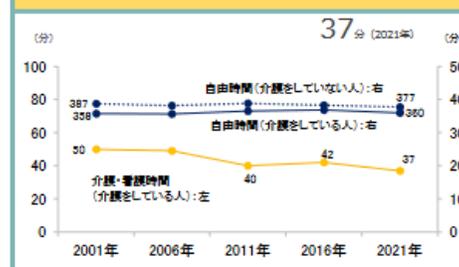
介護保険サービスの受給者の割合



介護休業制度の規定のある事業所の割合・介護離職率



介護・看護時間



内閣府のウェルビーイング指標 (満足度・生活の質を表す指標群(well-beingダッシュボード)) ⑤

no.	大分類	小分類	指標名	出所
1	生活全体の満足度		生活全体の満足度 (回答者全体、男女別)	内閣府 満足度・生活の質に関する調査
2			生活全体の満足度 (年齢階層別)	内閣府 満足度・生活の質に関する調査
3			生活全体の満足度 (三大都市圏/地方圏)	内閣府 満足度・生活の質に関する調査
4			生活全体の満足度 (雇用形態別)	内閣府 満足度・生活の質に関する調査
5	分野別の満足度・生活の質	家計と資産	満足度 (家計と資産)	内閣府 満足度・生活の質に関する調査
6			可処分所得	総務省「家計調査」
7			金融資産残高	日本銀行「家計の金融行動に関する世論調査」
8			生涯賃金	厚生労働省「賃金構造基本統計調査」
9		雇用と賃金	満足度 (雇用と賃金)	内閣府 満足度・生活の質に関する調査
10			完全失業率・有効求人倍率	総務省「労働力調査」厚生労働省「職業安定業務統計」
11			正規雇用数・不本意非正規雇用数	総務省「労働力調査」
12			所定内給与額・最低賃金額	厚生労働省「賃金構造基本統計調査」 「地域別最低賃金改定状況」
13		住宅	満足度 (住宅)	内閣府 満足度・生活の質に関する調査
14			延床面積	総務省「住宅・土地統計調査」
15			家賃・地代 (収入に占める割合)	総務省「全国消費実態調査」
16			住宅保有率	総務省「全国消費実態調査」
17		仕事と生活 (ワークライフバランス)	満足度 (生活と仕事 (ワークライフバランス))	内閣府 満足度・生活の質に関する調査
18			実労働時間 (一般労働者)	厚生労働省「毎月勤労統計」
19			長時間労働者割合 (週49時間以上)	総務省「労働力調査」
20			年次有給休暇取得率	厚生労働省「勤労条件総合調査」
21		健康状態	満足度 (健康状態)	内閣府 満足度・生活の質に関する調査
22			平均寿命・健康寿命	厚生労働省「簡易生命表」等
23			糖尿病が強く疑われる者の割合、生活習慣病による死亡者数の推移	厚生労働省「国民健康・栄養調査」
24			運動習慣がある者の割合	厚生労働省「国民健康・栄養調査」
25		教育環境・教育水準	満足度 (教育環境・教育水準)	内閣府 満足度・生活の質に関する調査
26			大学進学率	文部科学省「学校基本調査」
27			学習到達度の国際順位	OECD「学習到達度調査」
28			社会人入学者数 (大学・大学院)	文部科学省「社会人の学び直しに関する現状」

内閣府のウェルビーイング指標 (満足度・生活の質を表す指標群(well-beingダッシュボード)) ⑤

no.	大分類	小分類	指標名	出所
29	分野別の満足度・生活の質	社会とのつながり	満足度（社会とのつながり）	内閣府 満足度・生活の質に関する調査
30			ボランティア行動者率	総務省「社会生活基本調査」
31			個人寄付総額	NPO法人「ファンドレイジング」協会「寄付白書」
32			交際・付き合いの時間	総務省「社会生活基本調査」
33		自然環境	満足度（自然環境）	内閣府 満足度・生活の質に関する調査
34			騒音の環境基準適合率	環境省「騒音規制法等施行状況調査」
35			微小粒子状物質（PM2.5）、水質の環境基準達成率	環境省「大気汚染状況について」環境省「公共用水域水質測定結果」
36			森林率、1人あたりの都市公園面積の推移	林野庁「都道府県別森林率・人工林率」総務省「社会生活統計指標」
37		身の回りの安全	満足度（身の回りの安全）	内閣府 満足度・生活の質に関する調査
38			刑法犯発生件数（認知件数）	警察庁「犯罪統計」
39			交通事故死亡者数	警察庁「交通事故統計」
40			自然災害による死者・行方不明者数	内閣府「防災白書」
41		子育てのしやすさ	満足度（子育てのしやすさ）	内閣府 満足度・生活の質に関する調査
42			保育所待機児童数	厚生労働省「保育所待機児童数の現況」
43			育児休業取得者の割合	厚生労働省「雇用均等基本調査（事業所）」
44			合計特殊出生率	厚生労働省「人口動態調査」
45		介護のしやすさ・されやすさ	満足度（介護のしやすさ・されやすさ）	内閣府 満足度・生活の質に関する調査
46			介護保険サービスの受給者の割合	厚生労働省「介護給付費等実態統計」
47	介護休業制度の規定のある事業所の割合・介護離職率		厚生労働省「雇用均等基本調査（事業所）」	
48	介護・看護時間		総務省「社会生活基本調査」	

9. デジタル庁の事例

デジタル庁のウェルビーイング指標 (地域幸福度(Well-Being)指標) ①

概要

- 岸田政権では、令和4年6月7日に閣議決定した「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画」において、「デジタル田園都市国家構想」を重要な柱の一つとして位置づけた。「デジタル田園都市国家構想」では、**地域で暮らす人々の心ゆたかな暮らし（ウェルビーイング）の向上と、持続可能性の確保を目指している。**
- それを踏まえて、デジタル庁では、市民や事業者など様々な関係者が、「共通指標」として広く活用することを目的に令和4年度から地域幸福度（Well-Being）指標の開発・整備を行っている。

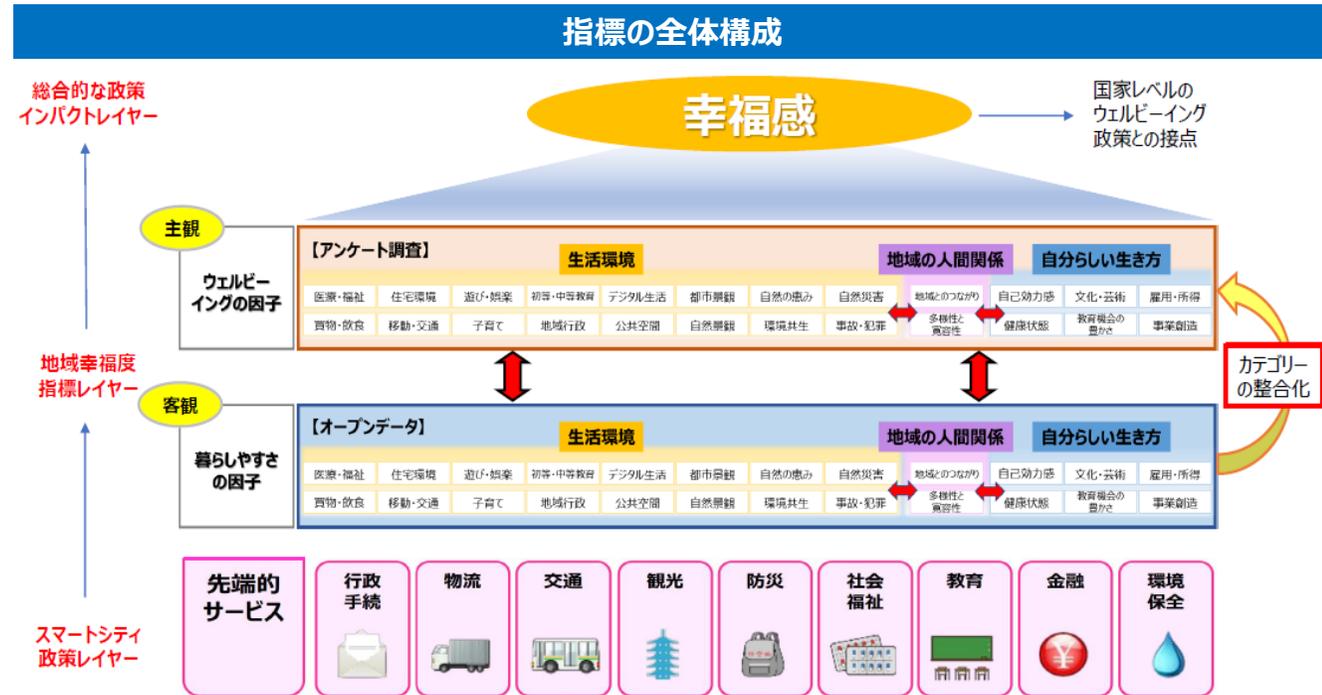
指標の特徴

全国の集計値

- 第1層に**全体的な幸福感（ウェルビーイング）**、第2層にその因子となる**分野別の主観的な「暮らしやすさ」の評価の2層構造。**
- 全体的な幸福感及び分野別の主観指標は、**アンケート調査**（令和6年度のサンプル数は101,498人）に基づいている。

地域別の指標

- 上記と同様に、第1層の**全体的な幸福感（ウェルビーイング）**、第2層の**分野別の主観的な「暮らしやすさ」の評価に加えて、地域別には第3層に客観的な「暮らしやすさ」の評価の3層構造。**
- 客観指標は**オープンデータ**から暮らしやすさを測定している。
- 主観指標と客観指標を同一の**カテゴリー（全24カテゴリー）**にすることで、因子間の関連から各自治体が注目すべき因子の抽出などの分析を可能としている。

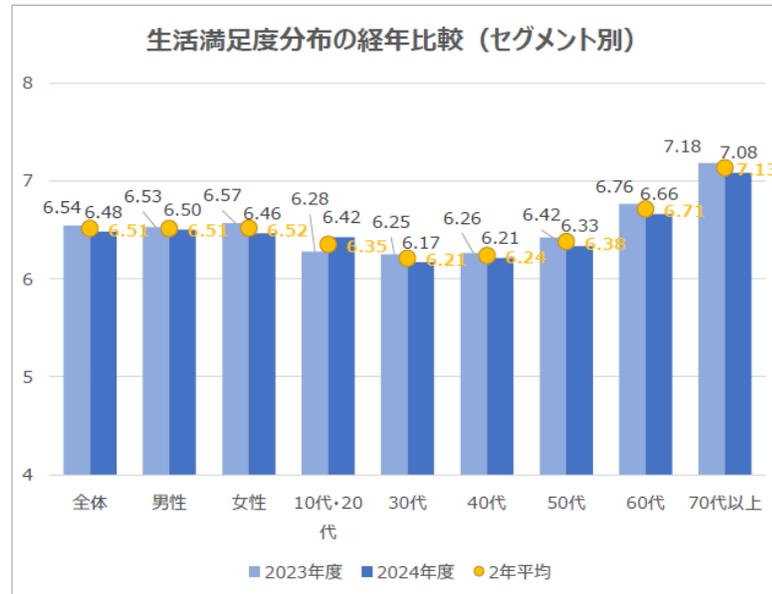
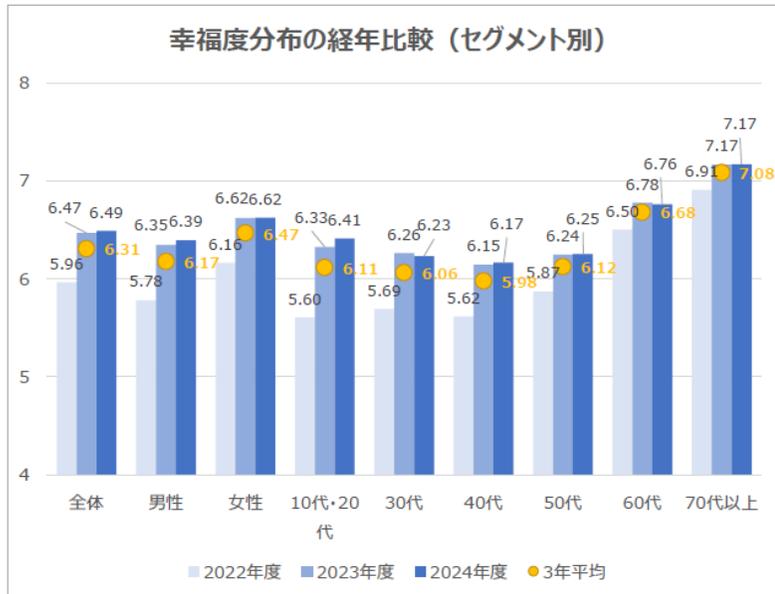


デジタル庁のウェルビーイング指標 (地域幸福度(Well-Being)指標) ②

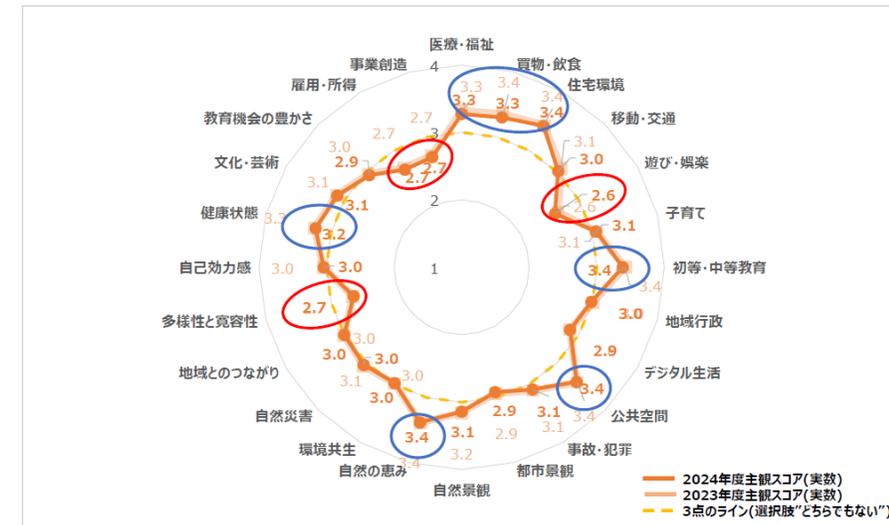
指標の活用方法

- 下図のように、全国の集計値による**幸福度・生活満足度の経年比較**や、**分野別の主観指標の経年比較**が可能である。
- 地域での活用については、デジタル庁が地域幸福度指標を活用したリファレンスロジックツリー（ロジックツリーの例）を作成し、各自治体のまちづくり施策の検討において、**主観と客観の両側面から評価するKPI指標の設定を提案**している。
- 実際に、自治体の総合計画などで地域幸福度指標を用いてウェルビーイングの視点を取り入れている事例がある。

幸福度・生活満足度の経年比較



分野別の主観指標の経年比較

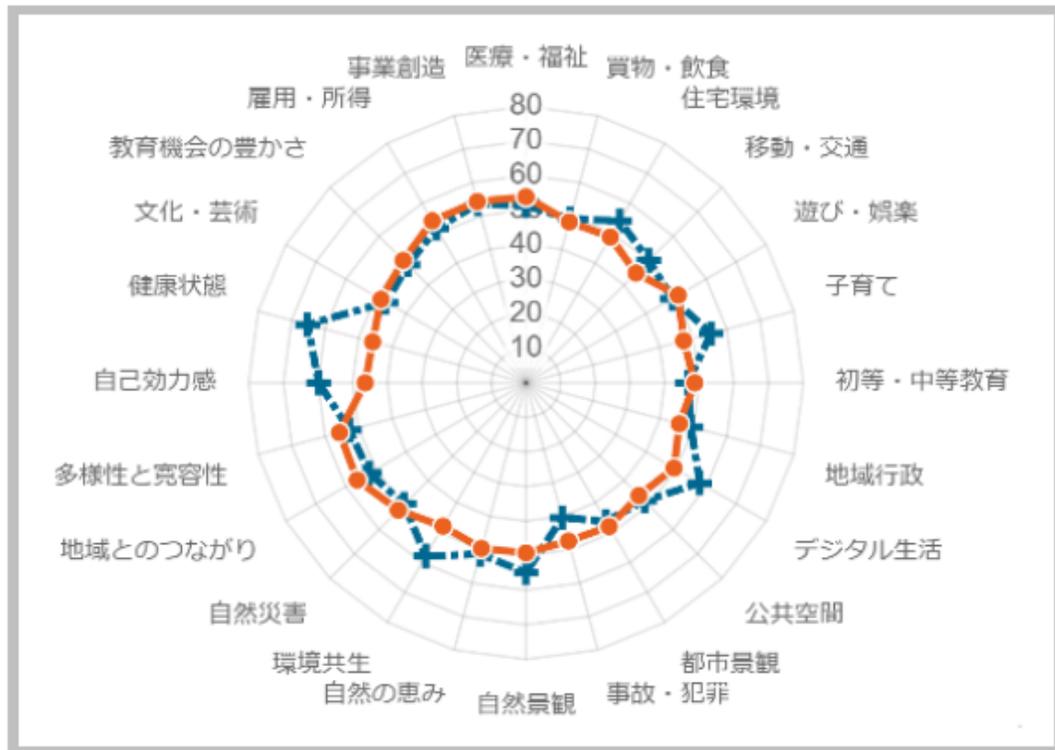


※個人の主観に関する質問は、以下のとおりである。
 「幸福度」：現在、あなたはどの程度幸せですか？
 「生活満足度」：現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか？
 「とても幸せ/満足」を10点、「とても不幸/不満」を0点とすると、何点くらいになると思いますか？

デジタル庁のウェルビーイング指標 (地域幸福度(Well-Being)指標) ③

地域幸福度 (Well Being) 指標の因子群とカテゴリー

- 地域幸福度指標は、地域における幸福度・生活満足度を計る4つの設問と、3つの因子群（生活環境、地域の人間関係、自分らしい生き方）から構成され、因子群は合計24のカテゴリーに細分化されている。
- 24のカテゴリー毎に、主観指標はアンケート設問、客観指標はKPIが設定されており、主観指標と客観指標ともに、データを偏差値化している。



橙色の線 = 主観評価、青色の線 = 客観評価

カテゴリー名称		
生活環境 (16)		地域の人間関係 (2)
医療・福祉	公共空間	地域とのつながり
買物・飲食	都市景観	多様性と寛容性
住宅環境	自然景観	自分らしい生き方 (6)
移動・交通	自然の恵み	自己効力感
遊び・娯楽	環境共生	健康状態
子育て	自然災害	文化・芸術
初等・中等教育	自己・犯罪	教育機会の豊かさ
地域行政		雇用・所得
デジタル生活		事業創造

デジタル庁のウェルビーイング指標 (地域幸福度(Well-Being)指標) ④

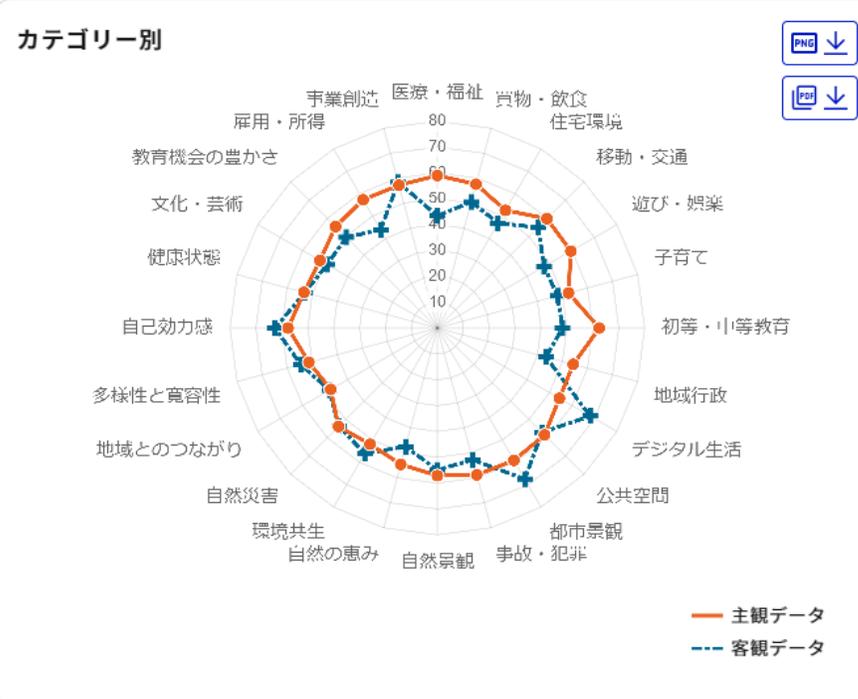
(例) 北海道 札幌市

本ダッシュボードは都道府県、市町村単位でのみ表示可能

1. 選択中の地域のアンケート回答者情報



2. カテゴリー別 (レーダーチャート)



カテゴリー別

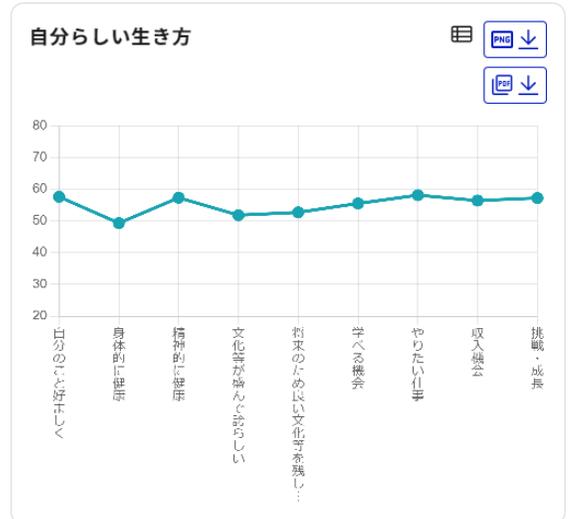
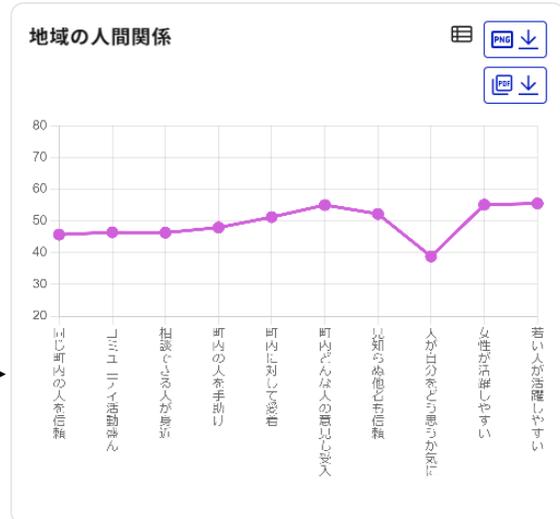
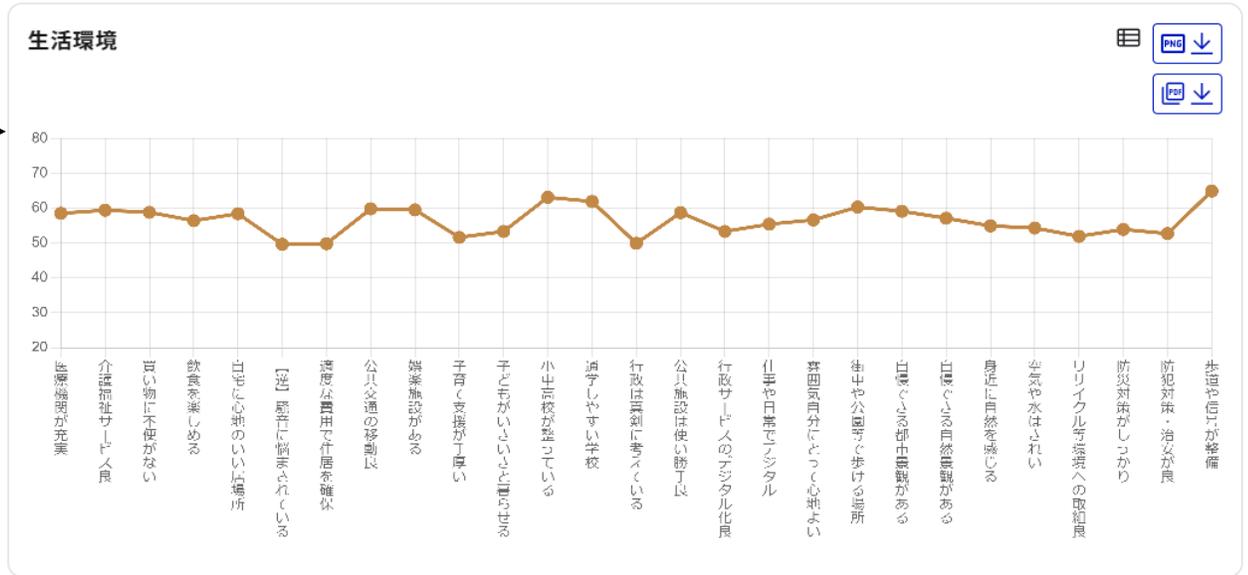
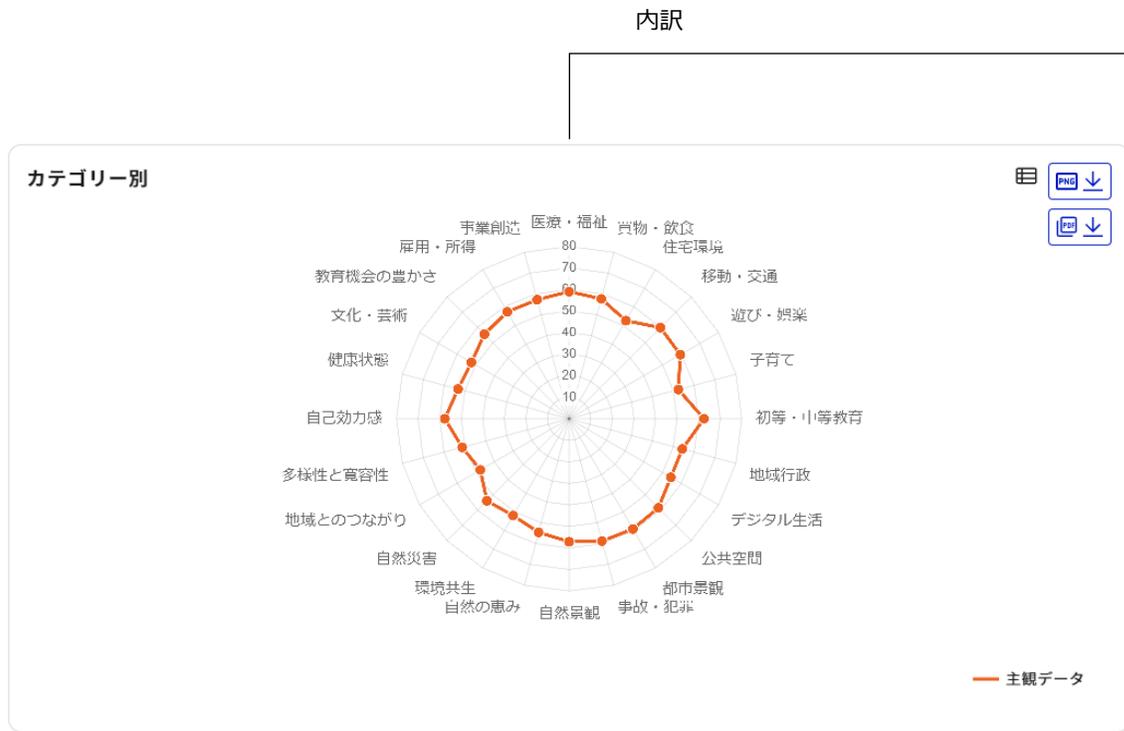
因子	主観	客観
医療・福祉	59.0	43.4
買物・飲食	57.6	50.5
住宅環境	52.6	46.9
移動・交通	59.8	55.0
遊び・娯楽	59.5	47.6
子育て	52.4	48.0
初等・中等教育	62.5	48.3
地域行政	54.3	43.4
デジタル生活	54.4	68.1
公共空間	58.5	57.1
都市景観	59.1	67.5
事故・犯罪	58.8	52.8
自然景観	57.1	54.9
自然の恵み	54.6	47.5
環境共生	51.9	56.0

デジタル庁のウェルビーイング指標 (地域幸福度(Well-Being)指標) ⑤

(例) 北海道 札幌市

3.主観指標 (アンケート)

本ダッシュボードは都道府県、市町村単位でのみ表示可能

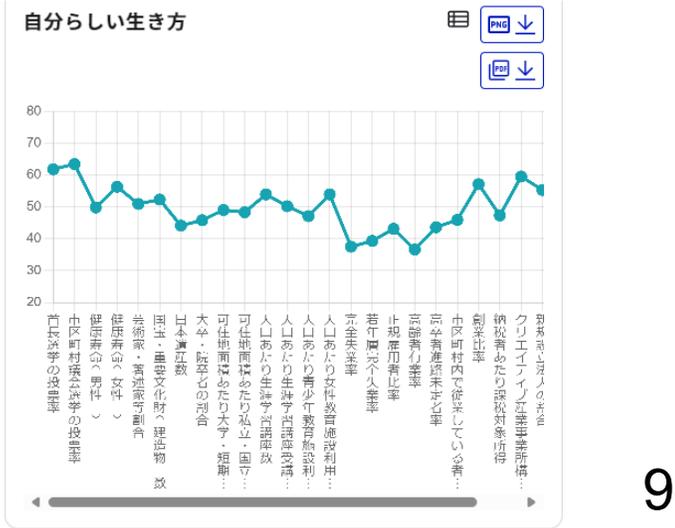
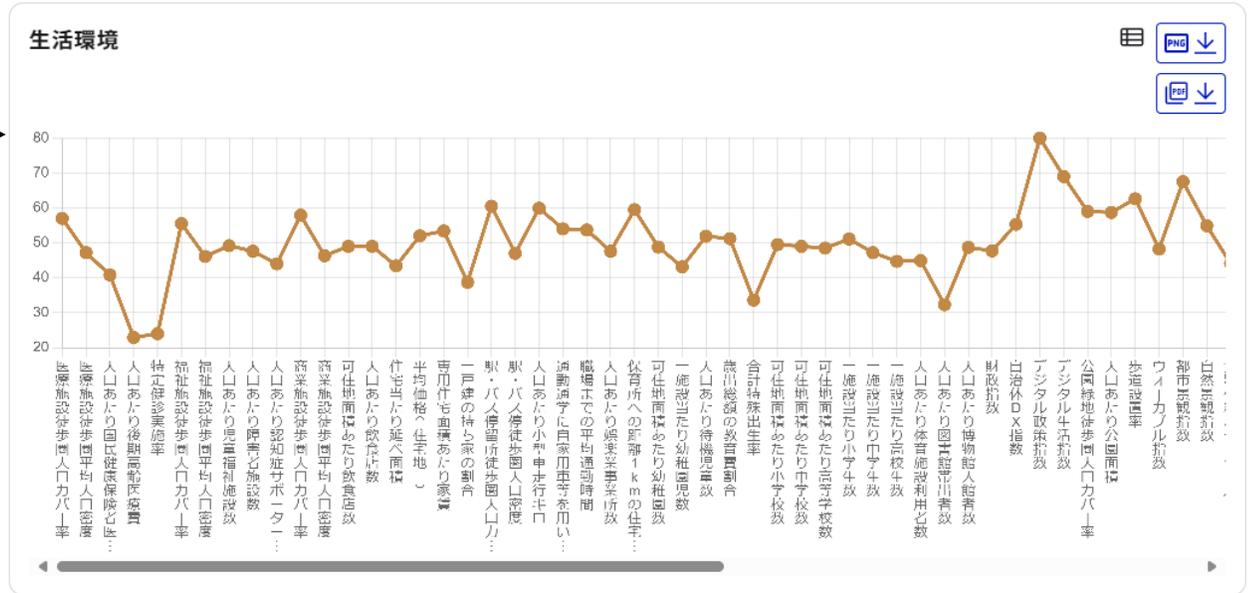
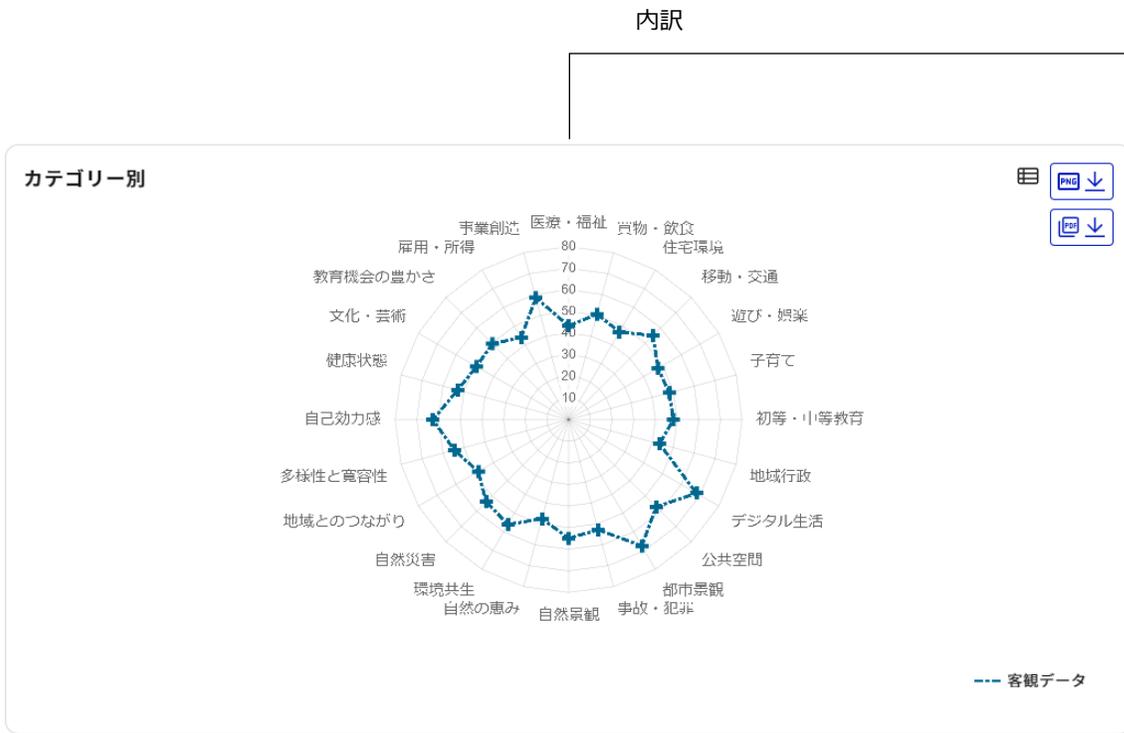


デジタル庁のウェルビーイング指標 (地域幸福度(Well-Being)指標) ⑥

(例) 北海道 札幌市

4.客観指標 (オープンデータ)

本ダッシュボードは都道府県、市町村単位でのみ表示可能

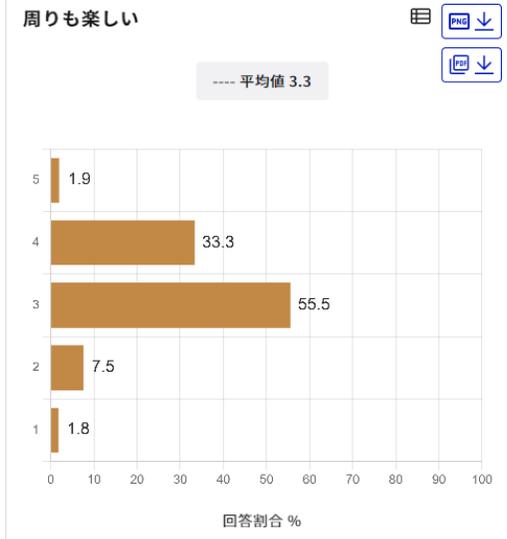
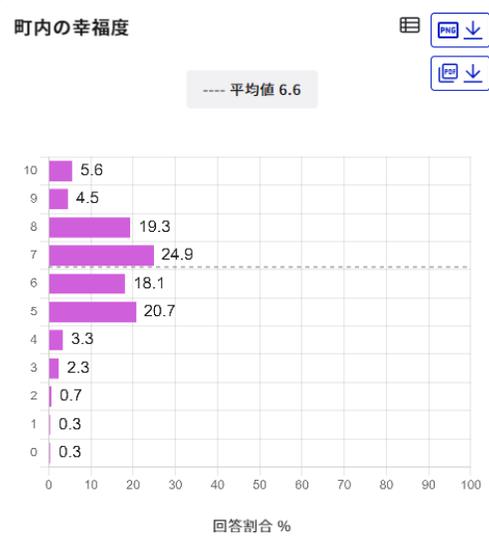
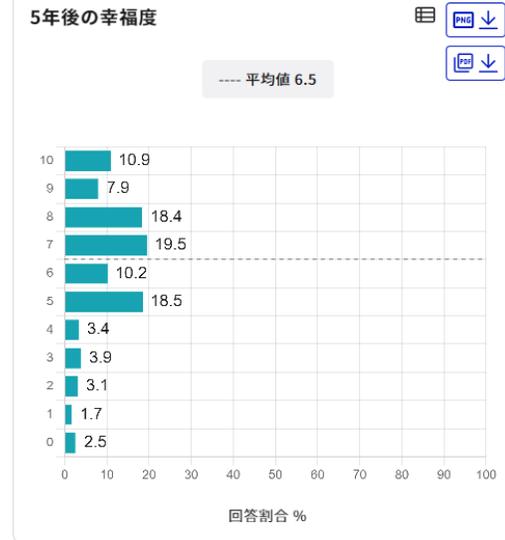
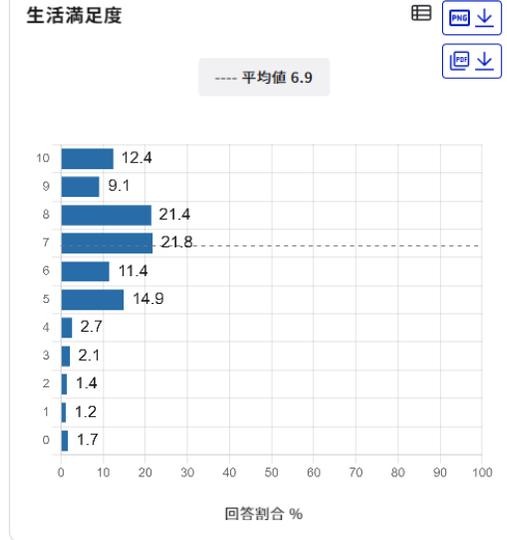
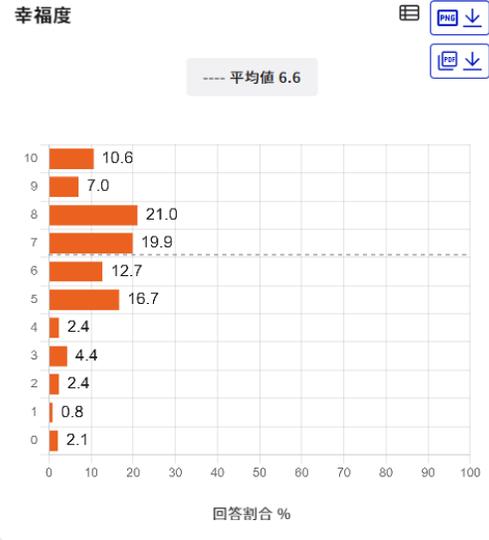


デジタル庁のウェルビーイング指標 (地域幸福度(Well-Being)指標) ⑦

(例) 北海道 札幌市

本ダッシュボードは都道府県、市町村単位でのみ表示可能

5.幸福度・生活満足度



デジタル庁のウェルビーイング指標 (地域幸福度(Well-Being)指標) ⑧

no.	主観/客観	因子群	分野	指標名	調査主体	調査方法
1	主観指標	地域における幸福度・生活満足度		現在、あなたはどの程度幸せですか？	一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「2024年度版(令和6年度版) Well-Being 全国調査」	アンケート調査で聴取
2				現在、あなたの町内（集落）の人々は、大体において、どれくらい幸せだと思いますか？	一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「2024年度版(令和6年度版) Well-Being 全国調査」	アンケート調査で聴取
3				現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか。	一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「2024年度版(令和6年度版) Well-Being 全国調査」	アンケート調査で聴取
4				自分だけでなく、身近な周りの人も楽しい気持ちでいると思う	一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「2024年度版(令和6年度版) Well-Being 全国調査」	アンケート調査で聴取
5		生活環境	医療・福祉	医療機関が充実している 介護・福祉施設のサービスが受けやすい	一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「2024年度版(令和6年度版) Well-Being 全国調査」	アンケート調査で聴取
6			買物・飲食	日常の買い物に全く不便がない 飲食を楽しめる場所が充実している	一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「2024年度版(令和6年度版) Well-Being 全国調査」	アンケート調査で聴取
7			住宅環境	自宅には、心地よい居場所がある 【逆】自宅の周辺では、騒音に悩まされている 適度な費用で住居を確保できる	一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「2024年度版(令和6年度版) Well-Being 全国調査」	アンケート調査で聴取
8			移動・交通	公共交通機関で好きな時に好きなところへ移動ができる	一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「2024年度版(令和6年度版) Well-Being 全国調査」	アンケート調査で聴取
9			遊び・娯楽	楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある	一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「2024年度版(令和6年度版) Well-Being 全国調査」	アンケート調査で聴取
10			子育て	子育て支援・補助が手厚い 子どもたちがいきいきと暮らせる	一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「2024年度版(令和6年度版) Well-Being 全国調査」	アンケート調査で聴取
11			初等・中等教育	教育環境（小中高校）が整っている 通学しやすい場所に学校がある	一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「2024年度版(令和6年度版) Well-Being 全国調査」	アンケート調査で聴取
12			地域行政	地域の行政は、地域のことを真剣に考えている 公共施設は使い勝手良く便利である	一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「2024年度版(令和6年度版) Well-Being 全国調査」	アンケート調査で聴取

全国の指標は、指標の偏差値を分野ごとに単純平均した値のみが表示される

デジタル庁のウェルビーイング指標 (地域幸福度(Well-Being)指標) ⑨

no.	主観/客観	因子群	分野	指標名	調査主体	調査方法		
13	客観指標	生活環境	デジタル生活	行政サービスのデジタル化が進んでいる 仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすい	一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「2024年度版(令和6年度版) Well-Being 全国調査」	アンケート調査で聴取		
14			公共空間	地域の雰囲気は、自分にとって心地よい まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある	一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「2024年度版(令和6年度版) Well-Being 全国調査」	アンケート調査で聴取		
15			都市景観	自慢できる都市景観がある	一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「2024年度版(令和6年度版) Well-Being 全国調査」	アンケート調査で聴取		
16			事故・犯罪	防犯対策（交番・街灯・防犯カメラ・住民の見守り等）が整っており、治安がよい 歩道や信号が整備されていて安心である	一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「2024年度版(令和6年度版) Well-Being 全国調査」	アンケート調査で聴取		
17			自然景観	自慢できる自然景観がある	一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「2024年度版(令和6年度版) Well-Being 全国調査」	アンケート調査で聴取		
18			自然の恵み	身近に自然を感じることができる 暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる	一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「2024年度版(令和6年度版) Well-Being 全国調査」	アンケート調査で聴取		
19			環境共生	リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取り組みが盛んである	一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「2024年度版(令和6年度版) Well-Being 全国調査」	アンケート調査で聴取		
20			自然災害	暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている。	一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「2024年度版(令和6年度版) Well-Being 全国調査」	アンケート調査で聴取		
21			主観指標	地域の人間関係	地域とのつながり	私は同じ町内に住む人々を信頼している 地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである 困ったときに相談できる人が身近にいる 町内の人が困っていたら手助けする このまちに愛着を持っている	一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「2024年度版(令和6年度版) Well-Being 全国調査」	アンケート調査で聴取
22					多様性と寛容性	町内にはどんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある 私は見知らぬ他者であっても信頼する 私は、町内（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる 女性が活躍しやすい 若者が活躍しやすい	一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「2024年度版(令和6年度版) Well-Being 全国調査」	アンケート調査で聴取
23	自分らしい生き方	自己効力感		自分のことを好ましく感じる	一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「2024年度版(令和6年度版) Well-Being 全国調査」	アンケート調査で聴取		
24		健康状態		身体的に健康な状態である 精神的に健康な状態である	一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「2024年度版(令和6年度版) Well-Being 全国調査」	アンケート調査で聴取		
25		文化・芸術		文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい 将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい	一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「2024年度版(令和6年度版) Well-Being 全国調査」	アンケート調査で聴取		
26		教育機会の豊かさ		学びたいことを学べる機会がある	一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「2024年度版(令和6年度版) Well-Being 全国調査」	アンケート調査で聴取		
27		雇用・所得		やりたい仕事を見つけやすい 適切な収入を得るための機会がある	一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「2024年度版(令和6年度版) Well-Being 全国調査」	アンケート調査で聴取		
28		事業創造		新たなことに挑戦・成長するための機会がある	一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「2024年度版(令和6年度版) Well-Being 全国調査」	アンケート調査で聴取		

全国の指標は、指標の偏差値を分野ごとに単純平均した値のみが表示される

デジタル庁のウェルビーイング指標 (地域幸福度(Well-Being)指標) ⑩

no.	主観/客観	因子群	分野	指標名	調査主体	調査方法
29	客観指標	生活環境	医療・福祉	特定健康診断受診率	厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導に関するデータ」	-
30				スポーツ行動者率	総務省「社会生活基本調査」	-
31				喫煙率 (-)	厚生労働省「国民生活基礎調査」	-
32				人口あたり生活習慣病受療者数 (-)	厚生労働省「患者調査」	-
33				人口あたり気分障害(うつ病)受療者数 (-)	厚生労働省「患者調査」	-
34				可住地面積あたり医療施設数	厚生労働省「医療施設調査」	-
35				人口あたり医療施設数	厚生労働省「医療施設調査」	-
36				人口あたり産科・産婦人科医師数	厚生労働省「医療施設調査」	-
37				人口あたり児童福祉施設数	厚生労働省「社会福祉施設等調査」、総務省「令和2年国勢調査」	-
38				人口あたり障害者支援施設数	厚生労働省「社会福祉施設等調査」、総務省「令和2年国勢調査」	-
39				可住地面積あたり介護施設数	厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」	-
40				人口あたり介護施設数	厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」	-
41				人口あたりホームヘルパー数	厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」	-
42				買物・飲食	可住地面積あたり小売店舗数	経済産業省「経済センサス-活動調査」
43			人口あたり小売店舗数		経済産業省「経済センサス-活動調査」	-
44			可住地面積あたりコンビニエンスストア数		経済産業省「経済センサス-活動調査」	-
45			人口あたりコンビニエンスストア数		経済産業省「経済センサス-活動調査」	-
46			住宅環境	平均価格(住宅地) (-)	国土交通省「都道府県地価調査」	-
47				一戸建の持ち家の割合	総務省「住宅・土地統計調査」	-
48			移動・交通	可住地面積あたり駅・バス停数	国土交通省「国土数値情報ダウンロードサービス」	-
49				人口あたり駅・バス停数	国土交通省「国土数値情報ダウンロードサービス」	-
50				職場までの平均通勤時間 (-)	総務省「住宅・土地統計調査」	-
51				道路整備率	国土交通省HP「道路統計年鑑」	-
52			遊び・娯楽	余暇時間	総務省「社会生活基本調査」	-
53				教養・娯楽サービス支出	総務省「家計調査」	-
54				可住地面積あたり映画館数	一般社団法人日本映画製作者連盟「全国スクリーン数」	-

全国の指標は、指標の偏差値を分野ごとに単純平均した値のみが表示される

デジタル庁のウェルビーイング指標 (地域幸福度(Well-Being)指標) ⑪

no.	主観/客観	因子群	分野	指標名	調査主体	調査方法
55	客観指標	生活環境	子育て	保育所まで1km未満の住宅割合	総務省「住宅・土地統計調査」	-
56				可住地面積あたり地域子育て支援拠点箇所数	厚生労働省「地域子育て支援拠点事業実施状況」	-
57				学童保育設置率	厚生労働省「放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の実施状況」	-
58				歳出総額における教育費の構成比	総務省「地方財政状況調査」	-
59				人口あたり待機児童数 (-)	厚生労働省「保育所等関連状況取りまとめ（令和4年4月1日）」	-
60				合計特殊出生率	厚生労働省「人口動態統計特殊報告」	-
61				可住地面積あたり小学校数	文部科学省「学校基本調査」、総務省「社会・人口統計体系」	-
62			可住地面積あたり中学校数	文部科学省「学校基本調査」、総務省「社会・人口統計体系」	-	
63			可住地面積あたり高等学校数	文部科学省「学校基本調査」、総務省「社会・人口統計体系」	-	
64			施設あたり小学生数 (-)	文部科学省「学校基本調査」	-	
65			施設あたり中学生数 (-)	文部科学省「学校基本調査」	-	
66			施設あたり高校生数 (-)	文部科学省「学校基本調査」	-	
67			教員一人あたりの児童生徒数 (-)	文部科学省「学校基本調査」	-	
68			遠隔教育実施率	文部科学省「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」	-	
69			初等・中等教育	小中学生の自己肯定感	文部科学省「全国学力・学習状況調査」	-
70				小中学生の自ら学ぶ態度	文部科学省「全国学力・学習状況調査」	-
71				自分の考えを深める学生	文部科学省「全国学力・学習状況調査」	-
72				将来に目標を持つ学生	文部科学省「全国学力・学習状況調査」	-
73				子どものチャレンジ率	文部科学省「全国学力・学習状況調査」	-
74				進んで助ける学生	文部科学省「全国学力・学習状況調査」	-
75				子供の体力・運動能力水準以上	スポーツ庁「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」	-
76				学力水準	文部科学省「全国学力・学習状況調査」	-
77				不登校児童数 (-)	文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」	-
78				地域行政	人口あたり図書館帯出者数	文部科学省「社会教育調査」
79			人口あたり博物館入館者数		文部科学省「社会教育調査」	-
80			人口あたり体育施設利用者数		文部科学省「社会教育調査」	-

デジタル庁のウェルビーイング指標 (地域幸福度(Well-Being)指標) ⑫

no.	主観/客観	因子群	分野	指標名	調査主体	調査方法	
81	客観指標	生活環境	地域行政	地域財政指数	総務省「都道府県決算状況調」	財政力指数、経常収支比率、実質交際費比率、将来負担比率の偏差値の平均値	
82				自治体DX指数	総務省HP「自治体DX・情報化推進概要」	KPI に該当する自治体は1点、しない自治体は0点を配点。カテゴリー（「自治体DXの推進体制等」等）ごとに平均値を算出。カテゴリーの合計を指数として採用	
83				デジタル生活	デジタル政策指数	国土交通省HP「Project PLATEAU」 地方版IoT推進ラボ デジタル庁HP「オープンデータ取組自治体一覧」 総務省HP「令和3年度「課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証」に係る実証提案の公募の結果」 経済産業省HP「スマートシティ関連事業の選定結果」 総務省HP「マイナンバー制度とマイナンバーカード」 総務省統計局HP「令和2年国勢調査の概要」 国土交通省HP「地域交通共創モデル実証プロジェクト」 内閣府HP「Digi田甲子園」 内閣府HP「デジタル田園都市国家構想」	【以下のKPIの合計】 国土交通省Plateauの対象都市 地方版IoT推進ラボの有無 自治体オープンデータの有無 ローカル5G開発実証事業採択の有無 スマートシティ合同審査結果 マイナンバーカード取得率 国勢調査ネット回答率 共創モデル実証プロジェクト Digi田甲子園採択自治体 デジタル田園都市国家構想交付金採択自治体
84				デジタル生活	デジタル生活指数	「Code for Japan」のHP内「Brigadeネットワーク参加団体」 「FabLab Japan」のHP内「FabLabs in Japan」 「CoderDojo Japan」のHP内「日本各地の道場」 文部科学省「超スマート社会における情報教育の在り方に関する調査研究」 文部科学省HP内「関係機関リンク集」>「国公立立高等専門学校」 キャリア4社HPをもとにSCI-Jが独自集計。人口は総務省「令和2年国勢調査」	【以下のKPIの合計】 Code forの団体の有無 ファブラボの有無 CoderDojoの有無 大学のICT関連学部の有無 高等専門学校の有無 人口あたり通信キャリア店舗数
85				公共空間	可住地面積あたり都市公園数	総務省「公共施設状況調査」	-
86					人口あたり都市公園数	総務省「公共施設状況調査」	-
87					可住地面積あたり市民農園面積	農林水産省「市民農園開設状況一覧」	-
88					ウォーカブル指数	国土交通省「ウォーカブル推進都市一覧」 国土交通省都市局まちづくり推進課滞在快適性等向上区域の設定実績※令和2年10月末時点 国土交通省「自転車活用推進計画」	【以下のKPIの合計】 ウォーカブル推進都市 ウォーカブル推進都市のうち) 滞在快適性等向上区域を設定している自治体 「地方版自転車活用推進計画」の有無
89					都市景観	都市景観指数	国土交通省「都市景観大賞」において「都市空間部門」の「大賞」、「特別賞」、「優秀賞」を受賞した地区の市区町村 景観行政ネットHP「景観法に基づく景観条例等一覧」 国土交通省「景観法の施行状況（令和6年3月31日時点）」 国土交通省「景観法の施行状況（令和6年3月31日時点）」
90				事故・犯罪	人口あたり交通事故件数 (-)	交通事故件数「政府統計ポータルサイト」 総務省「令和2年国勢調査」	-
91					人口あたり刑法犯認知件数 (-)	警察庁「刑法犯に関する統計資料」 総務省「令和2年国勢調査」	-

全国の指標は、指標の偏差値を分野ごとに単純平均した値のみが表示される

デジタル庁のウェルビーイング指標 (地域幸福度(Well-Being)指標) ⑬

no.	主観/客観	因子群	分野	指標名	調査主体	調査方法
92	客観的指標	生活環境	自然景観	自然景観指数	環境省「国立公園一覧」、「国定公園一覧」をもとにSCI-Jによる独自集計 農林水産省「美しい日本のむら景観百選一覧」 国土交通省「景観法の施行状況（令和3年3月31日時点）」 文化庁「文化的景観」	【以下のKPIの合計】 国立・国定・都道府県立公園の有無 「美しい日本のむら景観百選一覧」 景観重要樹木の有無 重要文化的景観
93			自然の恵み	食料生産ポテンシャル	総合地球環境学研究所Eco-DRRプロジェクト（2023）J-ADRES：自然の恵みと災いからとらえる土地利用総合評価	水田・畑地・その他の農地面積
94				水供給ポテンシャル	総合地球環境学研究所Eco-DRRプロジェクト（2023）J-ADRES：自然の恵みと災いからとらえる土地利用総合評価	地表に降った雨が集水域を流れ下る場所に到達する、潜在的な水供給量。
95				木材供給ポテンシャル	総合地球環境学研究所Eco-DRRプロジェクト（2023）J-ADRES：自然の恵みと災いからとらえる土地利用総合評価	人工林面積
96				炭素吸収量	総合地球環境学研究所Eco-DRRプロジェクト（2023）J-ADRES：自然の恵みと災いからとらえる土地利用総合評価	森林が一年あたりに吸収する二酸化炭素量
97				蒸発散量	総合地球環境学研究所Eco-DRRプロジェクト（2023）J-ADRES：自然の恵みと災いからとらえる土地利用総合評価	植生に合わせた蒸発散係数を適用
98				地下水涵養量	総合地球環境学研究所Eco-DRRプロジェクト（2023）J-ADRES：自然の恵みと災いからとらえる土地利用総合評価	森林等による地下水への涵養の働きを評価
99				土壌流出防止量	総合地球環境学研究所Eco-DRRプロジェクト（2023）J-ADRES：自然の恵みと災いからとらえる土地利用総合評価	森林、農地等による土壌流出が防止量を算出
100				窒素除去量	総合地球環境学研究所Eco-DRRプロジェクト（2023）J-ADRES：自然の恵みと災いからとらえる土地利用総合評価	流出が防止された土壌中の可給態窒素を除去量として評価
101				リン酸除去量	総合地球環境学研究所Eco-DRRプロジェクト（2023）J-ADRES：自然の恵みと災いからとらえる土地利用総合評価	流出が防止された土壌中の可給態リン酸を除去量として評価
102				NO2吸収量	総合地球環境学研究所Eco-DRRプロジェクト（2023）J-ADRES：自然の恵みと災いからとらえる土地利用総合評価	植生ごとにNO2の吸収量を計算
103				SO2吸収量	総合地球環境学研究所Eco-DRRプロジェクト（2023）J-ADRES：自然の恵みと災いからとらえる土地利用総合評価	植生ごとにSO2の吸収量を計算
104				洪水調整量	総合地球環境学研究所Eco-DRRプロジェクト（2023）J-ADRES：自然の恵みと災いからとらえる土地利用総合評価	植生による洪水緩和機能を裸地等と比較し評価
105				表層崩壊からの安全率	総合地球環境学研究所Eco-DRRプロジェクト（2023）J-ADRES：自然の恵みと災いからとらえる土地利用総合評価	森林による表層崩壊からの安全率の上昇度
106	緑地へのアクセス度	総合地球環境学研究所Eco-DRRプロジェクト（2023）J-ADRES：自然の恵みと災いからとらえる土地利用総合評価	徒歩30分圏内にある平均的な緑地面積			
107	水域へのアクセス度	総合地球環境学研究所Eco-DRRプロジェクト（2023）J-ADRES：自然の恵みと災いからとらえる土地利用総合評価	徒歩30分圏内にある平均的な水辺の面積			
108			オートキャンプ場への立地	総合地球環境学研究所Eco-DRRプロジェクト（2023）J-ADRES：自然の恵みと災いからとらえる土地利用総合評価	オートキャンプ場が立地する確率。現存するオートキャンプ場の有無を1kmメッシュで評価し、周辺の植生率・自然林率・標高などの自然環境と人口や道路密度などの社会環境を説明変数として機械学習法によりモデル化	
109		環境共生	公害苦情件数（典型7公害）	総務省/公害苦情調査	-	
110			人口あたり再生エネ発電量	資源エネルギー庁HP「再生可能エネルギー電気の用の促進に関する特別措置法 情報公表用ウェブサイト」	-	
111			人口あたりエネルギー消費量（-）	資源エネルギー庁「エネルギー消費統計調査」	-	
112			人口あたりゴミ排出量	環境省「一般廃棄物処理事業実態調査」	-	
113			食料自給率	農林水産省「都道府県の食料自給率」	-	

全国の指標は、指標の偏差値を分野ごとに単純平均した値のみが表示される

デジタル庁のウェルビーイング指標 (地域幸福度(Well-Being)指標) ⑭

no.	主観/客観	因子群	分野	指標名	調査主体	調査方法
114	客観的指標	生活環境	自然災害	外水氾濫危険度	⑤国土交通省 国土数値情報「洪水浸水想定区域データ 第2.2版」 ⑥国土交通省 国土数値情報「洪水浸水想定区域データ 第3.0版」 ⑦国土交通省 国土数値情報「河川データ 第3.1版」	-
115				高潮危険度	⑤国土交通省 国土数値情報「高潮浸水想定区域データ 第1.0版」 ⑥国土交通省 国土数値情報「高潮浸水想定区域データ 第1.1版」 ⑦国土交通省 国土数値情報「海岸線データ 第3.1版」	-
116				土砂災害危険度	⑤国土交通省 国土数値情報「土砂災害危険箇所データ 第2.0版」 ⑥国土交通省 国土数値情報「土砂災害警戒区域データ 第2.0版」	-
117				地震動危険度	J-SHIS 地震ハザードステーション「確率的地震動予測地図 (2020年版/平均ケース)」	-
118				津波危険度	⑤国土交通省 国土数値情報「津波浸水想定データ 第1.1版」 ⑥国土交通省 国土数値情報「津波浸水想定データ 第2.0版」 ⑦国土交通省 国土数値情報「津波浸水想定データ 第2.1版」 ⑧国土交通省 国土数値情報「海岸線データ 第3.1版」	-
119				ハード対策	総務省 消防庁「防災拠点となる公共施設等の耐震化の状況」	【以下のKPIの平均値】 公共施設の耐震化率
120				避難・救助	国土交通省 国土地理院「指定緊急避難場所データ」 「1【ハザードKPI】外水氾濫危険度KPI」で使用した東京海上作成データ 「3【ハザードKPI】高潮危険度KPI」で使用した東京海上作成データ 「4【ハザードKPI】土砂災害危険度KPI」で使用した東京海上作成データ 「6【ハザードKPI】津波危険度KPI」で使用した東京海上作成データ	【以下のKPIの平均値】 指定緊急避難場所の災害種別指定適切度 外水氾濫 高潮 土砂災害 津波
121				要配慮者支援	総務省 消防庁「避難行動要支援者名簿に係る取組状況調査」 総務省 消防庁「個別避難計画の作成等に係る取組状況調査」	【以下のKPIの平均値】 避難行動要支援者名簿の作成・管理 個別避難計画の作成・管理
122				防災教育	国土交通省 国土地理院HP「災害伝承碑データ」	【以下のKPIの平均値】 災害伝承碑の設置数
123				防災まちづくり	国土交通省 都市局「立地適正化計画作成の取組状況」	【以下のKPIの平均値】 立地適正化計画作成状況 防災指針の作成状況
124	情報・デジタル防災	デジタル庁HP「マイナポータル」	【以下のKPIの平均値】 マイナポータルへの罹災証明発行手続きの導入			
125	地域の人間関係	地域とのつながり	人口あたり自殺者数 (-)	厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」、総務省「令和2年国勢調査」	-	
126			高齢単身世帯の割合 (-)	総務省「国勢調査」	-	
127			人口あたりNPOの数	内閣府「NPO法人ポータルサイト」において「主たる事務所の所在地」が当該都市内の法人数、 総務省「令和2年国勢調査」	-	
128			ボランティア行動者率	総務省「社会生活基本調査」	-	
129			祭り開催数	オマツリジャパンに掲載の祭りの数	-	

全国の指標は、指標の偏差値を分野ごとに単純平均した値のみが表示される

デジタル庁のウェルビーイング指標 (地域幸福度(Well-Being)指標) ⑮

no.	主観/客観	因子群	分野	指標名	調査主体	調査方法	
130	客観的指標	地域の人間関係	地域とのつながり	関係人口創出活動指数	移住スカウトサービス「SMOUT」に掲載された各市区町村のプロジェクト数 移住スカウトサービス「SMOUT」に掲載された「地域の発信者・居住者数」 移住スカウトサービス「SMOUT」に掲載された上記プロジェクトへの「興味ある」の数	【下段KPIを均等のウエイトで計算した指数】 地域への移住・関係人口創出プロジェクトの数 地域への移住・関係人口創出プロジェクトの発信可能者数 地域への移住・関係人口創出プロジェクトの関心度	
131			多様性と寛容性	管理職職員における女性の割合 (官民間問わず)	総務省「就業構造基本調査」	-	
132				女性の労働力人口比率	総務省「国勢調査」	-	
133				家事の男女負担割合 (-)	総務省「国勢調査」	-	
134				男女の賃金格差 (-)	厚生労働省「賃金構造基本統計調査」	-	
135				障害者雇用率	厚生労働省「障害者雇用状況の集計結果」	-	
136				人口あたり外国人人口	総務省「国勢調査」	-	
137				留学生数	JICA「外国人留学生在籍状況調査結果」	-	
138			多様性政策指数	認定NPO法人虹色ダイバーシティ「渋谷区・認定NPO法人虹色ダイバーシティ 全国パートナーシップ制度共同調査」(2024年6月時点) 地方自治研究機構「性の多様性に関する条例」 地方自治研究機構「障害差別解消に関する条例」 地方自治研究機構「子どもに関する条例」 地方自治研究機構「バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進条例」 地方自治研究機構「男女共同参画条例・ジェンダー平等条例」	【以下のKPIの合計】 パートナーシップ宣誓制度の有無 性の多様性に関する条例の有無 障害差別解消に関する条例の有無 子どもに関する条例の有無 バリアフリー基本構想の有無 男女共同参画条例・ジェンダー平等条例		
139			自分らしい生き方	自己効力感	首長選挙投票率	「選挙ドットコム」に掲載されている直近3選挙の平均値	-
140					都道府県議会投票率	「選挙ドットコム」に掲載されている直近3選挙の平均値	-
141				健康状態	健康寿命(平均自立期間)(男性)	厚生労働省「健康寿命の令和元年値について」	-
142					健康寿命(平均自立期間)(女性)	厚生労働省「健康寿命の令和元年値について」	-
143				文化・芸術	芸術家・著述家等の割合	総務省「国勢調査」において職業分類が「著述家、記者、編集者」、「美術家、デザイナー、写真家、映像撮影者」及び「音楽家、舞台芸術家」の割合 総従業者数も総務省「国勢調査」	-

全国の指標は、指標の偏差値を分野ごとに単純平均した値のみが表示される

デジタル庁のウェルビーイング指標 (地域幸福度(Well-Being)指標) ①6

no.	主観/客観	因子群	分野	指標名	調査主体	調査方法
144	客観的指標	自分らしい生き方	文化・芸術	国宝・重要文化財（建造物）の数	文化庁「国指定文化財等データベース」	—
145				日本遺産の数	文化庁「日本遺産ポータルサイト」をもとにスマートシティ・インステイテュートが独自集計	—
146			教育機会の豊かさ	大卒・院卒者の割合	総務省「社会・人口統計体系」、総務省「令和2年国勢調査」	—
147				可住地面積あたり大学・短期大学の数	文部科学省「大学・短期大学・高等専門学校・学校法人一覧」、務省「社会・人口統計体系」	—
148				可住地面積あたり国立・私立中高一貫校数	文部科学省「高等学校教育の改革に関する推進状況について」、レジスターションHP「国立高校一覧」（2021年11月時点）、総務省「社会・人口統計体系」よ	—
149				大学進学率	文部科学省「学校基本調査」	—
150				語学教室にかける金額	総務省「家計調査」	—
151				社会教育費	文部科学省「地方教育費調査」	—
152				人口あたり生涯学習講座数	文部科学省「社会教育調査」、総務省「令和2年国勢調査」	—
153				人口あたり生涯学習講座受講者数	文部科学省「社会教育調査」、総務省「令和2年国勢調査」	—
154				人口あたり青少年教育施設利用者数	文部科学省「社会教育調査」、総務省「令和2年国勢調査」	—
155				人口あたり女性教育施設利用者数	文部科学省「社会教育調査」、総務省「令和2年国勢調査」	—
156			雇用・所得	完全失業率 (-)	総務省「社会・人口統計体系」	—
157				若年層完全失業率 (-)	総務省「国勢調査」	—
158				正規雇用者比率	総務省「社会・人口統計体系」	—
159				高齢者有業率	総務省「社会・人口統計体系」	—
160				創業比率	経済産業省・内閣府「RESAS（地域経済分析システム）」	—
161				人口あたり農業産出額	農林水産省「市町村別農業産出額」、総務省「令和2年国勢調査」	—
162	人口あたり旅行者数・宿泊者数	観光庁「宿泊旅行統計調査」、総務省「令和2年国勢調査」		—		
163	有効求人倍率	厚生労働省「一般職業紹介状況(職業安定業務統計)」		—		

デジタル庁のウェルビーイング指標（地域幸福度(Well-Being)指標） ⑰

no.	主観/客観	因子群	分野	指標名	調査主体	調査方法
164	客観的指標	自分らしい生き方	雇用・所得	インターンシップ実施率	国立教育政策研究所「職場体験・インターンシップ実施状況調査」	－
165				人口あたり大卒者進路未定者数	文部科学省「学校基本調査」、総務省「令和2年国勢調査」	－
166				製造業労働生産性	経済産業省「工業統計調査」	－
167				本社機能流出・流入数	帝国データバンク「首都圏・本社移転動向調査」	－
168				納税者あたり課税対象所得	総務省「市町村税課税状況等の調」	－
169				可処分所得	総務省「家計調査」	－
170				人口あたり生活保護受給者数（-）	厚生労働省「被保護者調査」、総務省「令和2年国勢調査」	－
171				高齢世帯の相対的貧困率	総務省「住宅・土地統計調査」	－
172				労働時間	厚生労働省「毎月勤労統計調査地方調査」	－
173				客観的指標	自分らしい生き方	事業創造
174	新規設立法人の割合	国税庁法人番号公表サイトをもとにスマートシティ・インスティテュートが独自集計	－			
175	従業者数あたりコワーキングスペースの数	コワーキング ジャパンHP、総務省「社会・人口統計体系」	－			
176	大学発ベンチャー企業数	経済産業省HP「大学発ベンチャーデータベース」	－			
177	特許等出願件数	特許庁「特許行政年次報告書」	－			

全国の指標は、指標の偏差値を分野ごとに単純平均した値のみが表示される